

## 第4章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

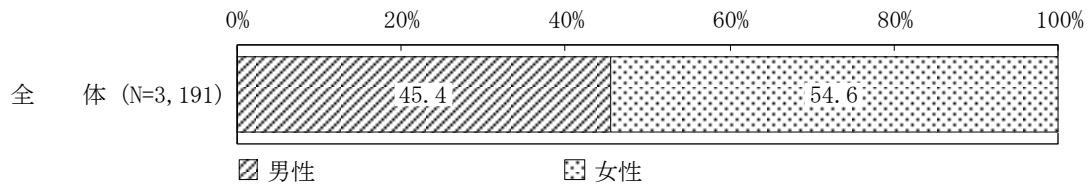
---

# 1 基本属性

## (1) 性別

回答者の性別は、「男性」が45.4%、「女性」が54.6%です。

図表4-1 性別

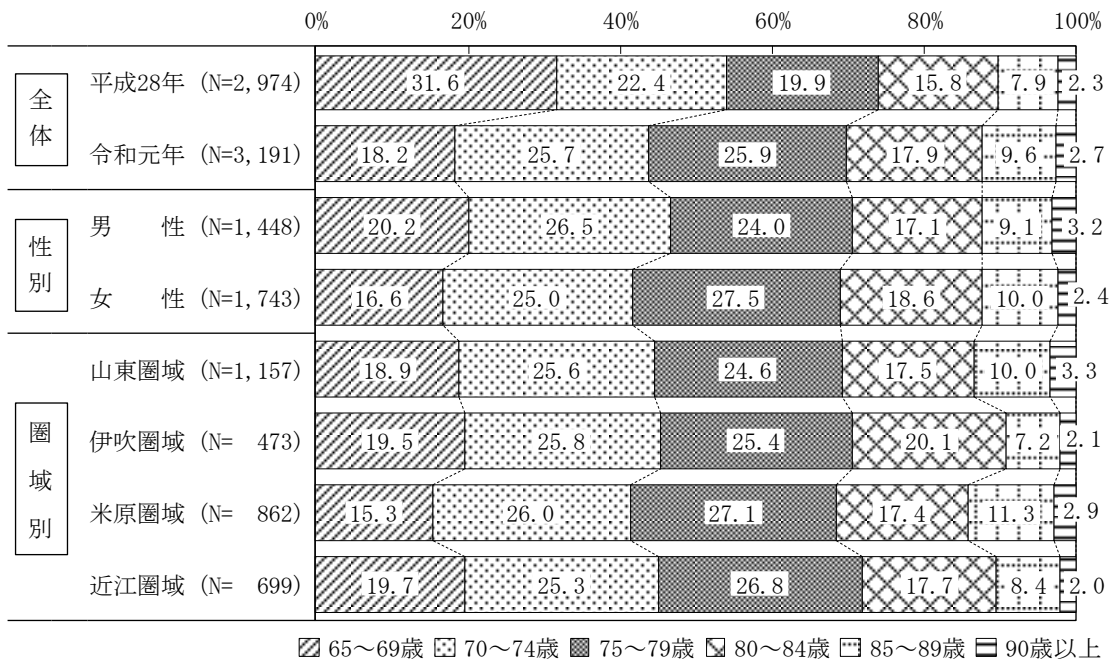


## (2) 年齢

回答者の年齢は、「75～79歳」(25.9%)、「70～74歳」(25.7%)が25%台と高くなっており、合計した70歳代が51.6%を占めています。75歳未満の前期高齢者は43.9%、75歳以上の後期高齢者は56.1%です。性別にみると、75歳以上は男性の53.4%に対して、女性は58.5%と、女性が5.1ポイント高くなっています。

圏域別にみると、75歳以上は米原が58.7%と最も高く、伊吹が54.8%と最も低くなっていますが、大きな開きはありません。

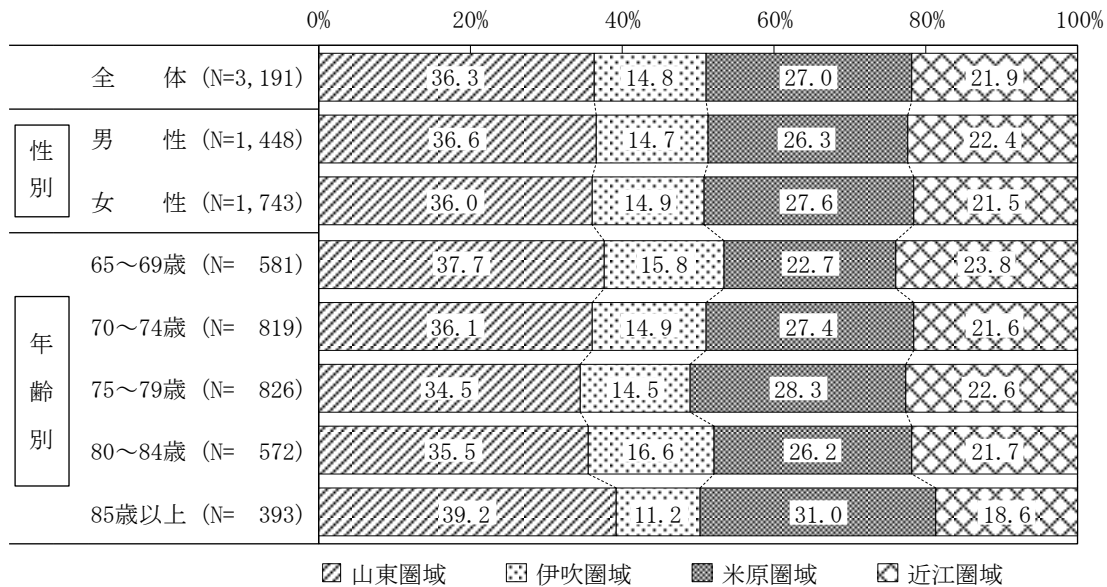
図表4-2 年齢（平成28年調査と比較）



### (3) 圏域

回答者の住まいを圏域別にみると、山東が36.3%、米原が27.0%、近江が21.9%、伊吹が14.8%となっています。

図表4-3 圏域



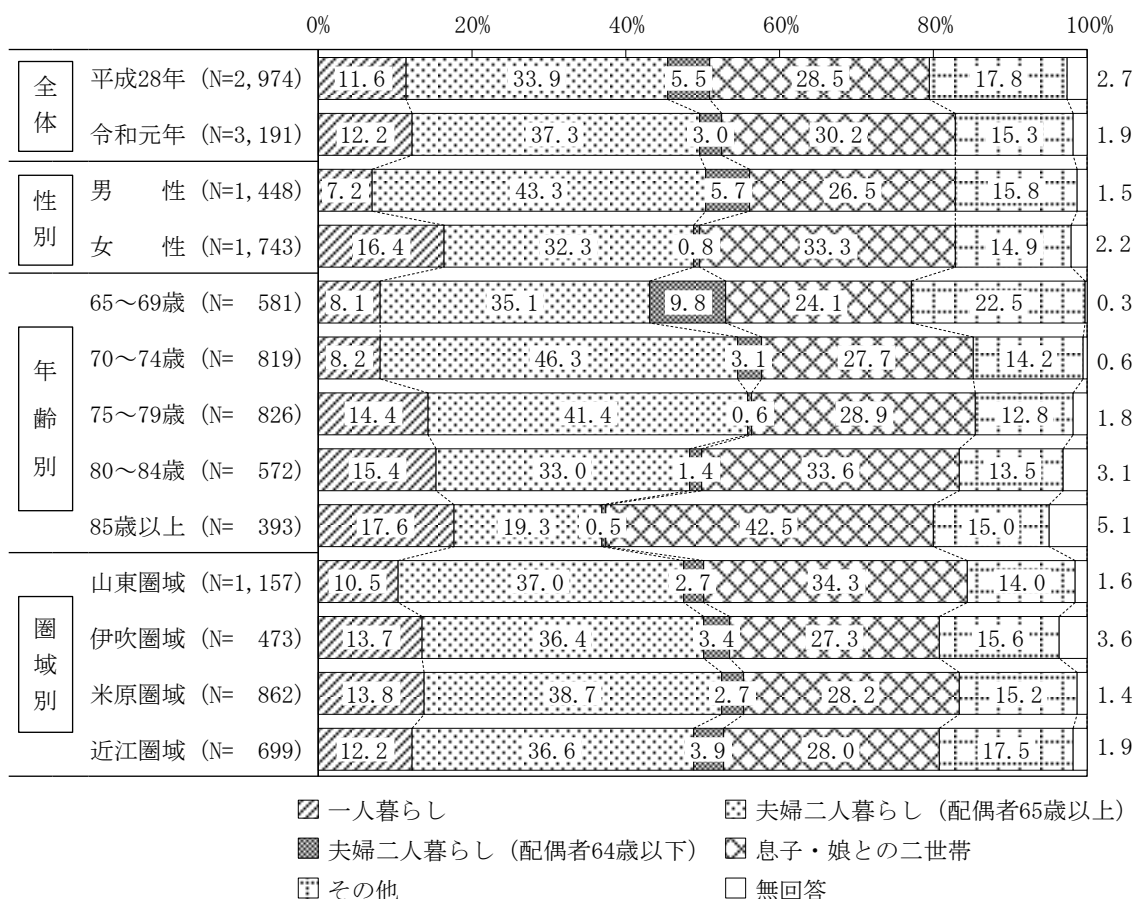
#### (4) 世帯類型

世帯類型は、夫婦ともに65歳以上の「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が37.3%を占め、これにどちらか一方が65歳以上の「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」（3.0%）を加えたく夫婦のみ>の世帯は40.3%です。「息子・娘との二世帯」は30.2%、「その他」の世帯は15.3%、「一人暮らし」は12.2%です。

性別にみると、男性は女性より<夫婦のみ>が高く、女性は男性より「一人暮らし」が高くなっています。

年齢別にみると、85歳以上で急激に<夫婦のみ>が低下し、「息子・娘との二世帯」が高くなっています。

図表4-4 世帯類型（平成28年調査と比較）

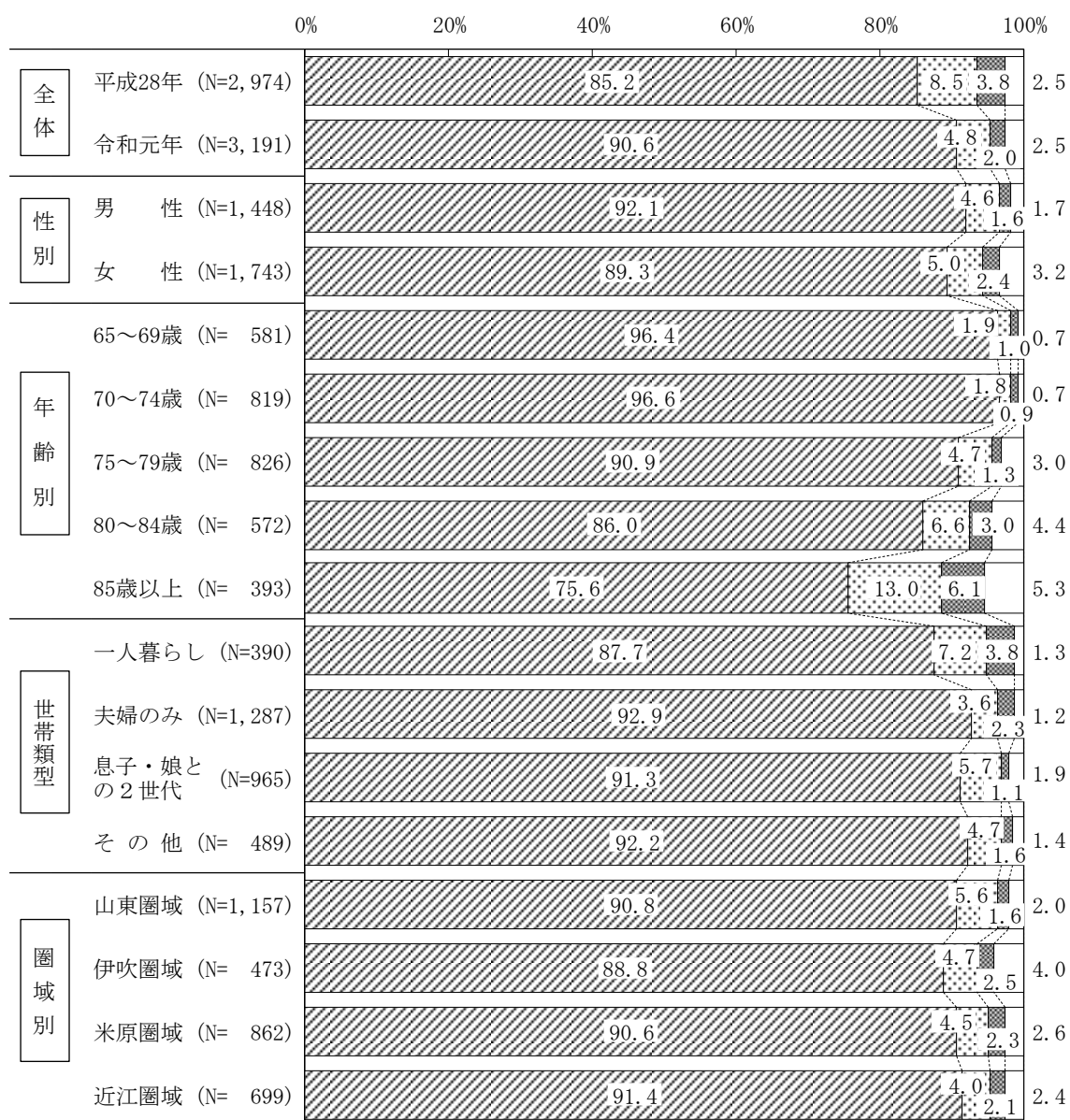


## (5) 介護・介助の必要性

「普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか」という設問に対しては、「介護・介助は必要ない」が90.6%を占めています。「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は4.8%、これに「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」（2.0%）を加えた＜介護・介助が必要＞は6.8%です。

＜介護・介助が必要＞は、年齢が上がるにつれて高くなり、85歳以上では19.1%となっています。

図表4-5 介護・介助の必要性（平成28年調査と比較）

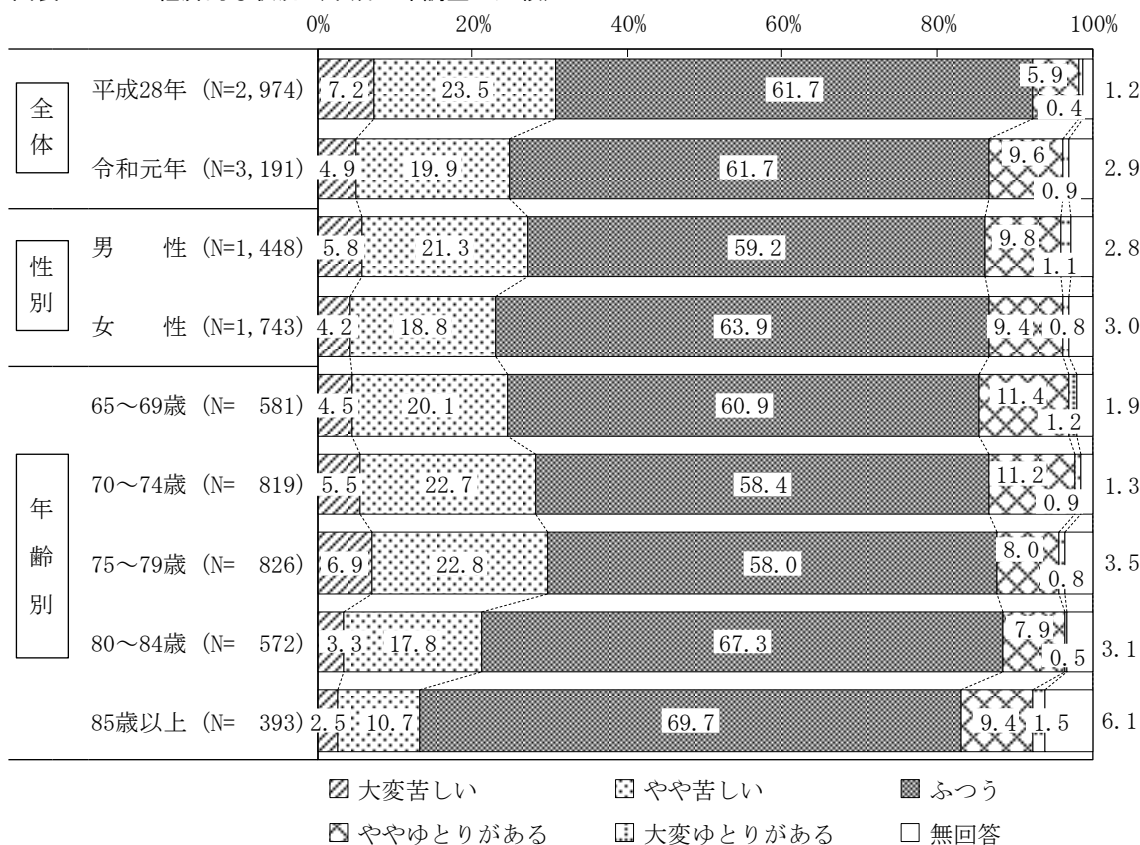


- ▨ 介護・介助は必要ない
- ▤ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている
- 無回答

## (6) 経済的な状況

経済的にみた暮らしの状況は、「ふつう」と感じている人が61.7%を占めています。「やや苦しい」(19.9%)と「大変苦しい」(4.9%)を合計した<苦しい>は24.8%です。<苦しい>は、性別では男性が女性より4.1ポイント高く、年齢別では75～79歳が最も高く、80～84歳、85歳以上と年齢が上がるにつれて低下しています。

図表4-6 経済的な状況（平成28年調査と比較）

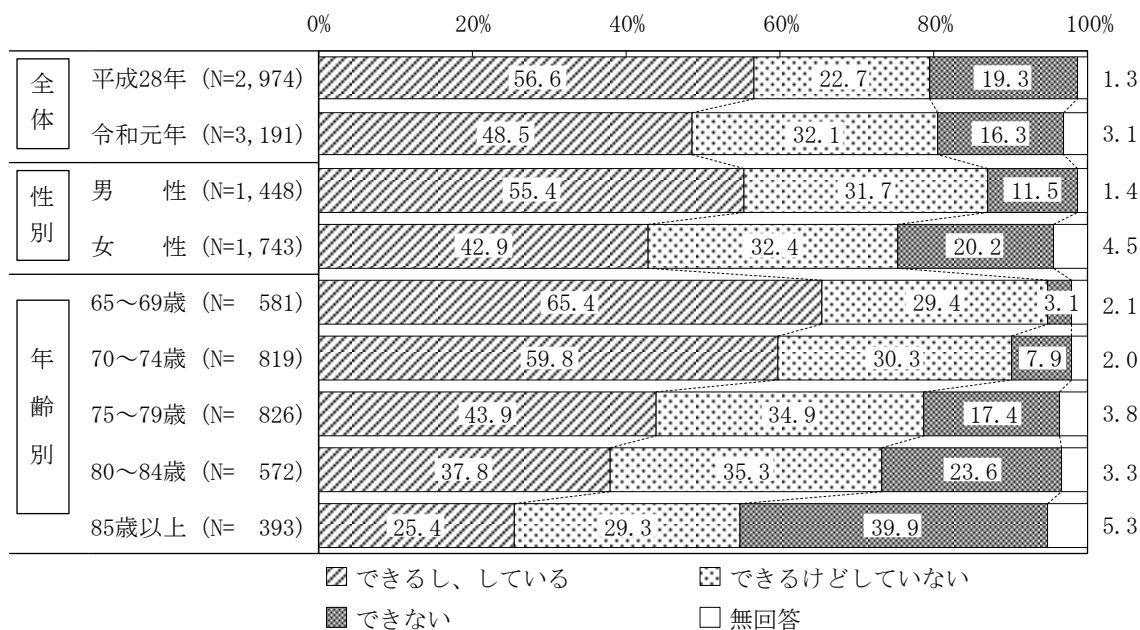


## 2 からだを動かすこと

### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることについては、「できるし、している」「できるけどしていない」を合計した<できる>は80.6%、「できない」は16.3%となっています。「できない」は、性別では男性より女性が高く、年齢が上がるにつれて急激に高くなっています。

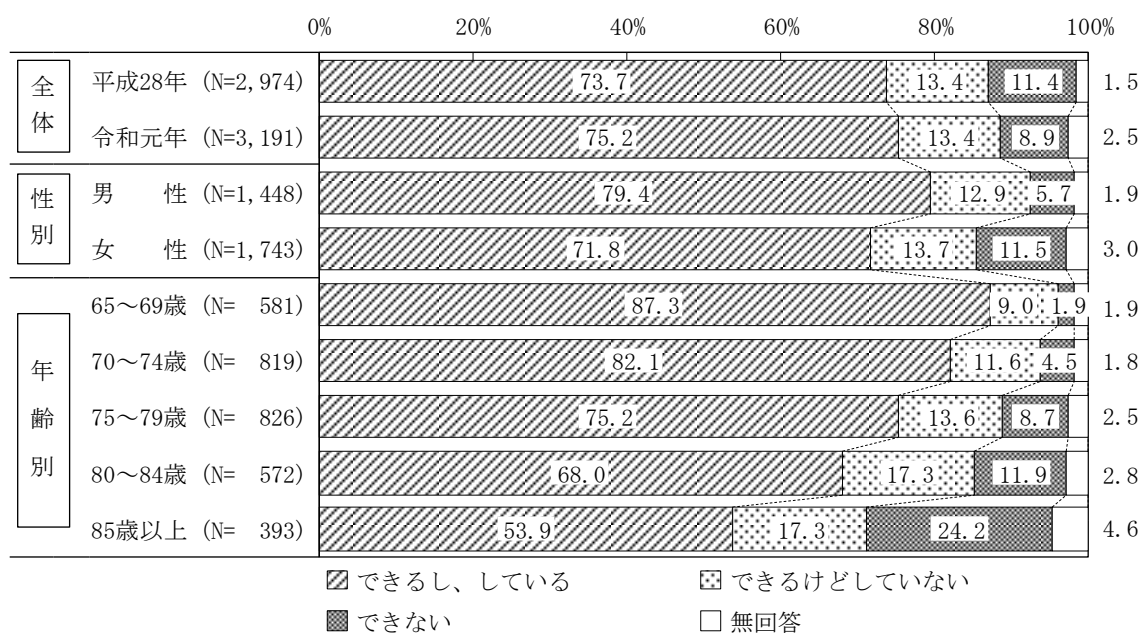
図表4-7 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか（平成28年調査と比較）



### (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることが<できる>は88.6%です。「できない」は、性別では女性が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。

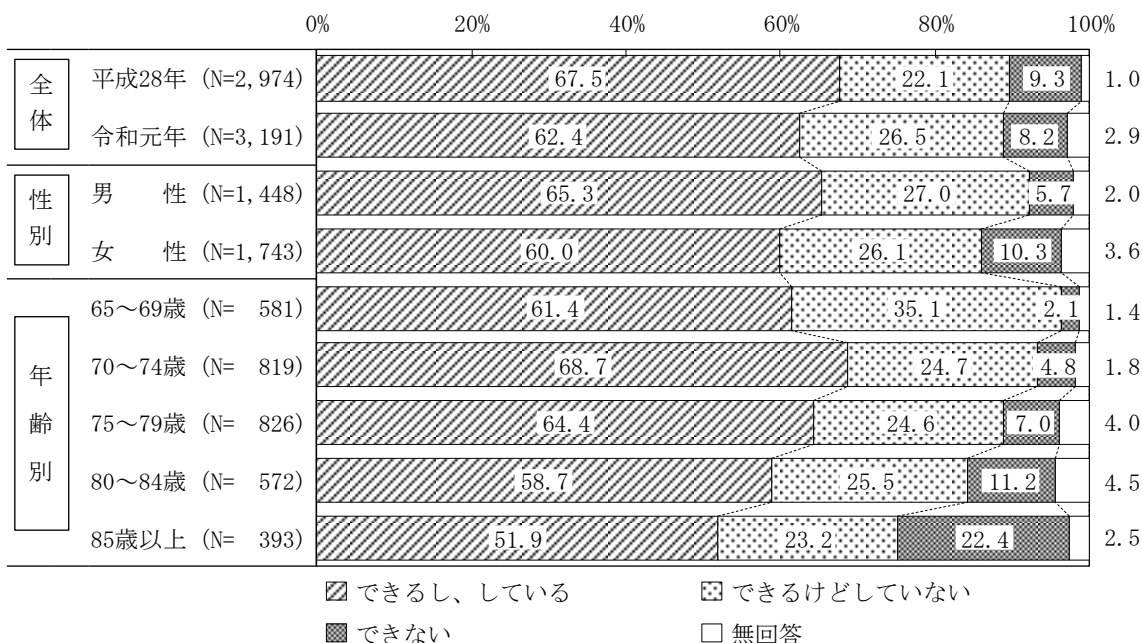
図表4-8 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか（平成28年調査と比較）



### (3) 15分位続けて歩けるか

15分位続けて歩くことについては、「できない」が8.2%となっています。「できない」は性別では男性より女性が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。

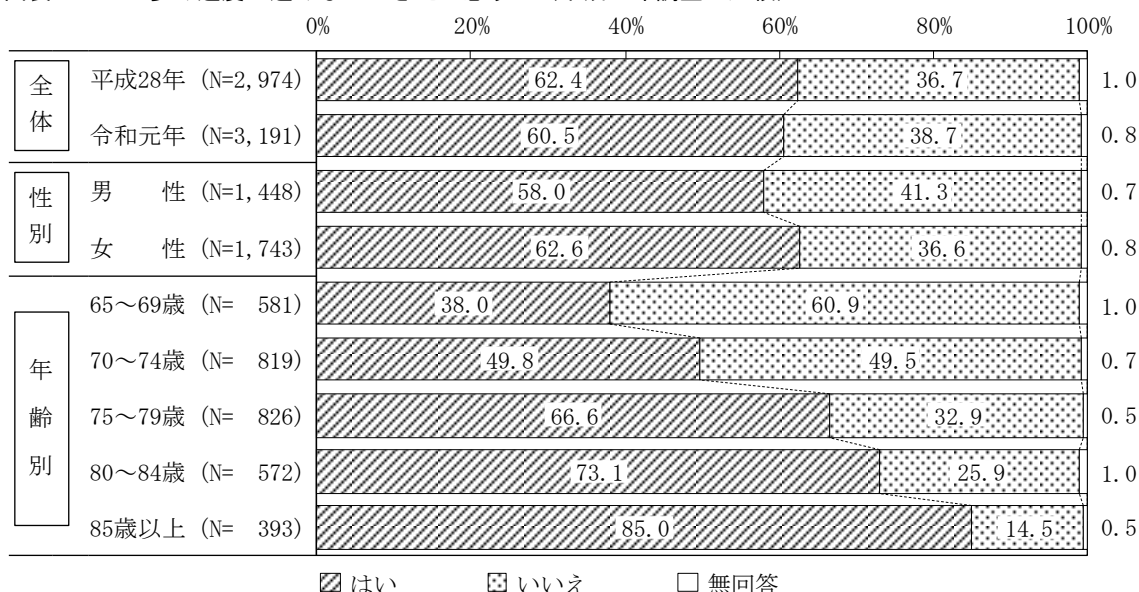
図表4-9 15分位続けて歩けるか（平成28年調査と比較）



### (4) 歩く速度が遅くなってきたと思うか

以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うかたずねたところ、60.5%が「はい（遅くなってきた）」と回答しています。「はい」は年齢が上がるにつれて高くなり、85歳以上では85.0%となっています。

図表4-10 歩く速度が遅くなってきたと思うか（平成28年調査と比較）

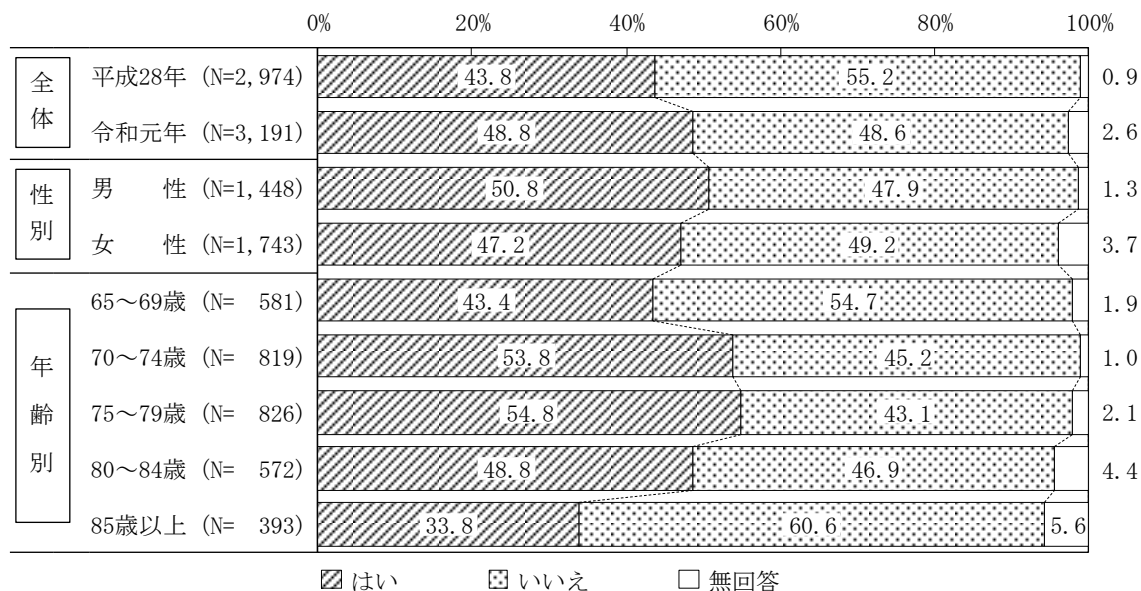




(5) 運動を週1回以上、行っているか

「ウォーキングなどの運動を週に1回以上していますか」という設問に対しては、「はい」は48.8%です。性・年齢による大きな開きは見られませんが、85歳以上で30%台に低下しています。

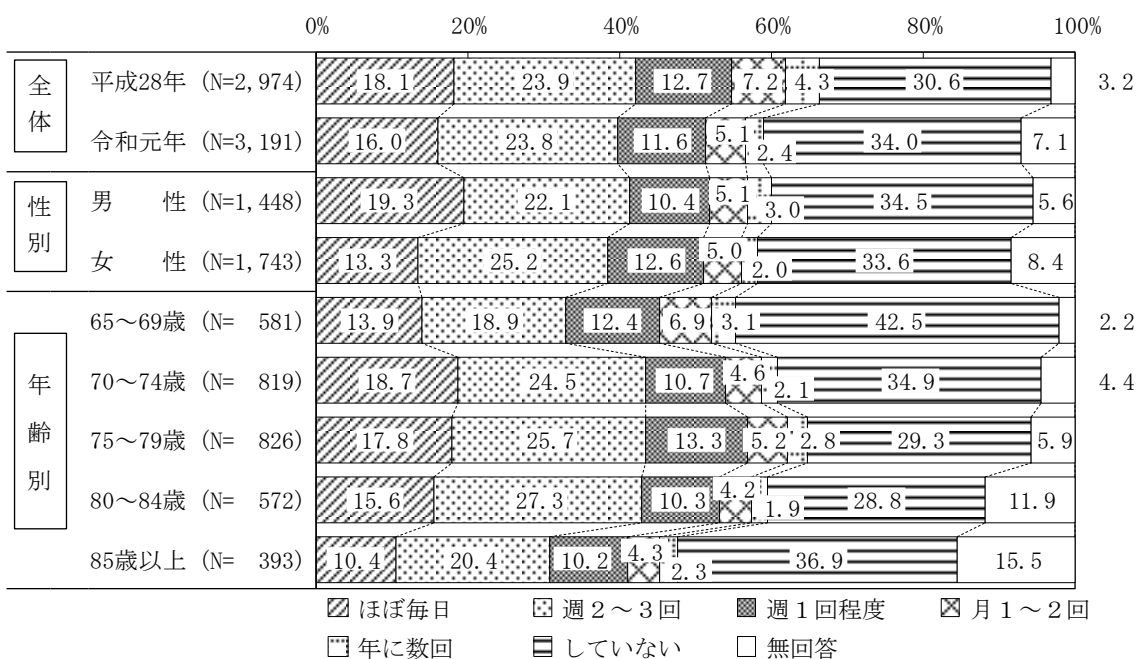
図表4-11 運動を週1回以上、行っているか（平成28年調査と比較）



(6) 健康のために外出する頻度はどれくらいか

健康のため（ウォーキング）に外出する頻度をたずねたところ、「していない」が34.0%、これに無回答を加えると41.1%となり、58.9%がしていることとなります。外出の頻度は「週2~3回」が最も高く、次いで「ほぼ毎日」「週1回程度」の順となっています。

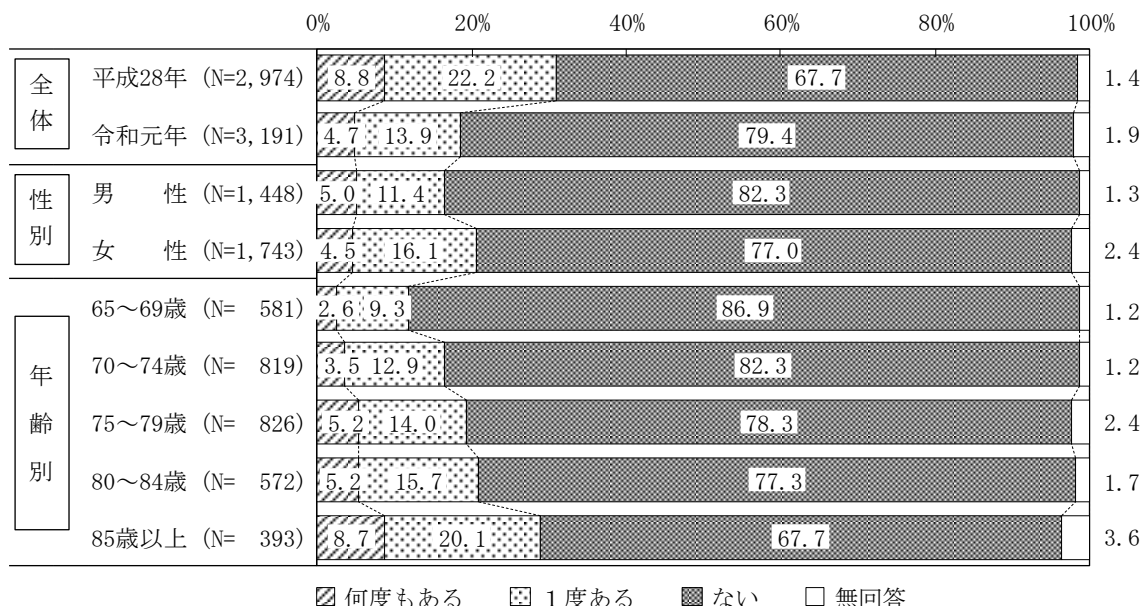
図表4-12 健康のために外出する頻度はどれくらいか（平成28年調査と比較）



(7) 過去1年間に転んだことがあるか

この1年間に転んだことが「何度もある」は4.7%、「1度ある」は13.9%となっており、合計した<ある>は18.6%です。<ある>は、性別では男性より女性が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。

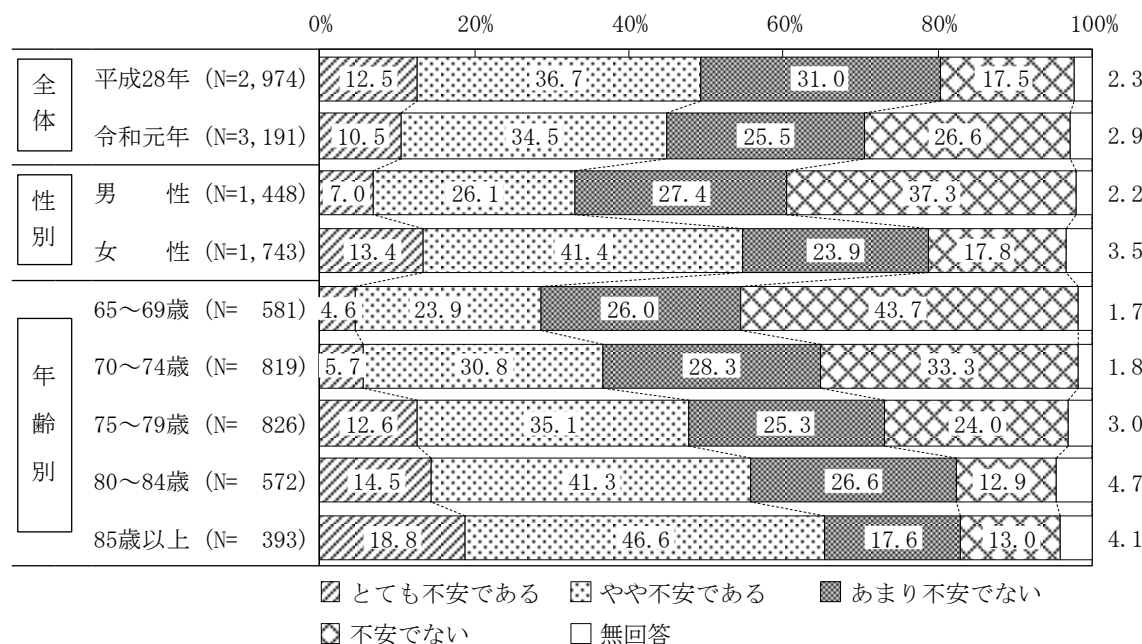
図表4-13 過去1年間に転んだことがあるか（平成28年調査と比較）



(8) 転倒に対する不安が大きいのか

転倒に対する不安について「とても不安である」(10.5%)と「やや不安である」(34.5%)を合計した<不安である>は45.0%です。<不安である>は、女性が男性より21.7ポイント高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなり、85歳以上で65.4%となっています。

図表4-14 転倒に対する不安が大きいのか（平成28年調査と比較）



(9) 運動器の機能低下している高齢者

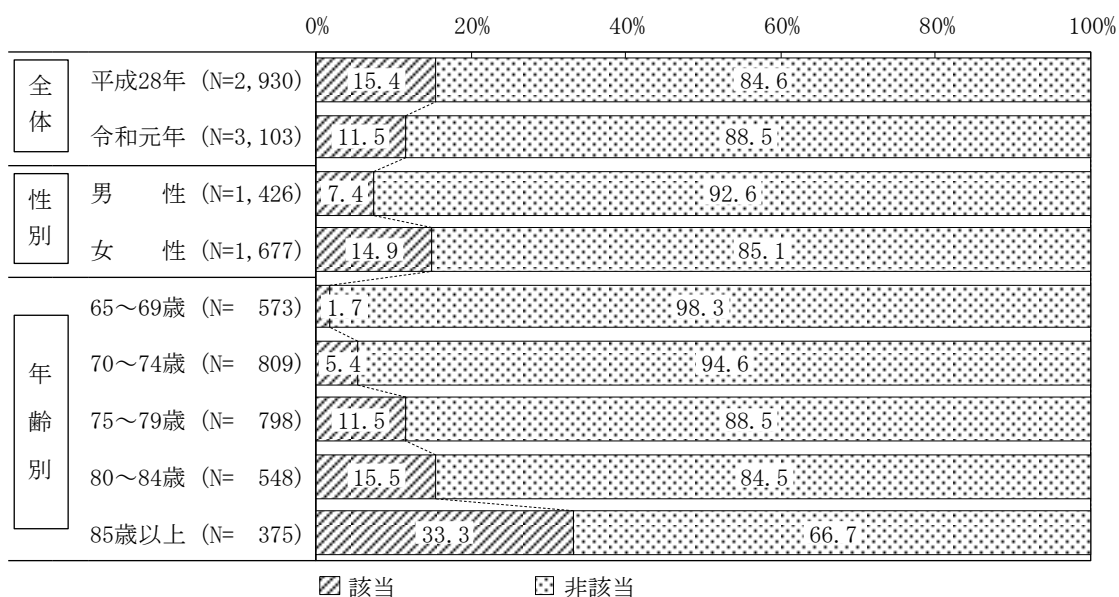
(1)～(3)、(7)(8)は運動器の機能低下を問う設問です。上記5つの設問で3問以上、該当する選択肢が回答された場合は、運動器の機能低下している高齢者になります。

| 設 問                             | 選 択 肢  |
|---------------------------------|--|
| (1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか        | 1. できるし、している<br>2. できるけどしていない<br>3. <b>できない</b>                    |
| (2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか | 1. できるし、している<br>2. できるけどしていない<br>3. <b>できない</b>                    |
| (3)15分位続けて歩いていますか               | 1. できるし、している<br>2. できるけどしていない<br>3. <b>できない</b>                    |
| (7)過去1年間に転んだ経験がありますか            | 1. <b>何度もある</b><br>2. <b>1度ある</b><br>3. ない                         |
| (8)転倒に対する不安は大きいですか              | 1. <b>とても不安である</b><br>2. <b>やや不安である</b><br>3. あまり不安でない<br>4. 不安でない |

(注) 表中の網掛けか所が該当する選択肢

運動器の機能低下している高齢者は11.5%です。性別にみると男性より女性が7.5ポイント高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなり、85歳以上では33.3%となっています。

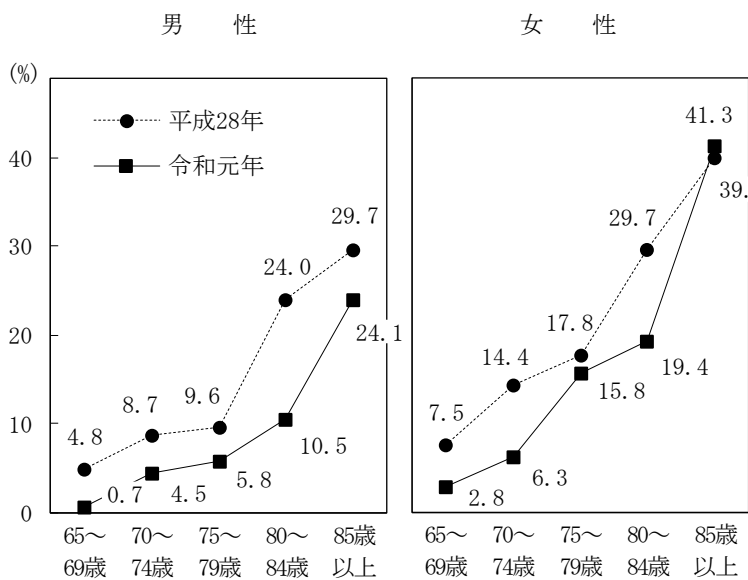
図表4-15 運動器の機能低下している高齢者（平成28年調査と比較）



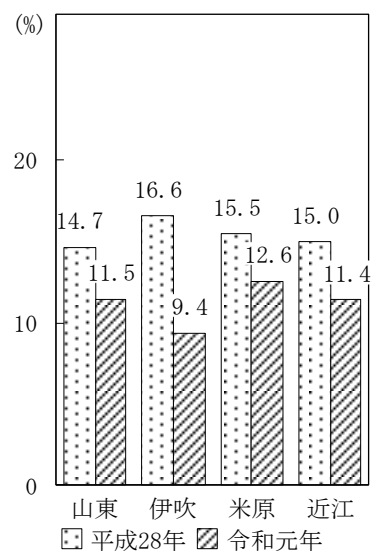
性・年齢別にみると、運動器の機能低下している高齢者は男女ともに年齢とともに高くなっています。圏域別では米原が12.6%と最も高く、伊吹が9.4%と最も低くなっています(図表4-16)。

図表4-16 運動器の機能低下している高齢者(平成28年調査と比較)

①性・年齢別



②圏域別

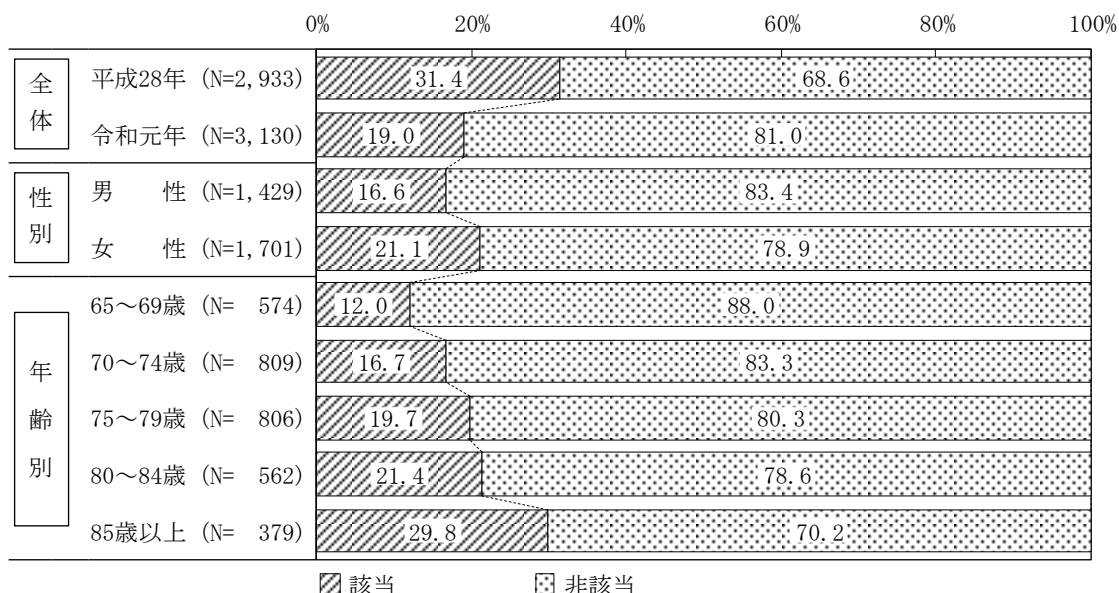


### (10) 転倒リスクのある高齢者

(7)の「過去1年間に転んだ経験がありますか」という設問で「1. 何度もある」または「2. 1度ある」と回答した場合は、転倒リスクのある高齢者になります。

転倒リスク高齢者は全体では19.0%となっており、85歳以上が29.8%と高くなっています。

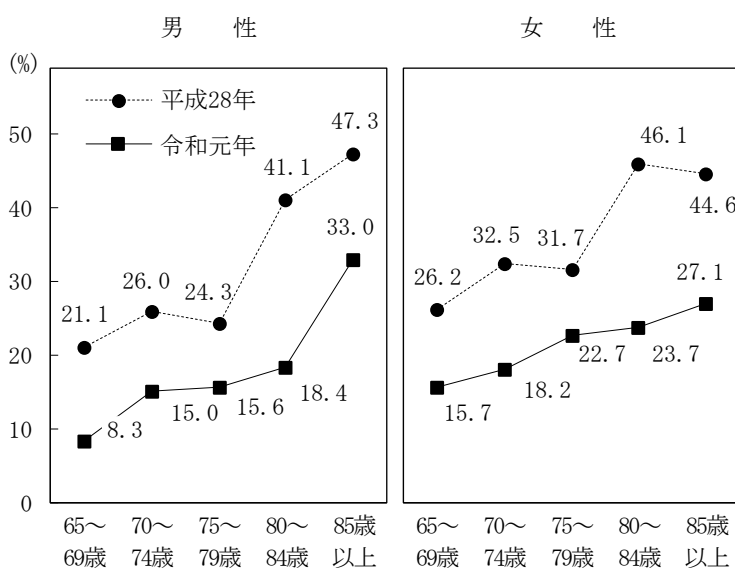
図表4-17 転倒リスクのある高齢者（平成28年調査と比較）



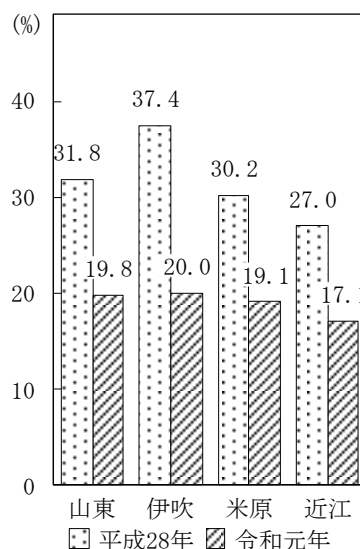
性・年齢別にみると、転倒リスクのある高齢者は男女ともに年齢が上がるにつれて上昇しており、特に男性の85歳以上で急激に高くなっています。圏域別では、近江が17.1%と他圏域より低くなっています（図表4-18）。

図表4-18 転倒リスクのある高齢者（平成28年調査と比較）

#### ①性・年齢別



#### ②圏域別

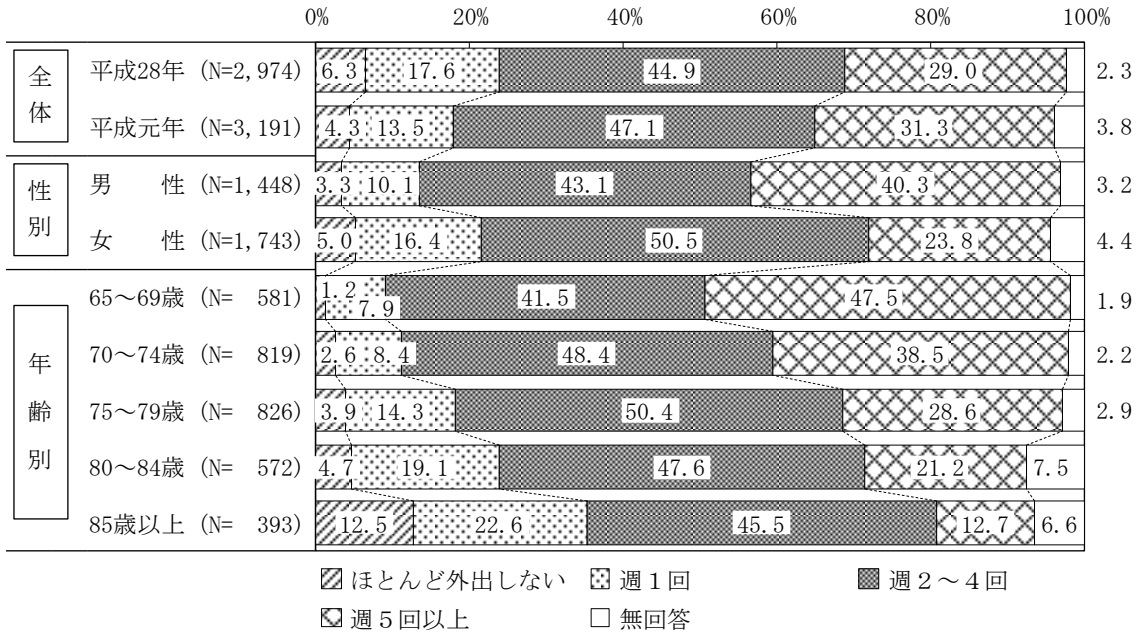


### 3 外出・閉じこもり

#### (1) 週に1回以上は外出しているか

(1)(2)は閉じこもり傾向を問う設問です。「週2～4回」が47.1%と最も高く、次いで「週5回以上」「週1回」の順となっています。高齢ほど外出の頻度は低下しています。

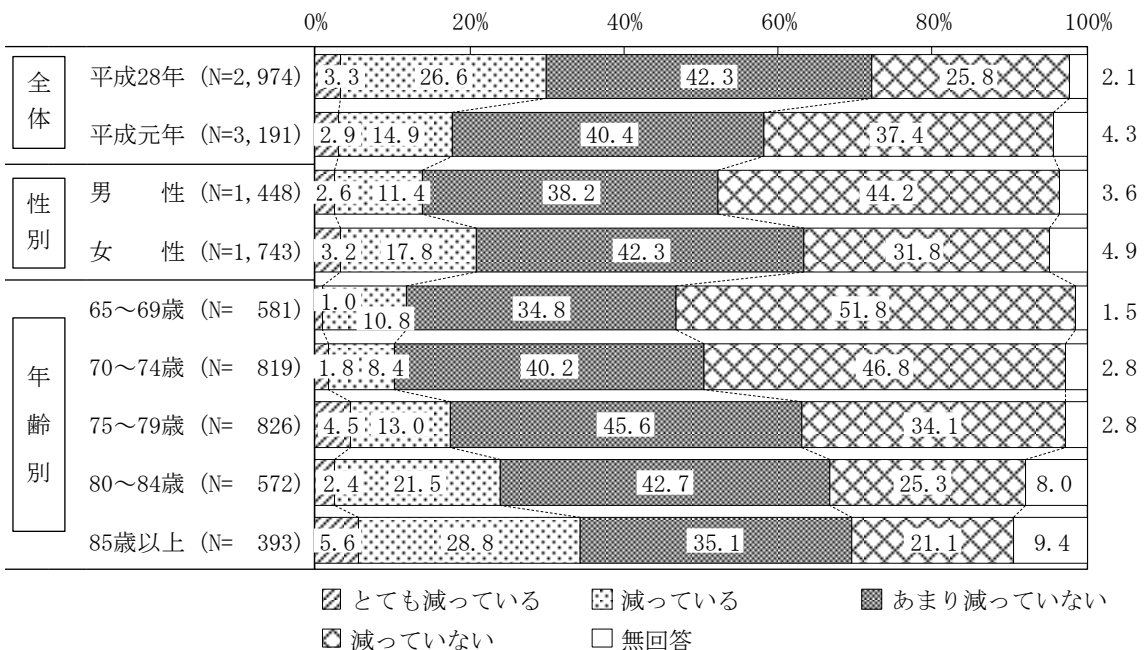
図表4-19 週に1回以上は外出しているか（平成28年調査と比較）



#### (2) 昨年と比べて外出回数は減っているか

昨年に比べて外出回数が「減っている」人は14.9%です。これに「とても減っている」を加えた「減っている」は全体では17.8%で、年齢が上がるにつれて高くなっています。

図表4-20 昨年と比べて外出回数は減っているか（平成28年調査と比較）

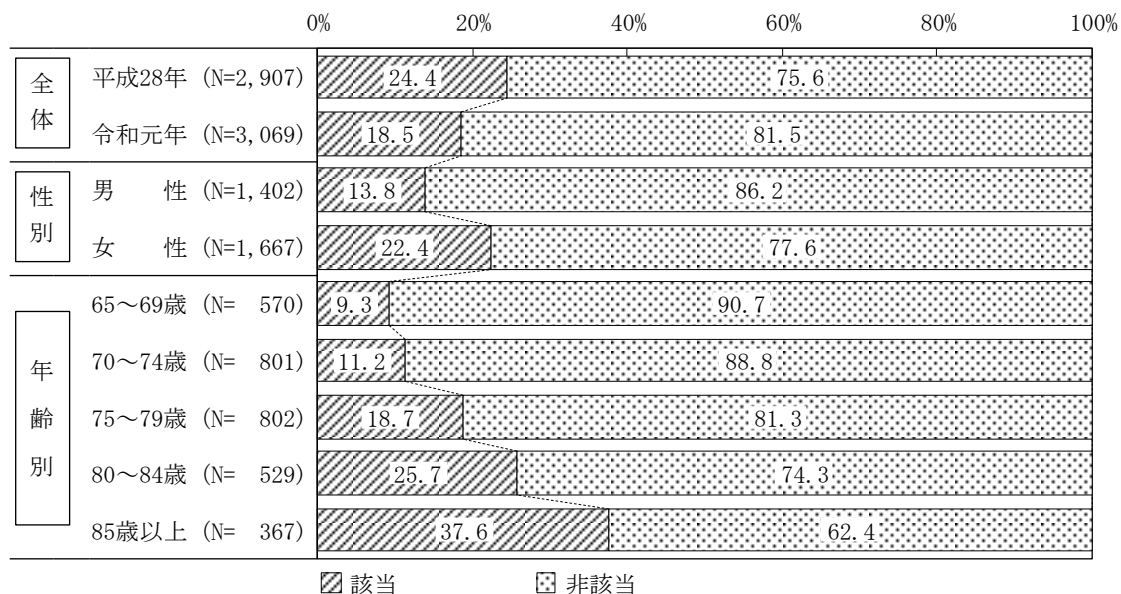


### (3) 閉じこもり傾向のある高齢者

(1)で「ほとんど外出しない」または「週1回」と回答した場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります。傾向のある高齢者は、男性に比べて女性が8.6ポイント高く、85歳以上では37.6%と高くなっています（図表4-21）。

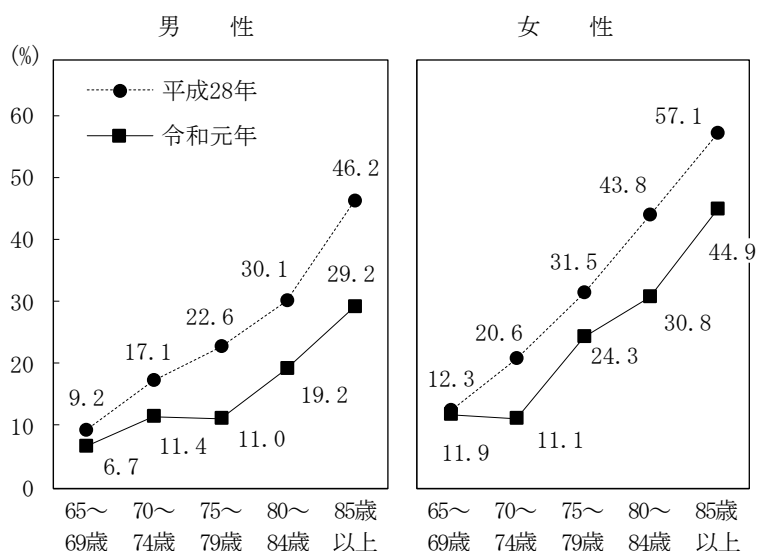
性・年齢別にみると、男女ともに年齢とともに高くなっています。圏域別では伊吹が20.9%と最も高く、近江が15.3%で最も低くなっています（図表4-22）。

図表4-21 閉じこもり傾向のある高齢者（平成28年調査と比較）

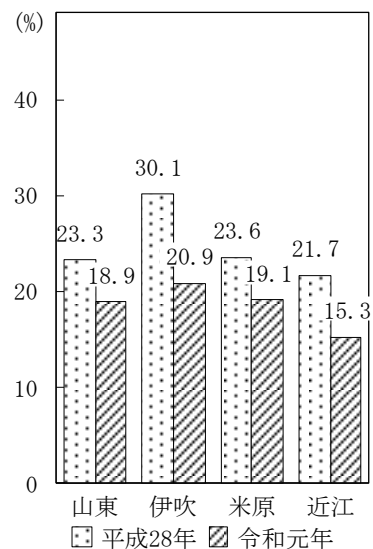


図表4-22 閉じこもり傾向のある高齢者（平成28年調査と比較）

#### ①性・年齢別



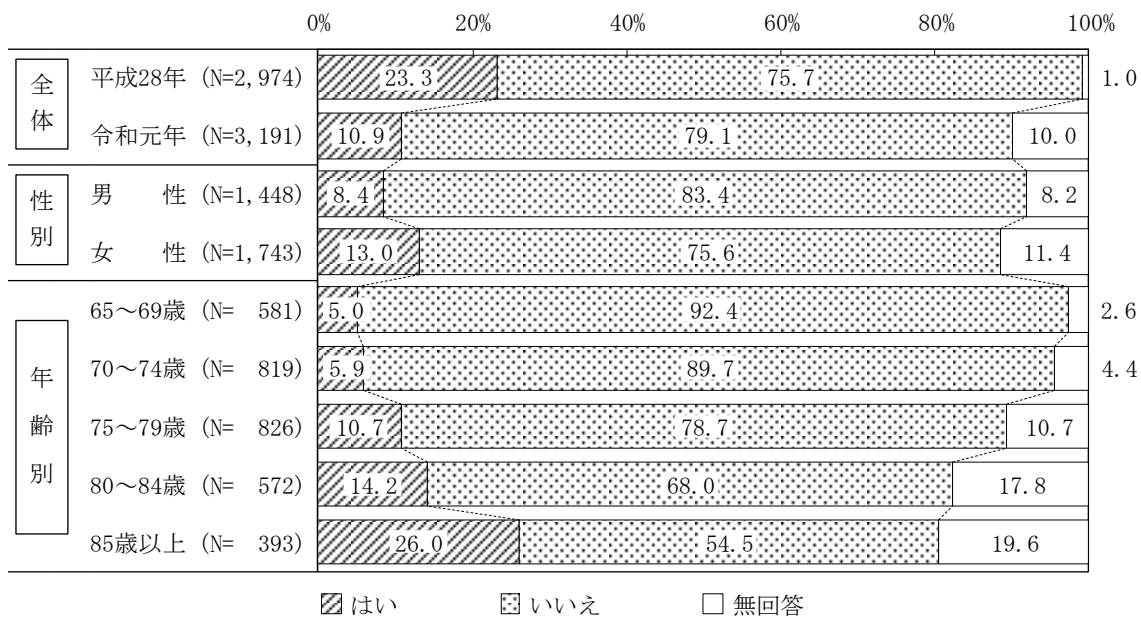
#### ②圏域別



(4) 外出を控えているか

外出を控えているのは10.9%となっています。性別では男性より女性が高く、年齢別では85歳以上で急激に高くなります（図表4-23）。

図表4-23 外出を控えているか（平成28年調査と比較）

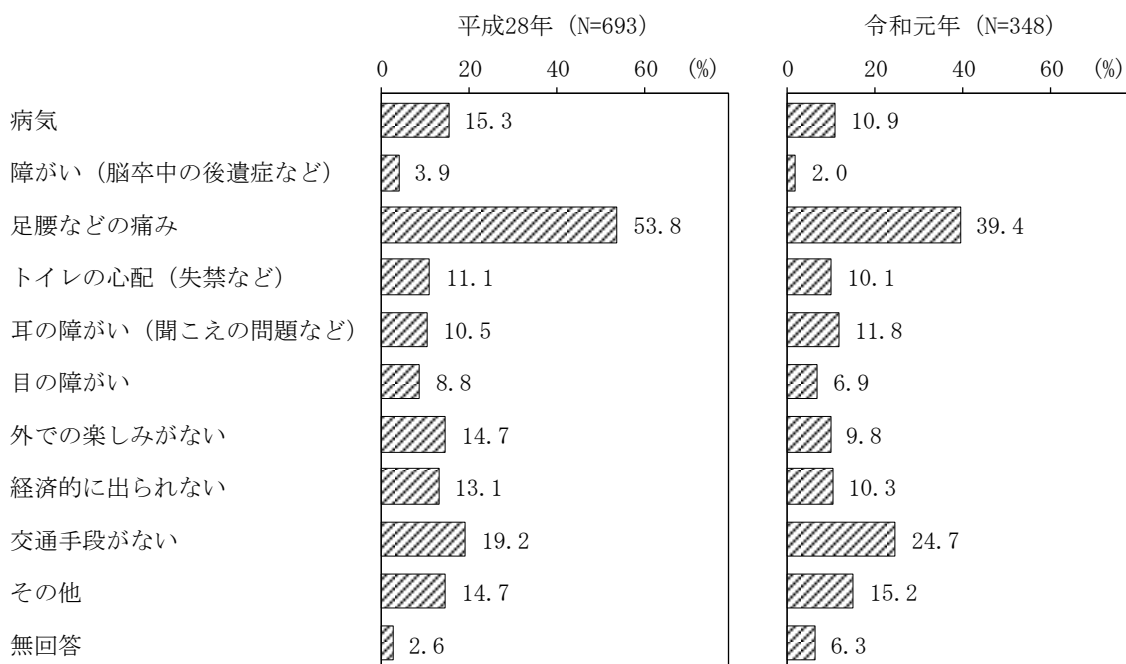




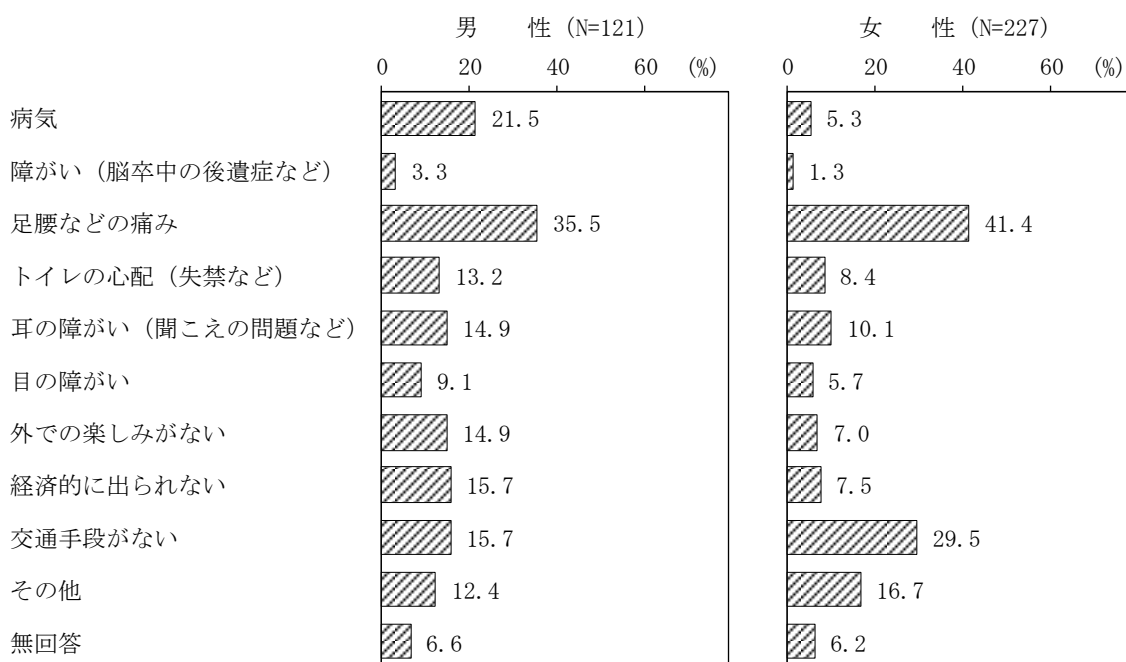
## (5) 外出を控えている理由

外出を控えていると答えた人に、その理由をたずねたところ、「足腰などの痛み」が39.4%と突出しています。そのほかでは、「交通手段がない」も20%以上です。性別にみると、「病気」「経済的に出られない」「外での楽しみがない」は女性より男性が高く、「交通手段がない」は女性が高くなっています。

図表4-24 外出を控えている理由（複数回答、平成28年調査と比較）



図表4-25 外出を控えている理由（複数回答、性別）



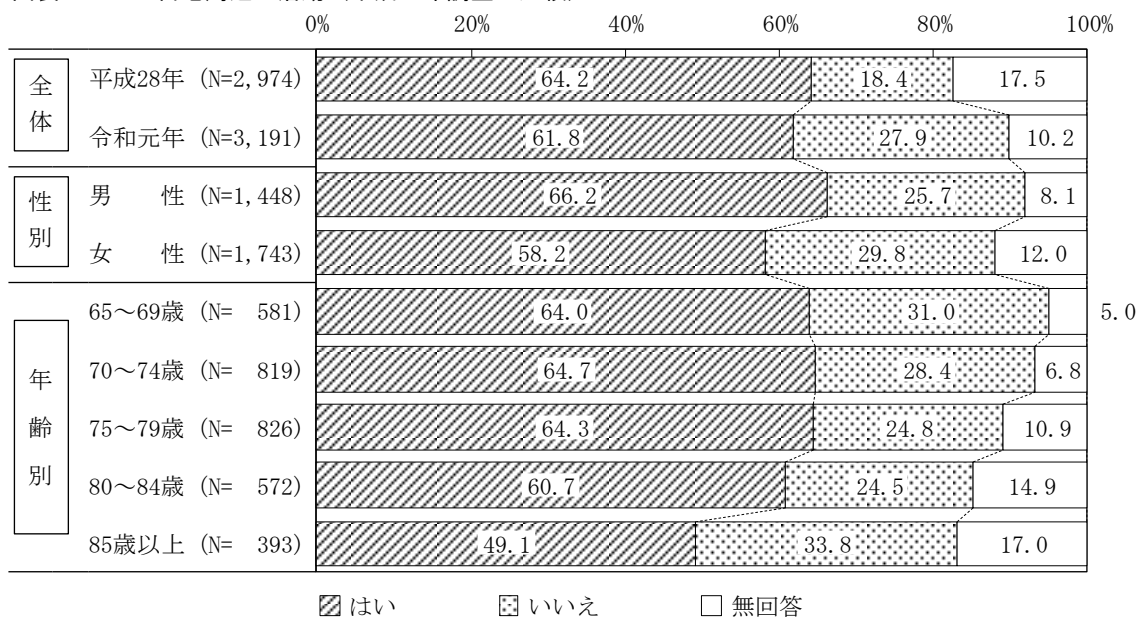
(6) 最近1か月間の活動範囲

① 自宅周辺での活動

最近1か月間に自宅周辺での活動をした人は61.8%です。性別では男性が女性より8ポイント高く、年齢別では85歳以上で低下し、50%を下回っています（図表4-26）。

活動日数は、「週2日」が19.0%と最も高く、次いで「週3日」「週5日」の順となっています。平均は3.7日です。平均日数が多いのは、性別では男性、年齢別では70～74歳、圏域別では伊吹です（図表4-27）。

図表4-26 自宅周辺の活動（平成28年調査と比較）



図表4-27 自宅周辺の活動日数（平成28年調査と比較）

単位：Nは人、平均は日、他は%

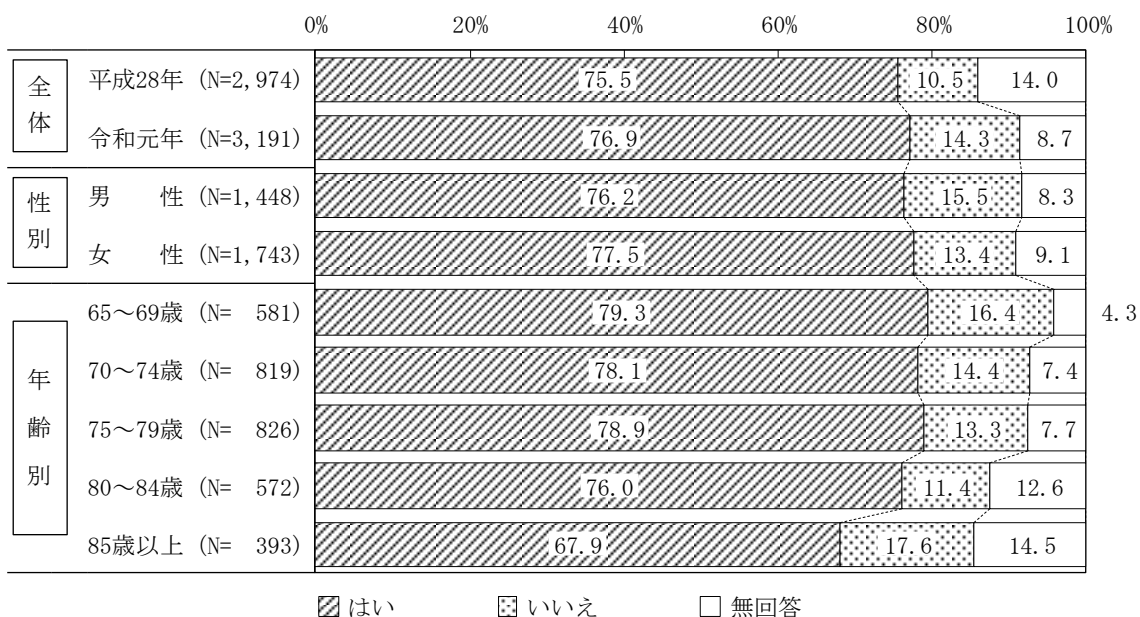
| 区分  | N      | 週1日未満 | 週1日 | 週2日  | 週3日  | 週4日  | 週5日  | 週6日  | 週7日 | 無回答  | 平均   |     |
|-----|--------|-------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|-----|
| 全体  | 平成28年  | 1,909 | 0.2 | 13.9 | 18.3 | 14.8 | 7.4  | 12.2 | 5.2 | 16.9 | 11.1 | 3.8 |
|     | 令和元年   | 1,973 | -   | 11.5 | 19.0 | 17.8 | 8.6  | 15.8 | 4.7 | 13.1 | 9.6  | 3.7 |
| 性別  | 男性     | 959   | -   | 9.3  | 19.0 | 17.4 | 9.0  | 16.9 | 6.0 | 15.8 | 6.6  | 3.9 |
|     | 女性     | 1,014 | -   | 13.5 | 18.9 | 18.1 | 8.2  | 14.8 | 3.5 | 10.5 | 12.5 | 3.5 |
| 年齢別 | 65～69歳 | 372   | -   | 14.5 | 20.4 | 13.7 | 8.6  | 16.4 | 4.8 | 18.0 | 3.5  | 3.8 |
|     | 70～74歳 | 530   | -   | 9.1  | 18.9 | 16.8 | 10.4 | 15.8 | 6.0 | 14.7 | 8.3  | 3.9 |
|     | 75～79歳 | 531   | -   | 13.0 | 18.3 | 20.9 | 7.5  | 15.6 | 5.1 | 10.5 | 9.0  | 3.6 |
|     | 80～84歳 | 347   | -   | 9.8  | 19.0 | 17.9 | 9.8  | 15.0 | 2.3 | 11.8 | 14.4 | 3.6 |
|     | 85歳以上  | 193   | -   | 10.9 | 18.1 | 19.7 | 4.1  | 16.6 | 4.1 | 8.3  | 18.1 | 3.5 |
| 圏域別 | 山東圏域   | 712   | -   | 12.8 | 18.3 | 17.6 | 10.1 | 14.5 | 5.2 | 12.6 | 9.0  | 3.7 |
|     | 伊吹圏域   | 288   | -   | 11.1 | 13.5 | 18.4 | 9.0  | 19.8 | 4.5 | 13.5 | 10.1 | 3.9 |
|     | 米原圏域   | 533   | -   | 13.1 | 20.5 | 17.1 | 7.9  | 14.8 | 4.7 | 12.4 | 9.6  | 3.6 |
|     | 近江圏域   | 440   | -   | 7.5  | 21.8 | 18.6 | 6.6  | 16.6 | 4.1 | 14.3 | 10.5 | 3.8 |

② 隣近所までの外出

最近1か月に隣近所までの外出をした人は76.9%です。性別、年齢別では大きな変化はなく、85歳以上でやや低下しています（図表4-28）。

活動日数は、「週2日」「週3日」が20～21%台と高くなっています。平均は3.5日です。平均日数が多いのは、性別では男性、年齢別では70～74歳です（図表4-29）。

図表4-28 隣近所までの外出（平成28年調査と比較）



図表4-29 隣近所までの外出日数（平成28年調査と比較）

単位：Nは人、平均は日、他は%

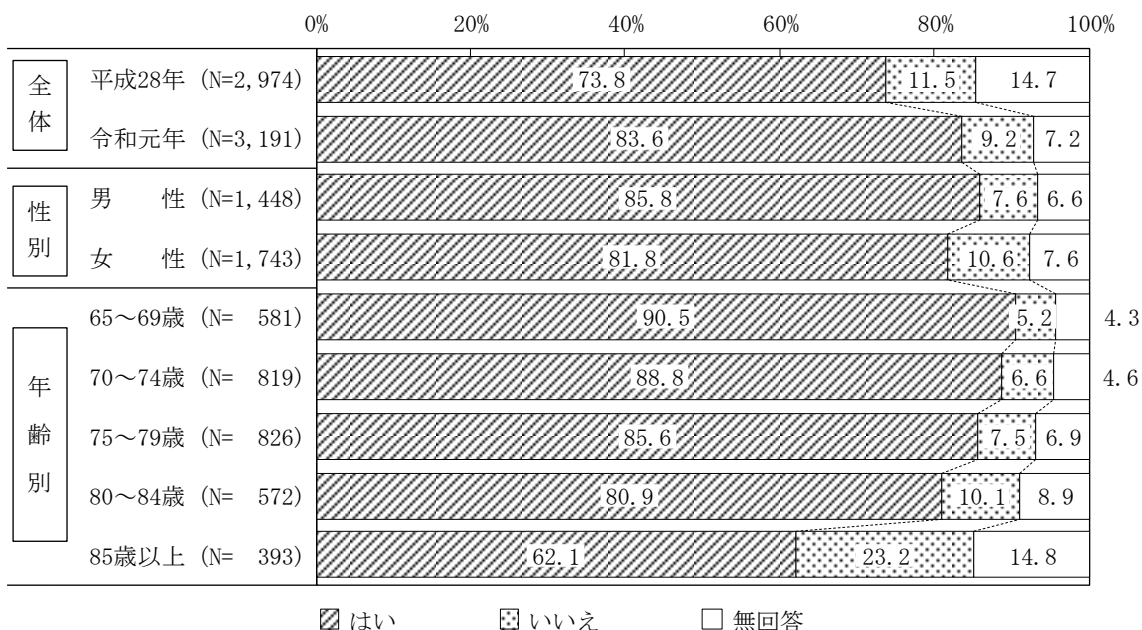
| 区分     | N     | 週1日未満 | 週1日  | 週2日  | 週3日  | 週4日  | 週5日  | 週6日 | 週7日  | 無回答  | 平均  |
|--------|-------|-------|------|------|------|------|------|-----|------|------|-----|
| 全体     |       |       |      |      |      |      |      |     |      |      |     |
| 平成28年  | 2,246 | 0.0   | 14.6 | 20.7 | 16.9 | 7.6  | 10.5 | 4.1 | 12.8 | 12.7 | 3.5 |
| 令和元年   | 2,455 | -     | 13.2 | 21.6 | 20.4 | 8.6  | 14.3 | 4.8 | 11.6 | 5.6  | 3.5 |
| 性別     |       |       |      |      |      |      |      |     |      |      |     |
| 男性     | 1,104 | -     | 12.8 | 19.6 | 19.1 | 7.3  | 16.2 | 6.0 | 15.6 | 3.4  | 3.8 |
| 女性     | 1,351 | -     | 13.5 | 23.3 | 21.5 | 9.6  | 12.7 | 3.8 | 8.3  | 7.3  | 3.3 |
| 年齢別    |       |       |      |      |      |      |      |     |      |      |     |
| 65～69歳 | 461   | -     | 16.9 | 20.0 | 17.1 | 10.4 | 12.6 | 4.8 | 14.5 | 3.7  | 3.6 |
| 70～74歳 | 640   | -     | 12.3 | 21.1 | 20.3 | 7.0  | 13.3 | 6.4 | 14.4 | 5.2  | 3.7 |
| 75～79歳 | 652   | -     | 12.6 | 21.0 | 21.5 | 9.4  | 15.8 | 5.1 | 9.0  | 5.7  | 3.5 |
| 80～84歳 | 435   | -     | 10.1 | 21.6 | 22.8 | 9.9  | 13.8 | 3.2 | 11.5 | 7.1  | 3.6 |
| 85歳以上  | 267   | -     | 15.0 | 27.3 | 19.9 | 5.2  | 16.5 | 3.0 | 6.0  | 7.1  | 3.2 |
| 圏域別    |       |       |      |      |      |      |      |     |      |      |     |
| 山東圏域   | 912   | -     | 14.1 | 22.7 | 20.2 | 8.2  | 14.1 | 5.0 | 11.0 | 4.6  | 3.5 |
| 伊吹圏域   | 343   | -     | 15.7 | 18.4 | 21.3 | 9.3  | 14.0 | 4.1 | 12.0 | 5.2  | 3.5 |
| 米原圏域   | 660   | -     | 12.1 | 20.8 | 19.5 | 8.8  | 15.5 | 5.8 | 12.0 | 5.6  | 3.6 |
| 近江圏域   | 540   | -     | 11.1 | 23.0 | 21.3 | 8.5  | 13.1 | 3.7 | 11.9 | 7.4  | 3.5 |

③ 市内までの外出

最近1か月間に、市内までの外出をした人は83.6%です。性別では男性が女性より4.0ポイント高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低下し、85歳以上では62.1%となっています（図表4-30）。

活動日数は、「週2日」が24.7%と最も高く、次いで「週3日」「週1日」の順となっています。平均は3.1日です。平均日数が多いのは、性別では男性、年齢別では65～74歳、圏域別では近江です（図表4-31）。

図表4-30 市内までの外出（平成28年調査と比較）



図表4-31 市内までの外出の日数（平成28年調査と比較）

単位：Nは人、平均は日、他は%

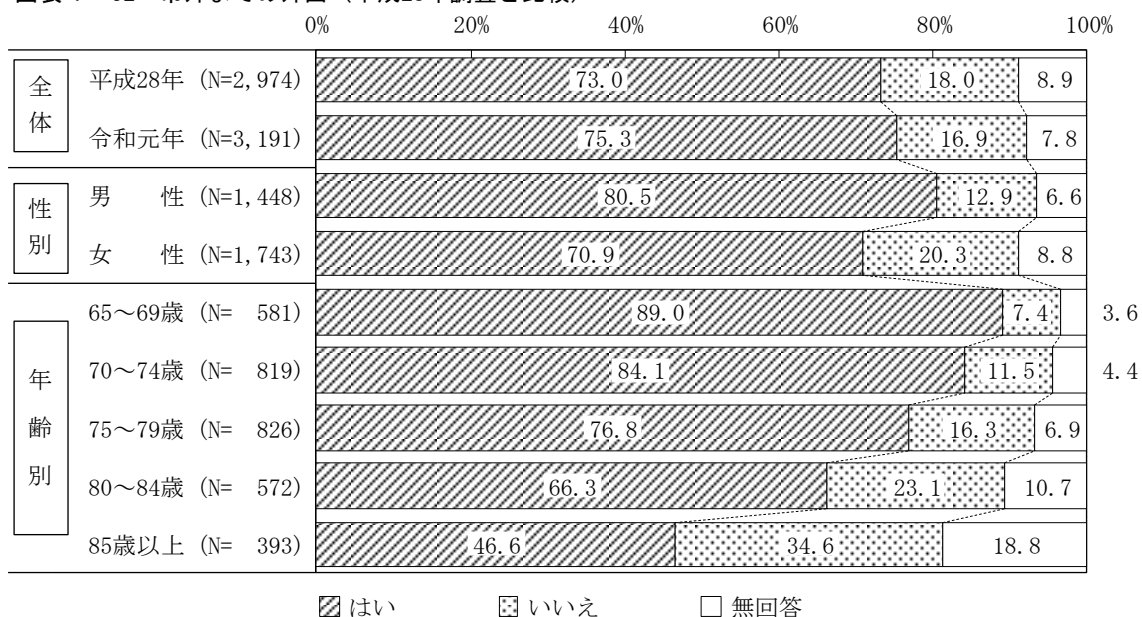
| 区分  | N      | 週1日未満 | 週1日 | 週2日  | 週3日  | 週4日  | 週5日  | 週6日  | 週7日 | 無回答  | 平均   |     |
|-----|--------|-------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|-----|
| 全体  | 平成28年  | 2,195 | 0.4 | 23.9 | 25.0 | 18.0 | 7.2  | 8.7  | 2.4 | 4.8  | 9.7  | 2.7 |
|     | 令和元年   | 2,667 | -   | 18.9 | 24.7 | 19.8 | 9.2  | 10.0 | 3.8 | 6.8  | 6.7  | 3.1 |
| 性別  | 男性     | 1,242 | -   | 15.5 | 26.0 | 19.6 | 9.8  | 11.0 | 4.3 | 9.0  | 4.8  | 3.3 |
|     | 女性     | 1,425 | -   | 22.0 | 23.6 | 19.9 | 8.7  | 9.2  | 3.4 | 4.8  | 8.4  | 2.9 |
| 年齢別 | 65～69歳 | 526   | -   | 17.7 | 23.6 | 18.4 | 10.1 | 12.5 | 3.4 | 10.8 | 3.4  | 3.3 |
|     | 70～74歳 | 727   | -   | 13.2 | 27.0 | 20.5 | 10.2 | 11.1 | 5.5 | 7.4  | 5.1  | 3.3 |
|     | 75～79歳 | 707   | -   | 19.9 | 24.2 | 21.6 | 9.1  | 9.8  | 4.0 | 5.8  | 5.7  | 3.0 |
|     | 80～84歳 | 463   | -   | 20.5 | 24.4 | 20.3 | 9.1  | 9.5  | 1.7 | 4.5  | 9.9  | 2.8 |
|     | 85歳以上  | 244   | -   | 32.8 | 23.0 | 13.9 | 5.3  | 2.9  | 2.9 | 3.3  | 16.0 | 2.3 |
| 圏域別 | 山東圏域   | 960   | -   | 20.3 | 26.0 | 20.1 | 9.0  | 8.3  | 3.6 | 5.4  | 7.2  | 2.9 |
|     | 伊吹圏域   | 393   | -   | 20.4 | 25.4 | 17.6 | 8.1  | 11.7 | 3.1 | 6.4  | 7.4  | 3.0 |
|     | 米原圏域   | 717   | -   | 20.6 | 22.3 | 19.5 | 10.6 | 9.2  | 3.6 | 7.3  | 6.8  | 3.1 |
|     | 近江圏域   | 597   | -   | 13.7 | 25.1 | 20.9 | 8.7  | 12.6 | 4.7 | 8.7  | 5.5  | 3.3 |

④ 市外までの外出

最近1か月間に市外までの外出をした人は75.3%です。性別では男性が女性より9.6ポイント高く、年齢別では80～84歳以上で急激に低下し、85歳以上で40%台となっています(図表4-32)。

活動日数は、「週1日」が41.0%と最も高く、次いで「週2日」「週3日」の順となっています。平均は2.2日です。平均日数が多いのは、性別では男性、年齢別では65～69歳です(図表4-33)。

図表4-32 市外までの外出(平成28年調査と比較)



図表4-33 市外までの外出の日数(平成28年調査と比較)

単位：Nは人、平均は日、他は%

| 区分     | N     | 週1日未満 | 週1日  | 週2日  | 週3日  | 週4日 | 週5日 | 週6日 | 週7日 | 無回答  | 平均  |
|--------|-------|-------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| 全体     |       |       |      |      |      |     |     |     |     |      |     |
| 平成28年  | 2,172 | 0.8   | 37.0 | 25.4 | 14.1 | 5.2 | 5.2 | 1.1 | 2.8 | 8.4  | 2.2 |
| 令和元年   | 2,402 | 0.2   | 41.0 | 25.7 | 13.7 | 5.5 | 4.8 | 1.7 | 2.1 | 5.2  | 2.2 |
| 性別     |       |       |      |      |      |     |     |     |     |      |     |
| 男性     | 1,166 | 0.2   | 37.7 | 25.7 | 16.2 | 6.9 | 6.1 | 2.0 | 2.7 | 2.6  | 2.3 |
| 女性     | 1,236 | 0.2   | 44.2 | 25.6 | 11.4 | 4.1 | 3.6 | 1.4 | 1.6 | 7.8  | 2.0 |
| 年齢     |       |       |      |      |      |     |     |     |     |      |     |
| 65～69歳 | 517   | 0.2   | 32.9 | 26.1 | 14.3 | 7.2 | 8.9 | 2.7 | 4.4 | 3.3  | 2.6 |
| 70～74歳 | 689   | 0.1   | 37.3 | 27.9 | 13.5 | 7.0 | 5.5 | 2.5 | 1.5 | 4.8  | 2.3 |
| 75～79歳 | 634   | 0.5   | 48.1 | 24.3 | 14.4 | 4.3 | 2.7 | 1.1 | 1.7 | 3.0  | 2.0 |
| 80～84歳 | 379   | -     | 45.6 | 25.9 | 14.0 | 4.0 | 2.4 | 0.5 | 1.1 | 6.6  | 1.9 |
| 85歳以上  | 183   | -     | 44.3 | 20.8 | 10.4 | 2.2 | 3.3 | -   | 1.6 | 17.5 | 1.9 |
| 圏域別    |       |       |      |      |      |     |     |     |     |      |     |
| 山東圏域   | 866   | -     | 42.1 | 25.4 | 14.3 | 5.2 | 4.4 | 1.3 | 2.1 | 5.2  | 2.1 |
| 伊吹圏域   | 369   | 0.5   | 43.1 | 24.9 | 11.7 | 5.4 | 4.9 | 2.7 | 1.6 | 5.1  | 2.1 |
| 米原圏域   | 637   | 0.3   | 37.8 | 25.6 | 16.0 | 6.0 | 4.6 | 1.9 | 2.0 | 5.8  | 2.2 |
| 近江圏域   | 530   | 0.2   | 41.7 | 26.8 | 11.5 | 5.3 | 5.8 | 1.3 | 2.6 | 4.7  | 2.2 |

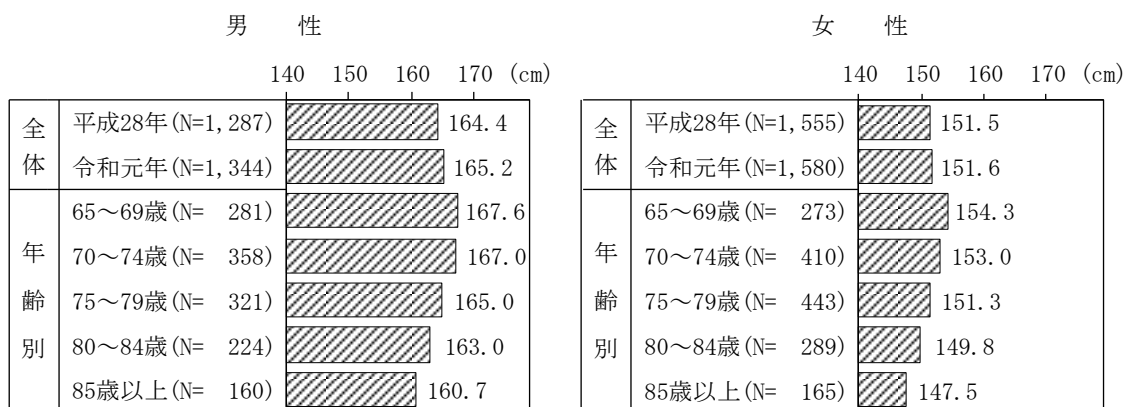
## 4 食べること

### (1) 身長と体重

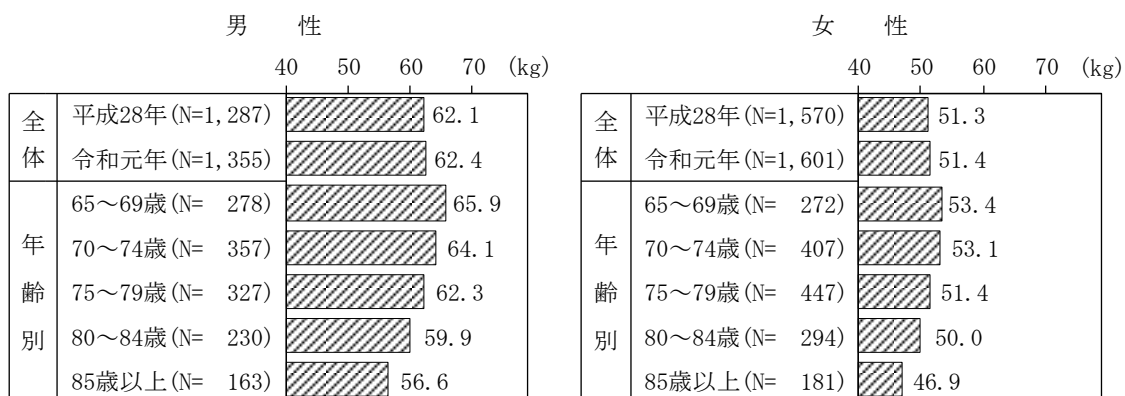
身長は平均が、男性が165.2cm、女性が151.6cm、体重は平均が、男性が62.4kg、女性が51.4kgです。身長、体重ともに高齢になるほど低くなっています。

図表4-34 身長と体重

#### ①平均身長



#### ②平均体重

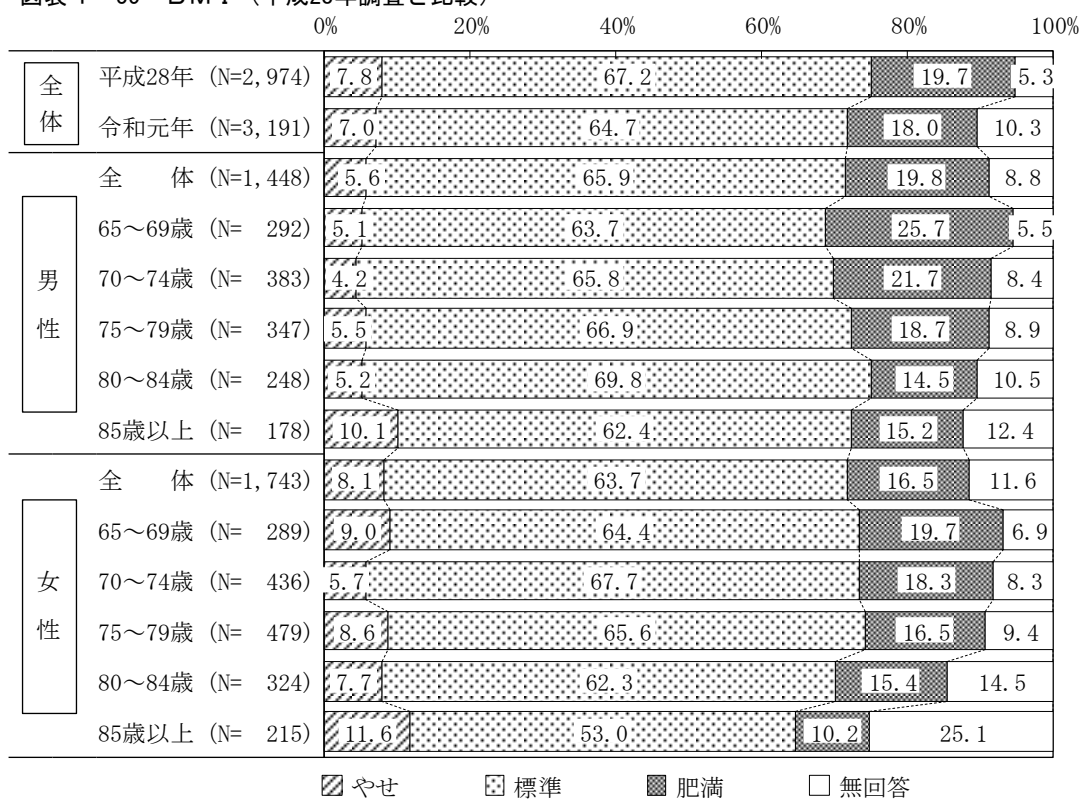


## (2) BMI

BMIとは、体重（kg）を身長（m）の2乗で割った値で、18.5未満が「やせ」、25.0以上が「肥満」とされます。「やせ」は全体では7.0%で、低栄養が疑われる高齢者です。

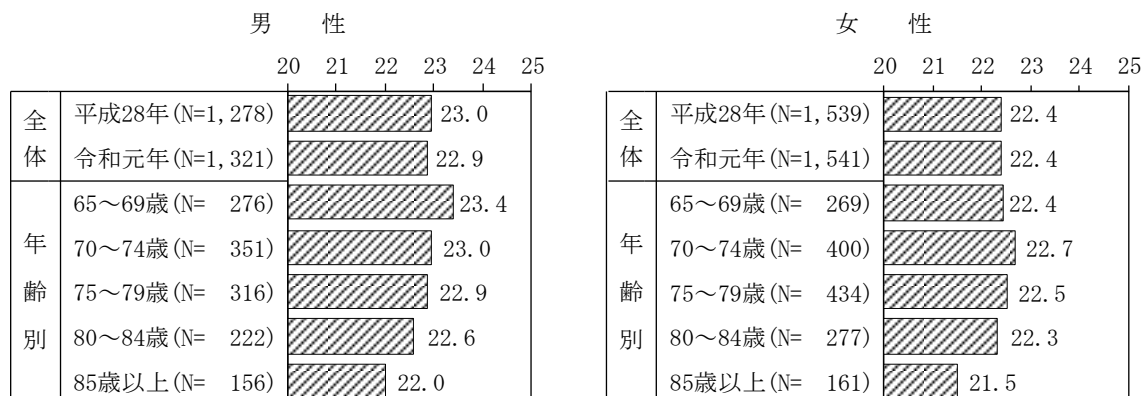
性別にみると、「やせ」は男性の5.6%に対し、女性は8.1%と高くなっています（図表4-35）。

図表4-35 BMI（平成28年調査と比較）



BMIの平均値をみると、男女ともにいずれの年齢層においても21～23の「標準」を示しており、年齢が上がるにつれて低下する傾向にあります（図表4-36）。

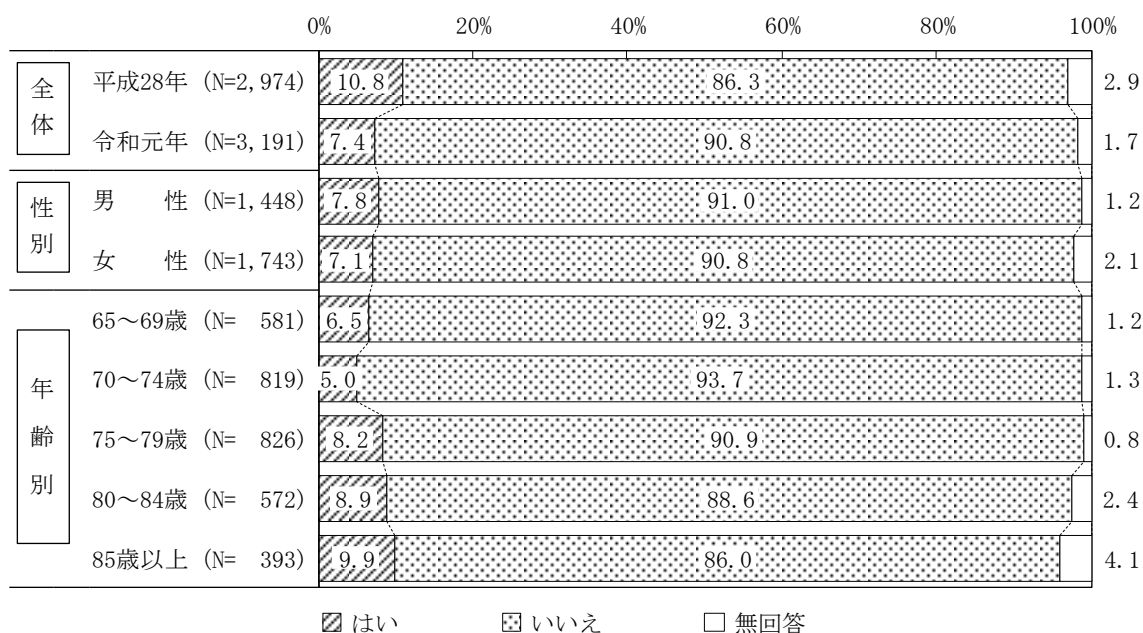
図表4-36 BMIの平均値（平成28年調査と比較）



### (3) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったと答えたのは7.4%です。

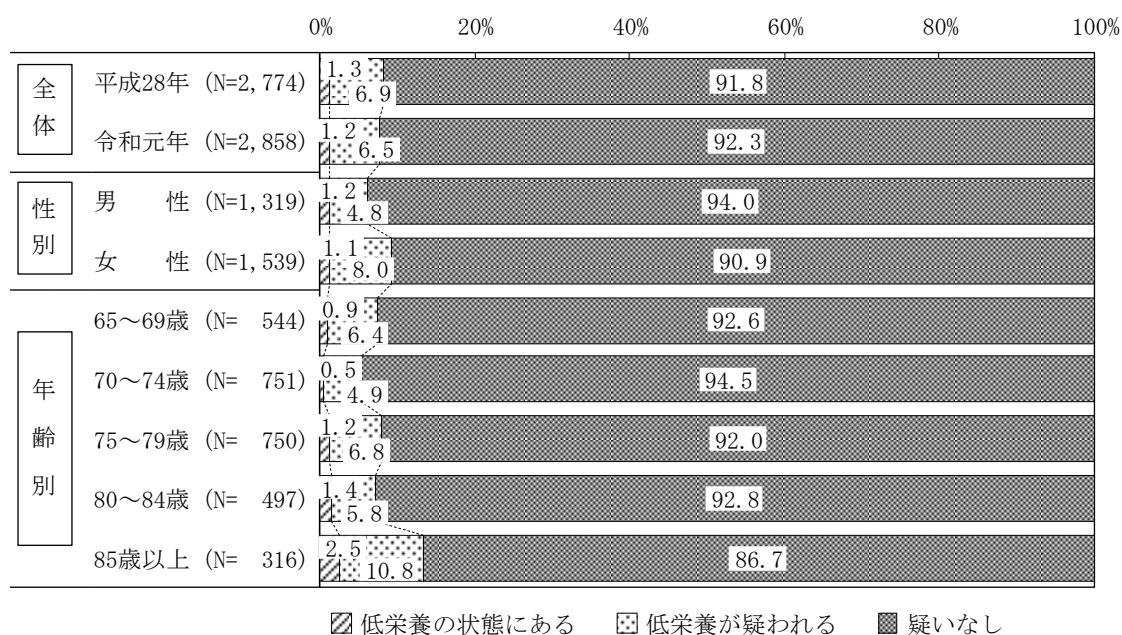
図表4-37 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか（平成28年調査と比較）



### (4) 低栄養状態にある高齢者

BMIが18.5未満の「やせ」の人のうち、6か月間で2～3kg以上の体重減少があったと答えた人は低栄養状態にある高齢者となります。低栄養状態にある高齢者は1.2%です。

図表4-38 低栄養状態にある高齢者（平成28年調査と比較）

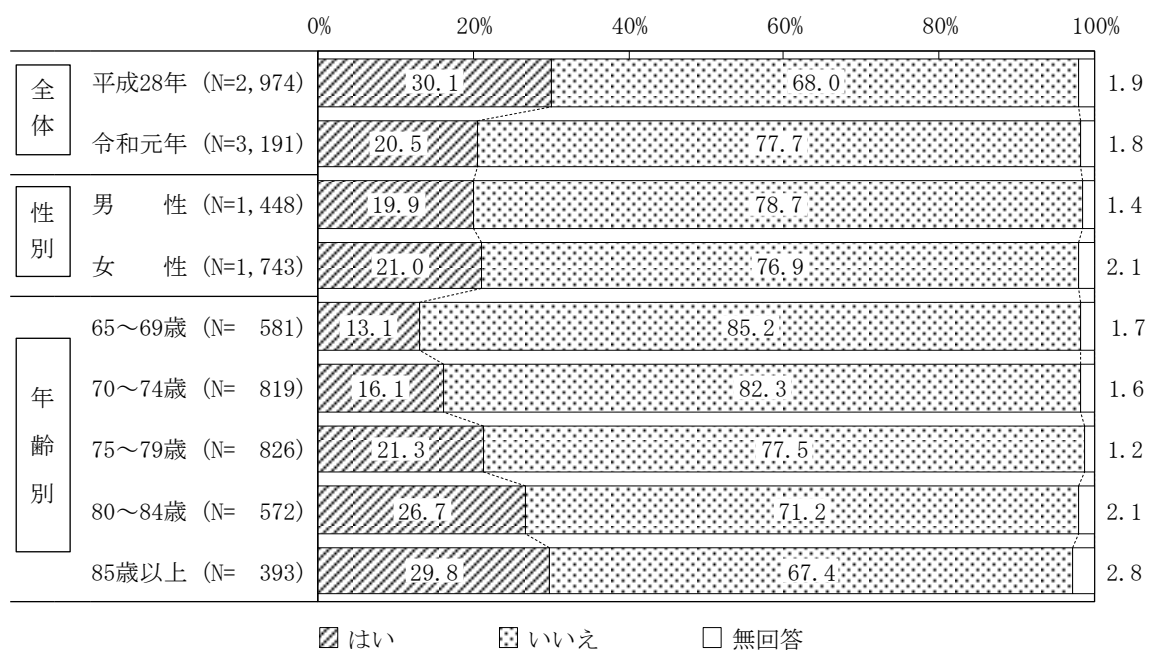




(5) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

半年前に比べて固いものが食べにくくなったと答えた人は20.5%で、咀嚼機能の低下が疑われます。性別による開きはなく、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。

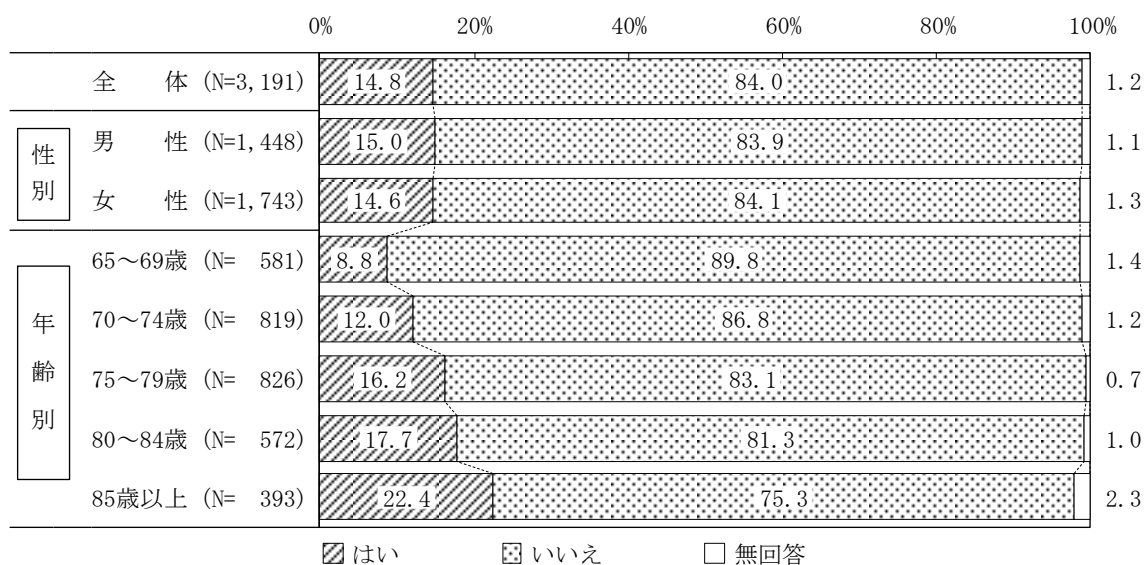
図表4-39 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか（平成28年調査と比較）



(6) お茶や汁物等でむせることがあるか

お茶や汁物等でむせることがあると答えた人は14.8%で、嚥下機能の低下が疑われます。性別による開きはなく、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。

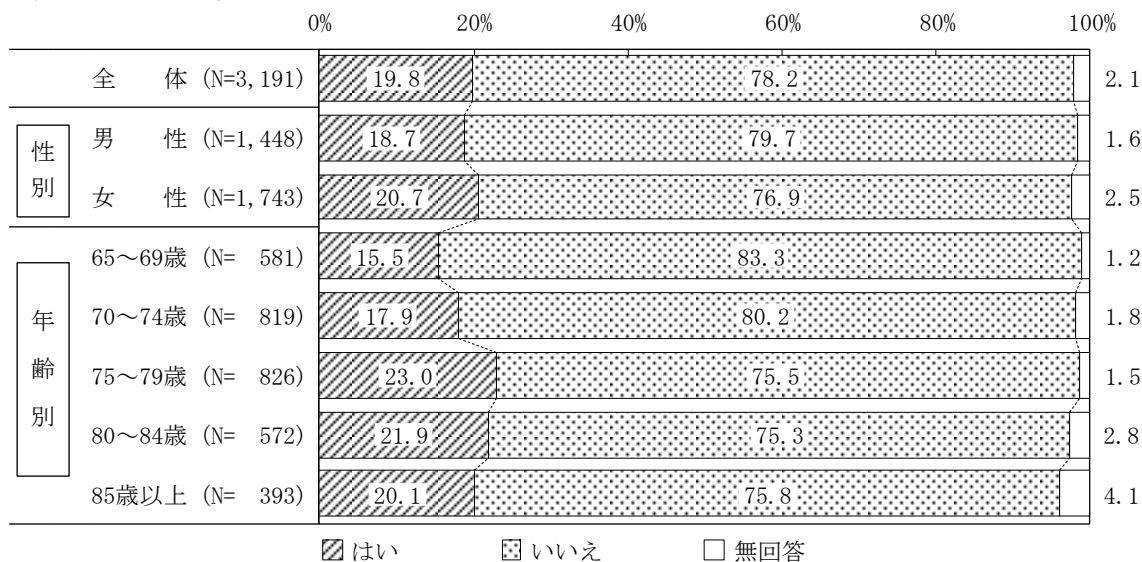
図表4-40 お茶や汁物等でむせることがあるか



### (7) 口の渇きが気になるか

肺炎発症リスクを把握する設問です。口の渇きが気になると答えた人は19.8%です。性別では女性がやや高く、年齢別では75～79歳が最も高くなっています。

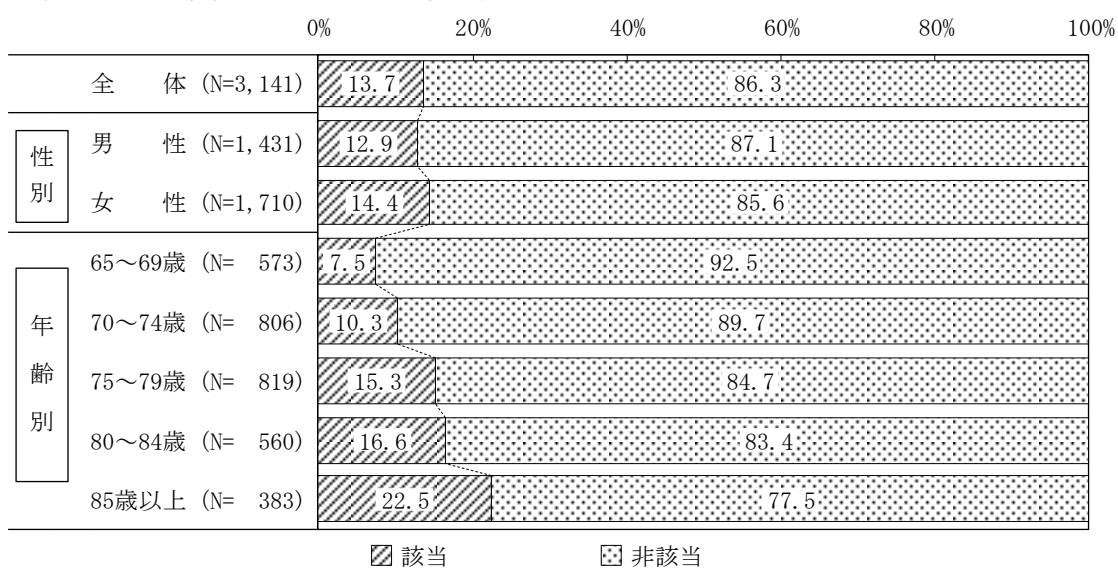
図表 4-41 口の渇きが気になるか



### (8) 口腔機能が低下している高齢者

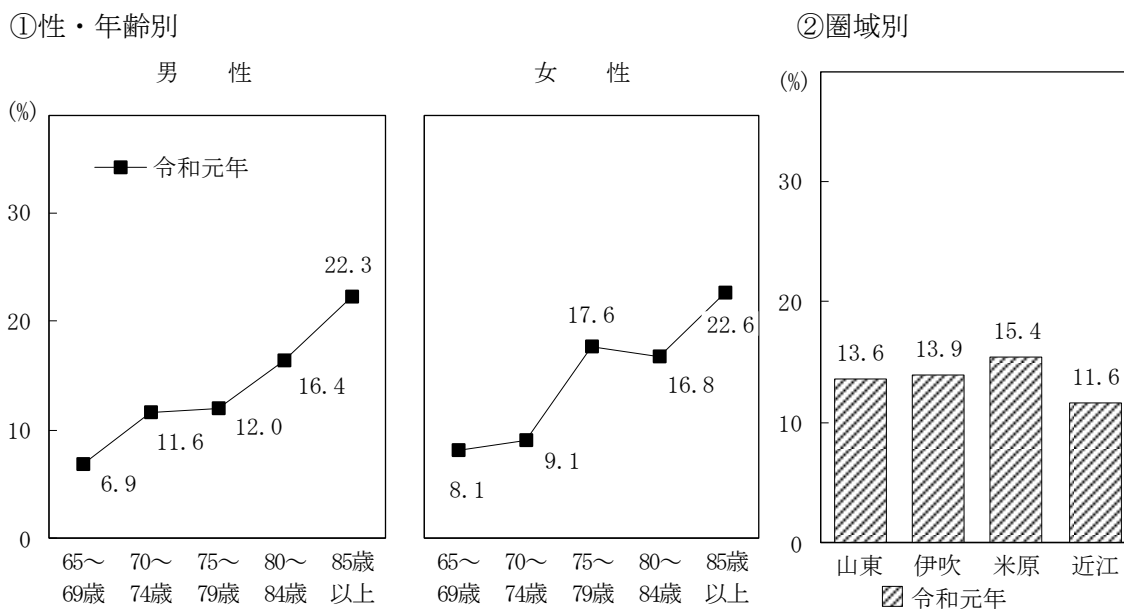
(5)～(7)の設問のうち、2つが該当した場合は口腔機能が低下している高齢者となります。「該当」は13.7%です。性別による開きは小さく、年齢が上がるにつれて高くなっています(図表 4-42)。

図表 4-42 口腔機能が低下している高齢者



性・年齢別にみると、男女ともに年齢とともに高くなっています。圏域別では米原が15.4%と最も高く、近江が11.6%で最も低くなっています（図表4-43）。

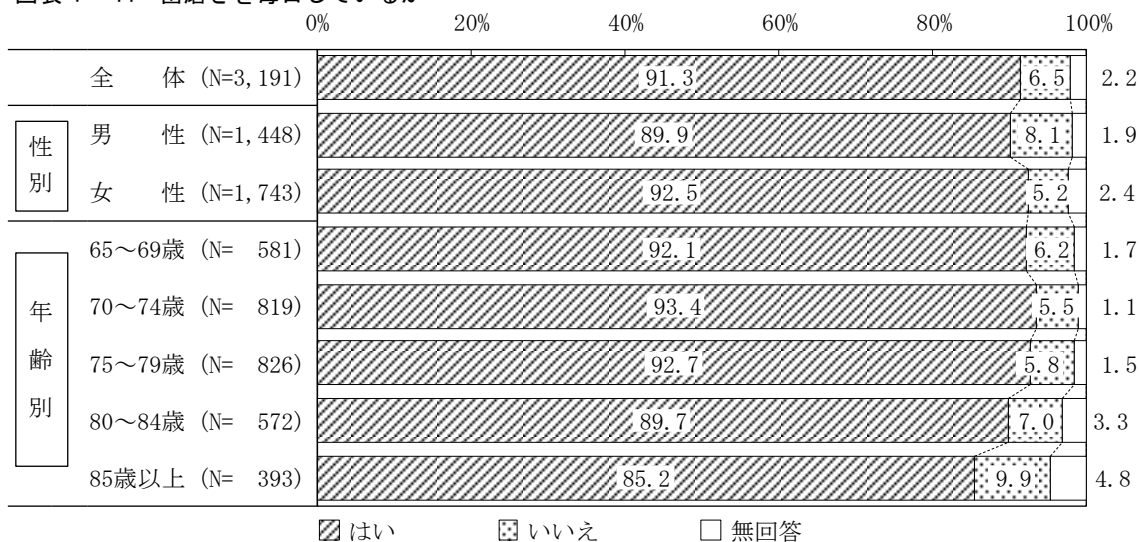
図表4-43 口腔機能が低下している高齢者



(9) 歯磨きを毎日しているか

歯磨き（人にやってもら場合も含む）を毎日している人は91.3%です。「いいえ」は女性に比べて男性が高くなっています。

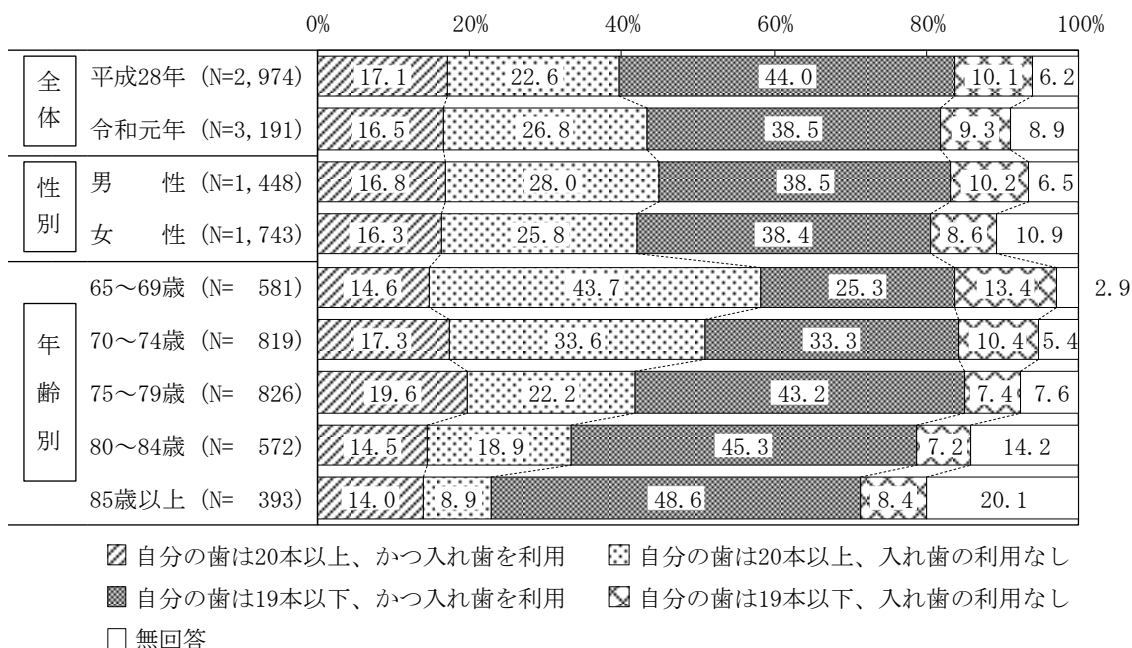
図表4-44 歯磨きを毎日しているか



### (10) 歯の数と入れ歯の利用状況

図表4-45は、歯の数と入れ歯の利用状況をたずねた結果です。＜自分の歯が20本以上＞は43.3%、＜自分の歯が19本以下＞は47.8%です。＜入れ歯を利用＞しているのは55.0%、＜入れ歯なし＞は36.1%です。自分の歯が20本以上の人を年齢別にみると、年齢が上がるにつれて低下し、65～69歳では58.3%あったものが、80～84歳では33.4%、85歳以上では22.9%となっています。

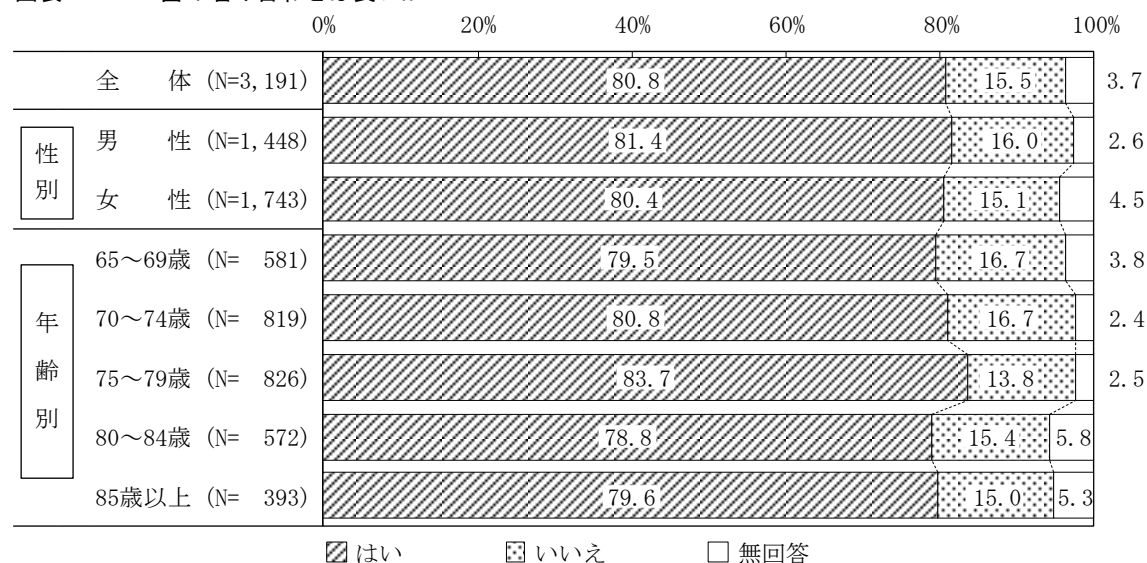
図表4-45 歯の数と入れ歯の利用状況（平成28年調査と比較）



### (11) 歯の噛み合わせは良いか

噛み合わせについては、80.8%が「はい（良い）」と答えています。

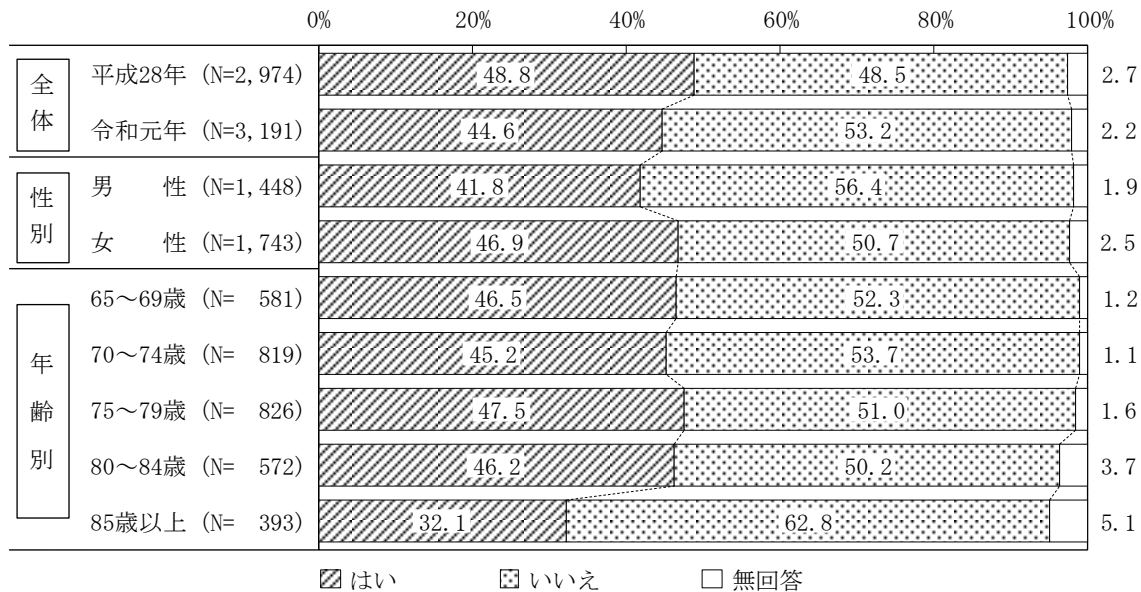
図表4-46 歯の噛み合わせは良いか



(12) 歯科受診

定期的に歯科受診（健診を含む）をしている人は44.6%です。性別では女性が高く、年齢別にみると、80～84歳までは40%台で変化はありませんが、85歳以上で急激に低下しています。

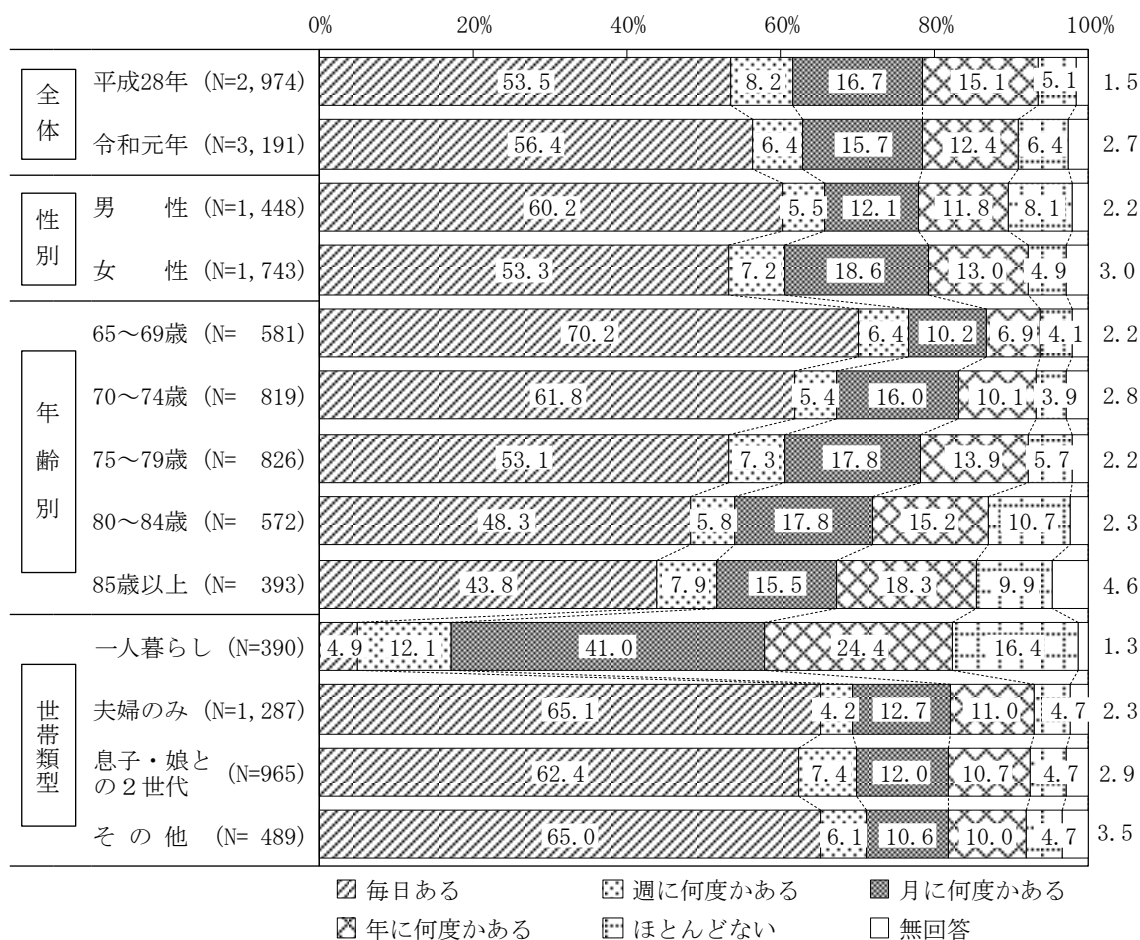
図表4-47 定期的に歯科受診等をしているか（平成28年調査と比較）



(13) 誰かと食事をする機会はあるか

誰かと食事をともにする機会があるかたずねたところ、「毎日ある」が56.4%と最も高くなっています。年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「毎日ある」は低下する傾向にあります。世帯類型別の一人暮らしでは、「月に何度かある」が41.0%、「年に何度かある」が24.4%となっており、両方で65.4%を占めています。「毎日ある」は4.9%となっています。

図表4-48 誰かと食事をする機会はあるか（平成28年調査と比較）

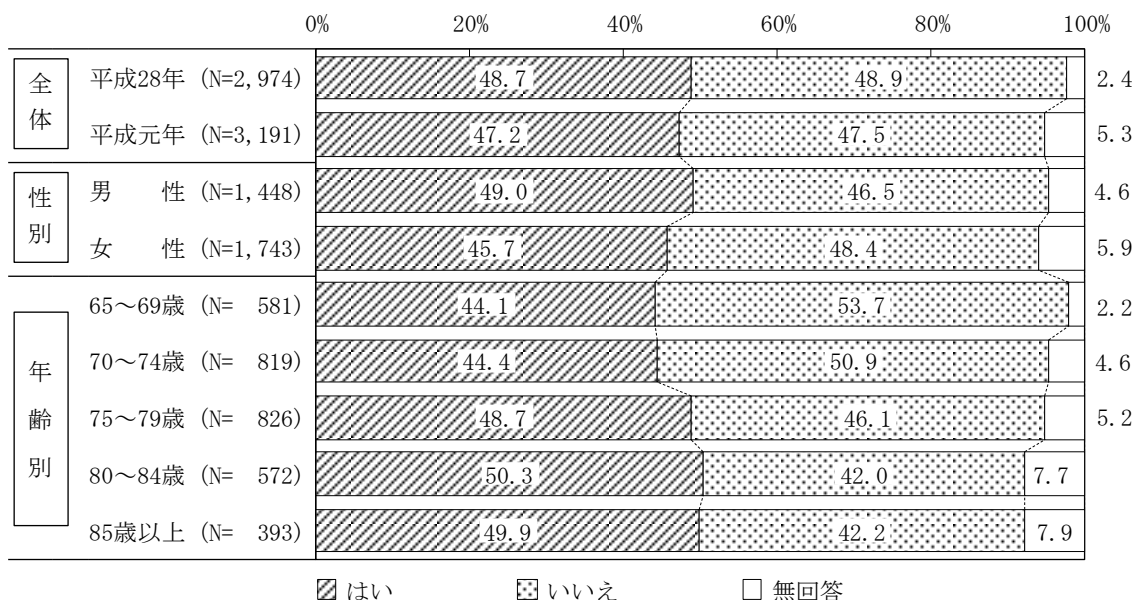


## 5 毎日の生活

### (1) 物忘れが多いと感じるか

物忘れが多いと感じているのは47.2%です。性別では男性がやや高く、年齢別では急激な変化はありませんが、75歳以上でやや高くなっています。

図表4-49 物忘れが多いと感じるか（平成28年調査と比較）

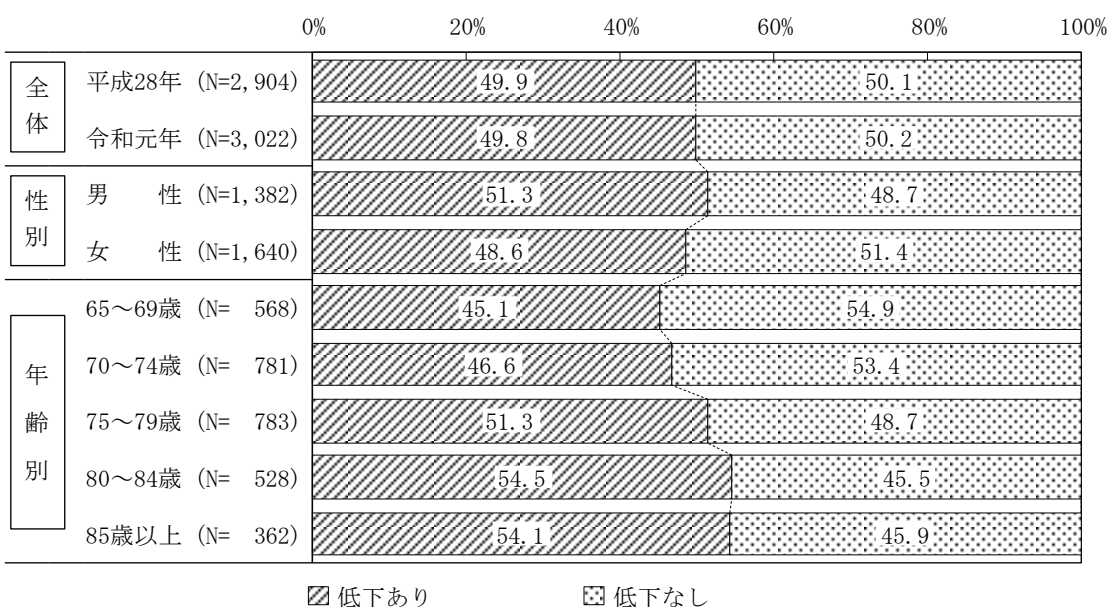


### (2) 認知機能が低下している高齢者

前問で「1. はい」と回答した場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

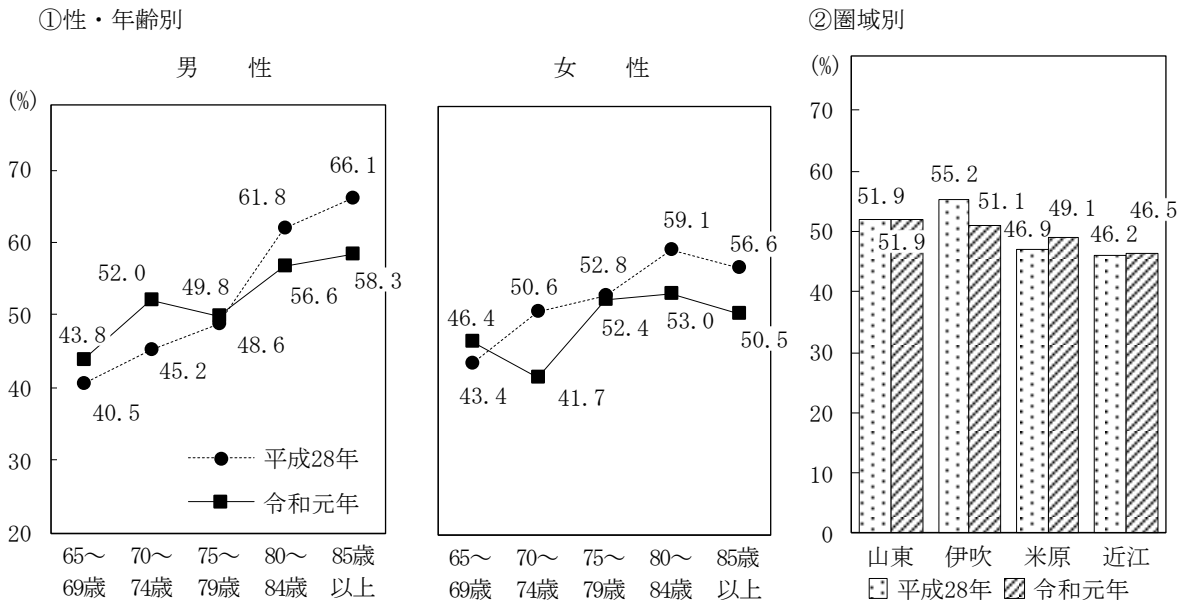
性別では男性がやや高く、年齢別では年齢が上がるにつれて緩やかに上昇する傾向にあります（図表4-50）。

図表4-50 認知機能が低下している高齢者（平成28年調査と比較）



性・年齢別にみると、認知機能が低下している高齢者は、男性の85歳以上で58.3%と高くなっています。女性は75歳以上では50~53%と大きな変化はありません。圏域別にみると、山東、伊吹が51%台と高く、近江は46.5%と低くなっています（図表4-51）。

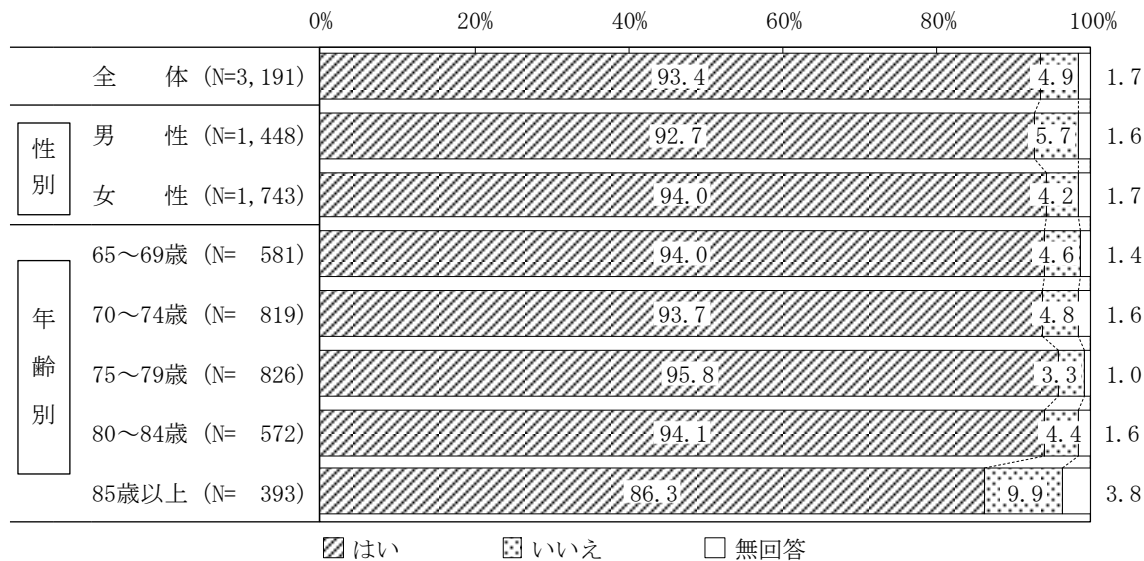
図表4-51 認知機能が低下している高齢者（平成28年調査と比較）



(3) 電話番号を調べて、電話をかけることをしているか

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているのは93.4%となっています。85歳以上でやや低くなるものの、大幅な低下はみられません。

図表4-52 電話番号を調べて、電話をかけることをしているか

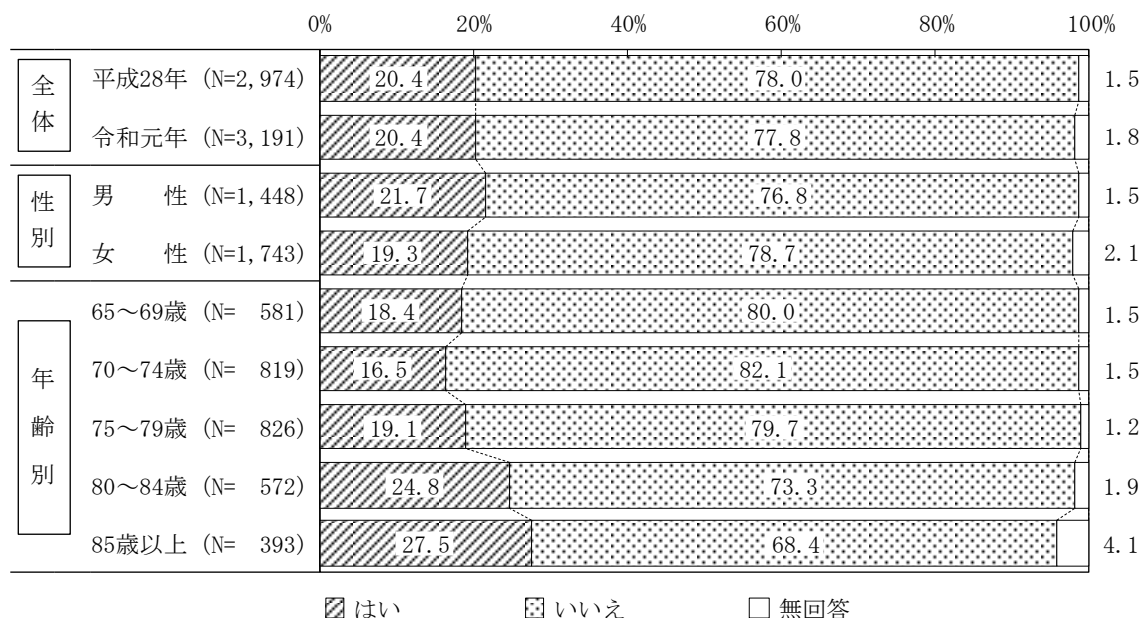




#### (4) 今日が何月何日かわからない時があるか

「今日が何月何日かわからない時がありますか」という設問に対しては、「はい」は20.4%となっています。「はい」は、性別では女性より男性が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて上昇しています。

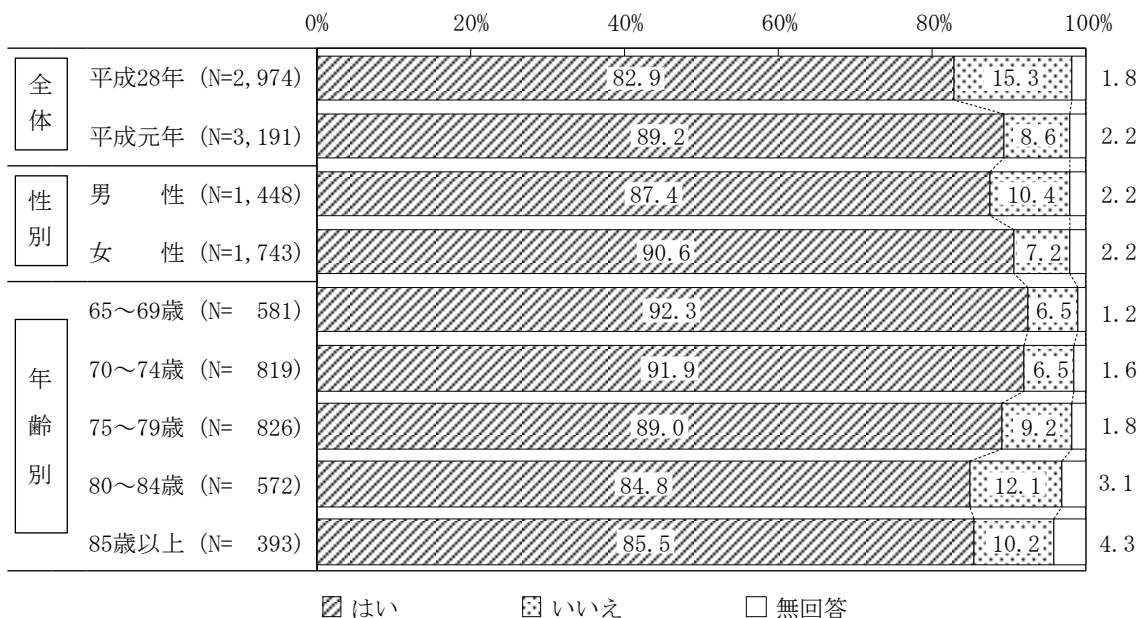
図表4-53 今日が何月何日かわからない時があるか（平成28年調査と比較）



(5) 5分前のことが思い出せるか

5分前のことが思い出せるかたずねたところ、89.2%が「はい」と答えています。「はい」は、性別では男性より女性が高く、年齢別では80～84歳以上でやや低くなりますが、急激な低下ではありません。

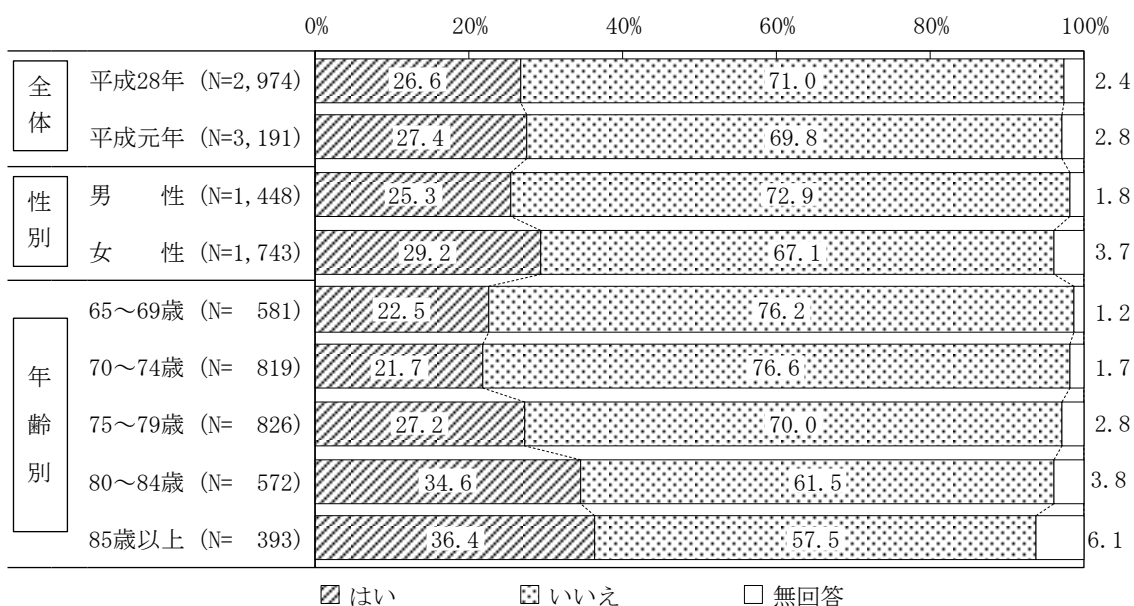
図表4-54 5分前のことが思い出せるか（平成28年調査と比較）



(6) わけもなくつかれた感じがする

わけもなくつかれた感じがすると答えたのは27.4%です。性別では男性より女性が高く、年齢別では75～79歳以上で高くなり始め、85歳以上で35%を上回っています。

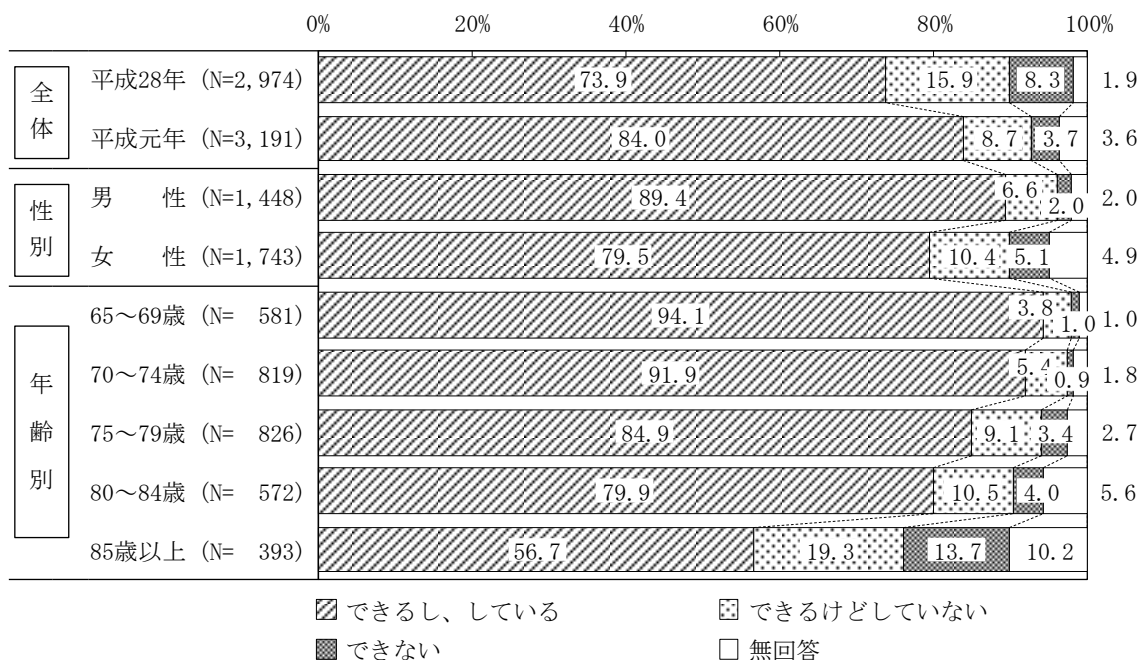
図表4-55 わけもなくつかれた感じがする（平成28年調査と比較）



(7) バスや電車で一人で外出しているか

「バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）」という設問に、「できない」と答えたのは3.7%です。「できない」は85歳以上で高くなっています。

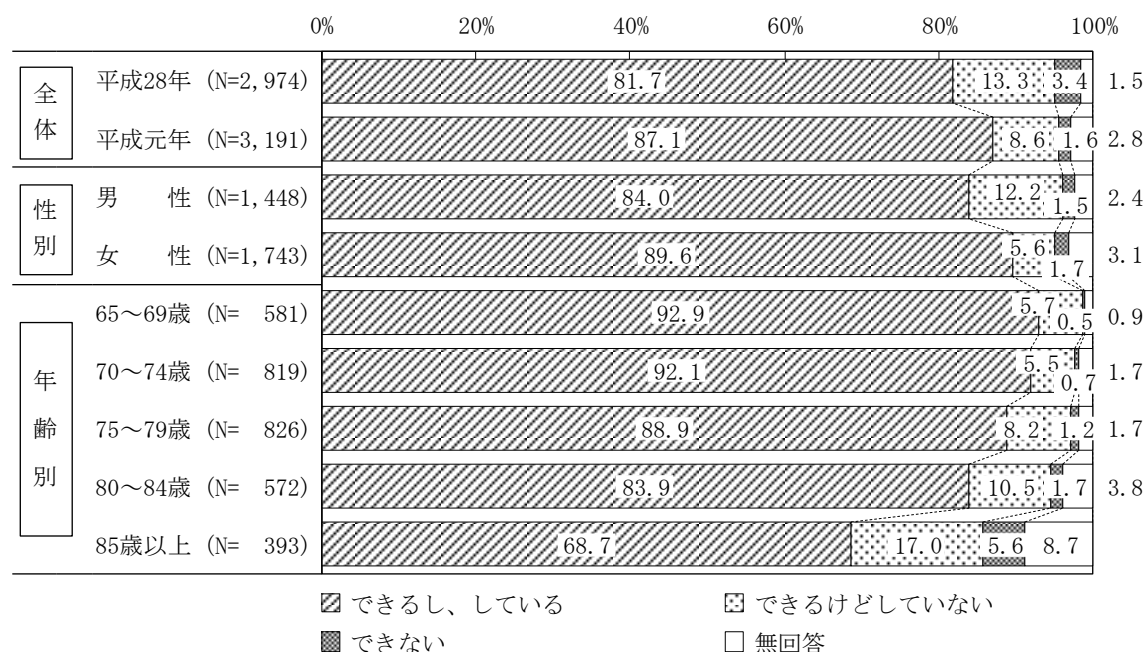
図表4-56 バスや電車で一人で外出しているか（平成28年調査と比較）



(8) 食品・日用品の買物をしているか

食品・日用品の買物は、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合計したく<できる>は95.7%です。85歳以上で低くなりますが、それでも85%以上を維持しています。

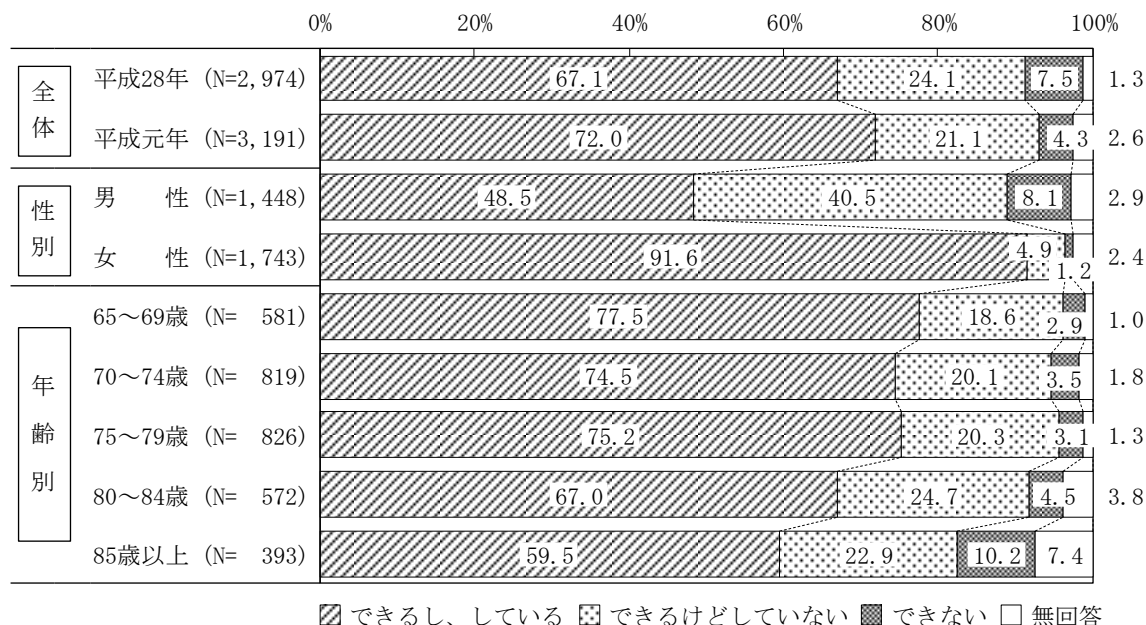
図表4-57 食品・日用品の買物をしているか（平成28年調査と比較）



(9) 自分で食事の用意をしているか

自分で食事の用意が「できない」と答えているのは4.3%です。性別では、男性は女性に比べて「できるけどしていない」が高く、女性は「できるし、している」が高くなっています。高齢になるにつれて「できるし、している」が低くなっています。

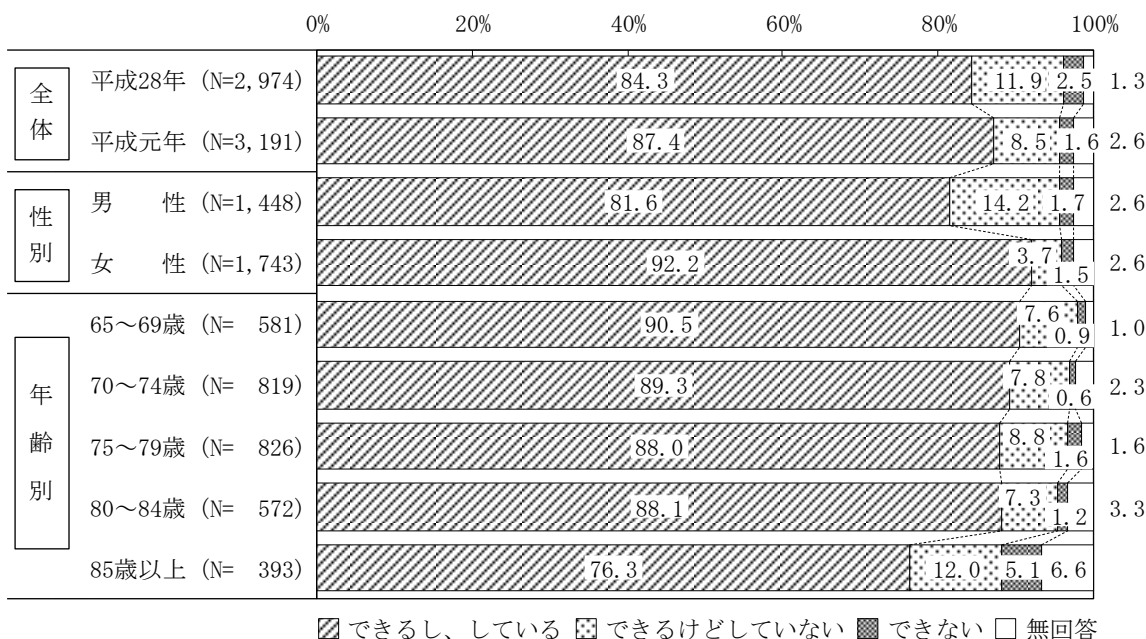
図表4-58 自分で食事の用意をしているか（平成28年調査と比較）



(10) 請求書の支払いをしているか

請求書の支払いについては、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合計した<できる>は95.9%です。<できる>は年齢が上がっても大きな変化はなく、85歳以上でも88.3%となっています。

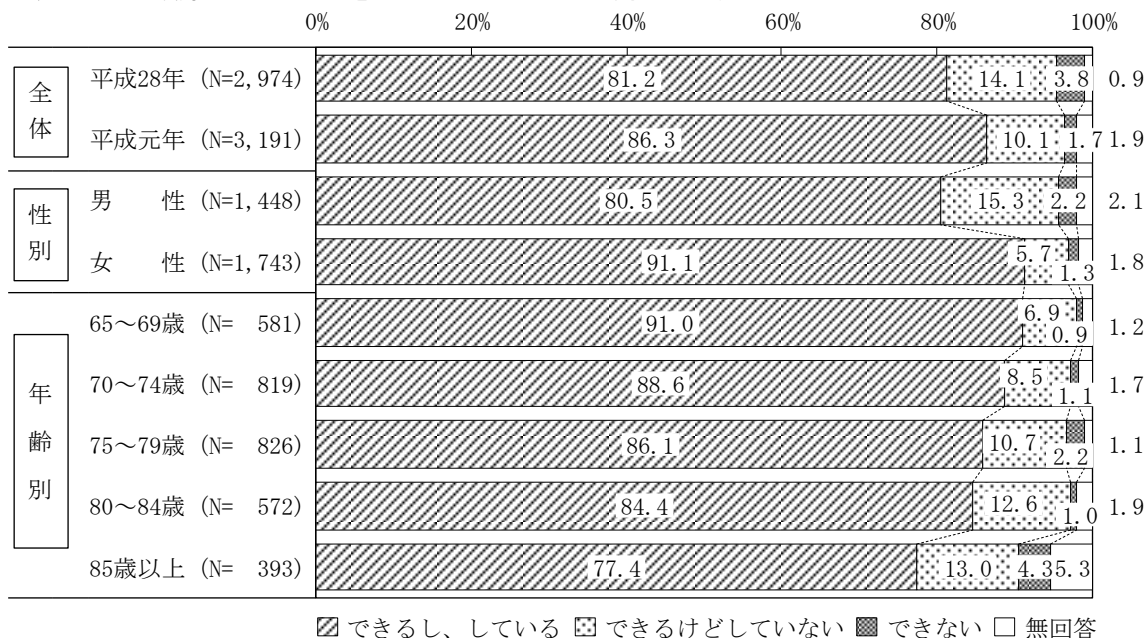
図表4-59 請求書の支払いをしているか（平成28年調査と比較）



### (11) 預貯金の出し入れをしているか

預貯金の出し入れは、請求書の支払いと同様に、「できるし、している」と「できるだけしていない」を合計した<できる>は96.4%と高く、85歳以上でも90.4%となっています。

図表4-60 預貯金の出し入れをしているか（平成28年調査と比較）



### (12) 手段的自立度（IADL）

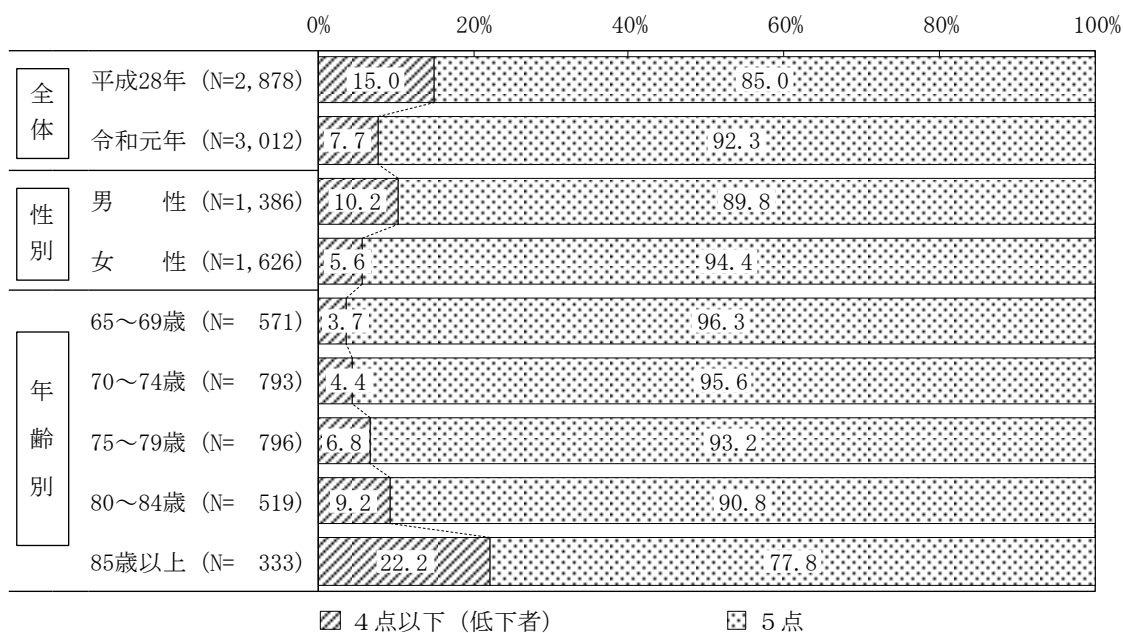
(7)～(11)の5つの設問は、IADLの低下を問う設問です。「1. できるし、している」または「2. できるだけしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価します。ここでは4点以下を低下者としています。

| 設 問                               | 選 択 肢                   |               |
|-----------------------------------|-------------------------|---------------|
| (7) バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可） | 1. できるし、している<br>3. できない | 2. できるだけしていない |
| (8) 自分で食品・日用品の買物をしていきますか          | 1. できるし、している<br>3. できない | 2. できるだけしていない |
| (9) 自分で食事の用意をしていますか               | 1. できるし、している<br>3. できない | 2. できるだけしていない |
| (10) 自分で請求書の支払いをしていますか            | 1. できるし、している<br>3. できない | 2. できるだけしていない |
| (11) 自分で預貯金の出し入れをしていますか           | 1. できるし、している<br>3. できない | 2. できるだけしていない |

IADLが低下している高齢者は、性別では男性が高く、年齢別では高齢になるほど高くなる傾向にあり、85歳以上で急激に上昇しています（図表4-61）。

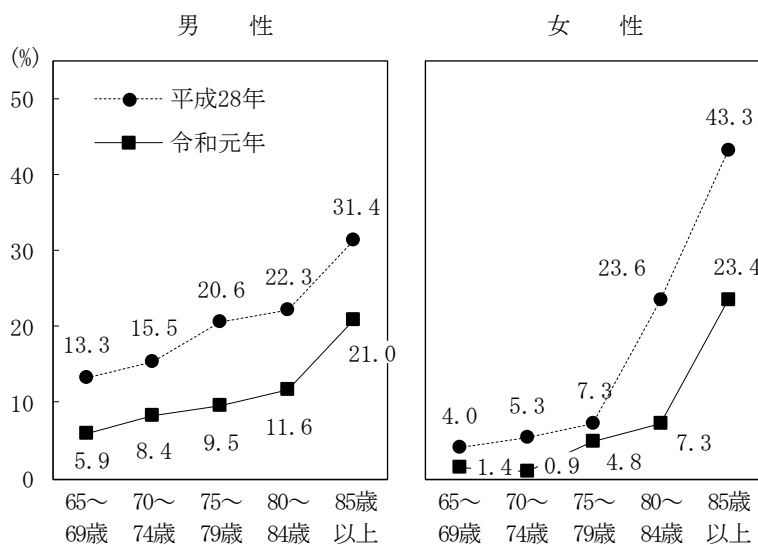
性・年齢別にみると、IADLが低下している高齢者は、男性は年齢が上がるにつれて緩やかに上昇し、女性は85歳以上で急激に高くなっています。圏域別にみると、大きな開きはなく、いずれの圏域も7～8%台です（図表4-62）。

図表4-61 手段的自立度（IADL）が低下している高齢者（平成28年調査と比較）

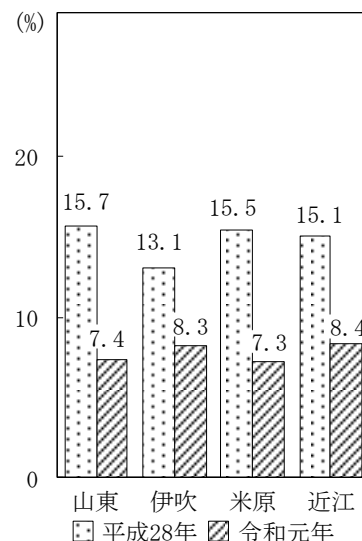


図表4-62 手段的自立度（IADL）が低下している高齢者（平成28年調査と比較）

①性・年齢別



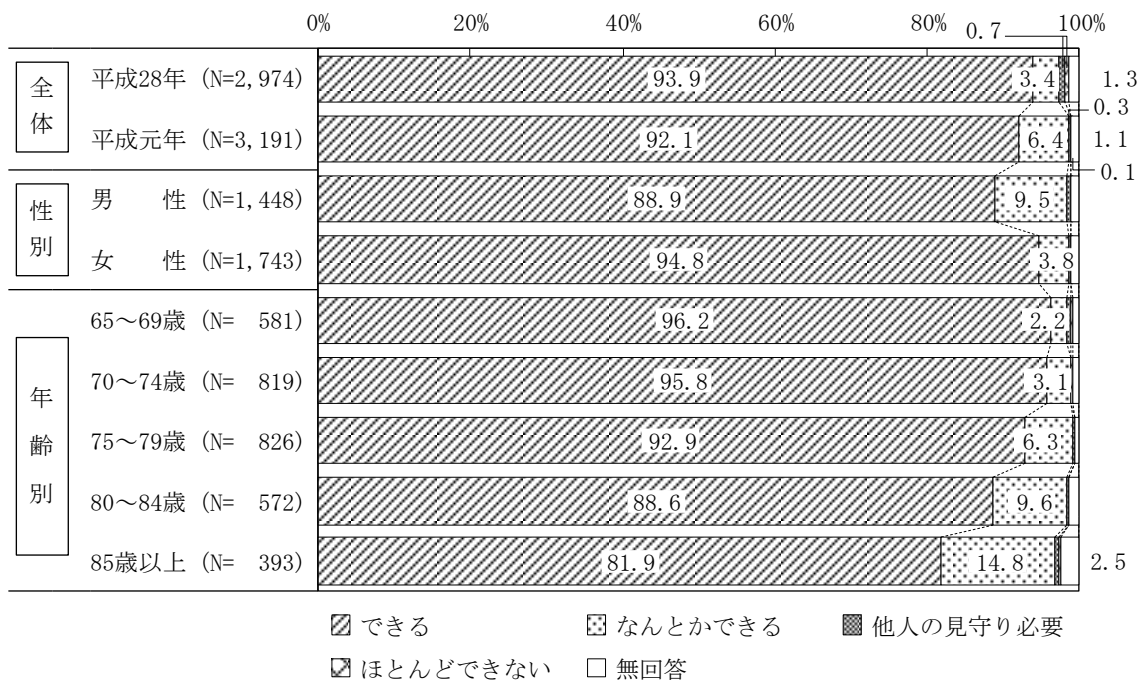
②圏域別



(13) その日の活動を自分で判断できるか

食事をする、衣類を選ぶなど、その日の活動を自分で判断できるかをたずねたところ、「できる」が92.1%を占めています。「できる」は80歳未満は90%以上と高く、80～84歳・85歳以上で80%台に低下しています。

図表4-63 その日の活動を自分で判断できるか（平成28年調査と比較）

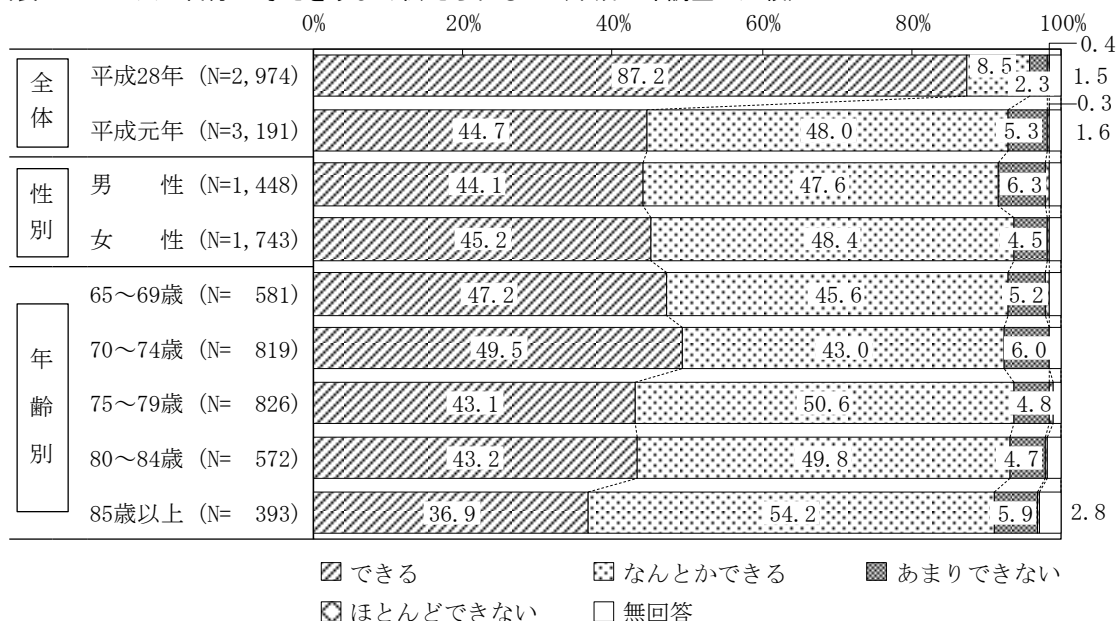


(注) 1 全体以外の2%未満の表記は省略した。  
 2 平成28年の選択肢は、「できる」「いづらか困難であるができる」「判断する時に誰かの合図や見守りが必要」「ほとんど自分では判断できない」としていた。

#### (14) 人に自分の考えをうまく伝えられるか

「人に自分の考えをうまく伝えられますか」という設問に対しては、「できる」(44.7%)、「なんとかできる」(48.0%)を合計した<できる>は92.7%となっています。<できる>は、性別、年齢別で大きな開きはありません。

図表4-64 人に自分の考えをうまく伝えられるか(平成28年調査と比較)

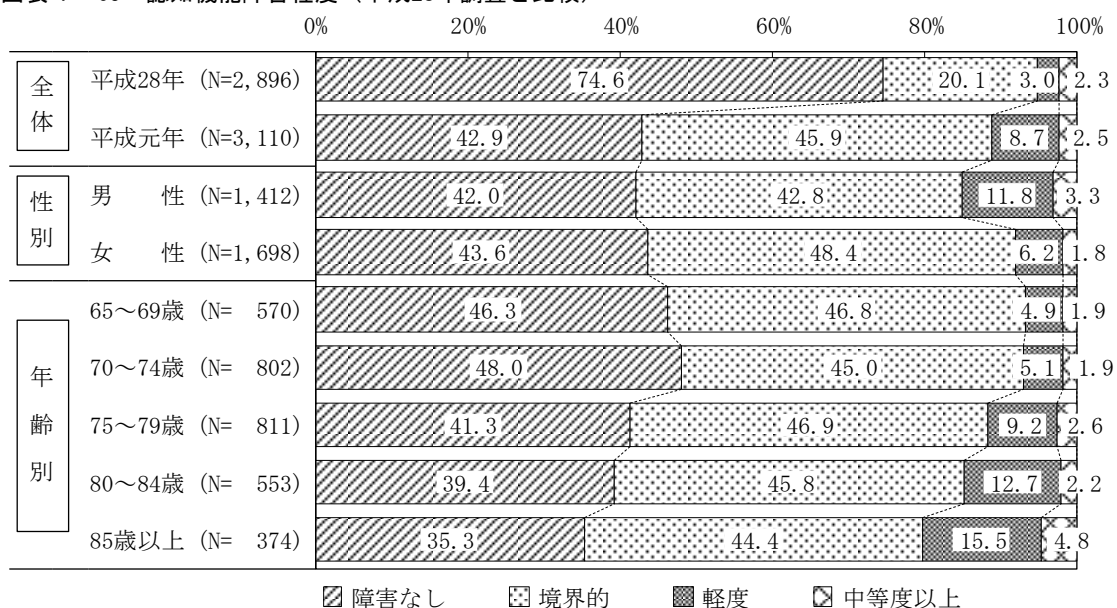


(注) 1 全体以外の2%未満の表記は省略した。  
2 平成28年の選択肢は、「伝えられる」「いくらか困難であるが伝えられる」「あまり伝えられない」「ほとんど伝えられない」としていた。

#### (15) 認知機能障害程度

「障害なし」は42.9%です。「境界的」(1レベル)が45.9%、「軽度」(2レベル)が8.7%、「中等度以上」(3レベル以上)が2.5%となっています。

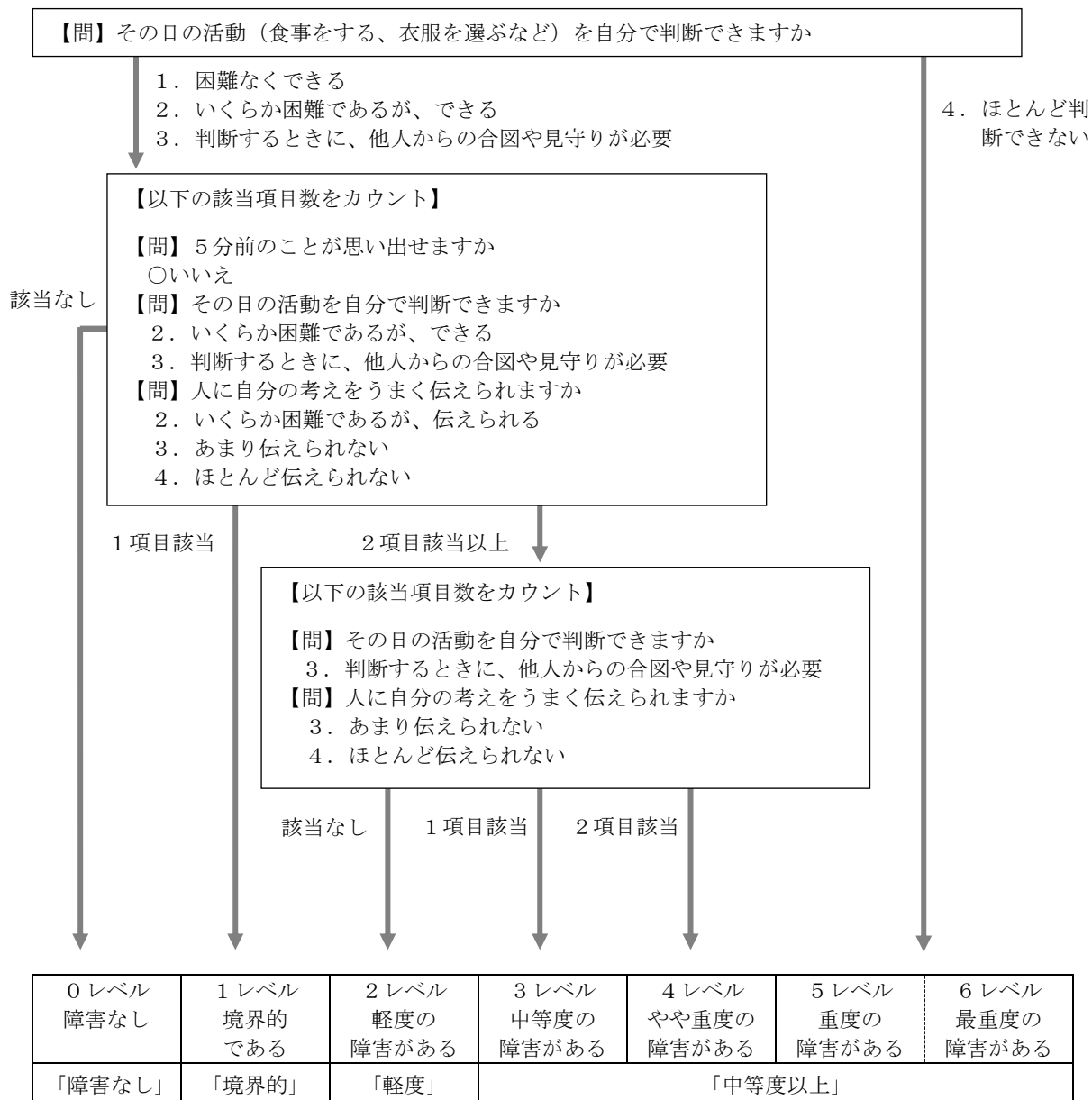
図表4-65 認知機能障害程度(平成28年調査と比較)





「障害なし」は、性別ではあまり開きはなく、年齢別では70～74歳の48.0%をピークとして年齢が上がるにつれて低下していきます。「境界的」は男性に比べて女性が5.6ポイント高く、「軽度」「中等度以上」は男性が高く、年齢が上がるにつれて高くなっています。

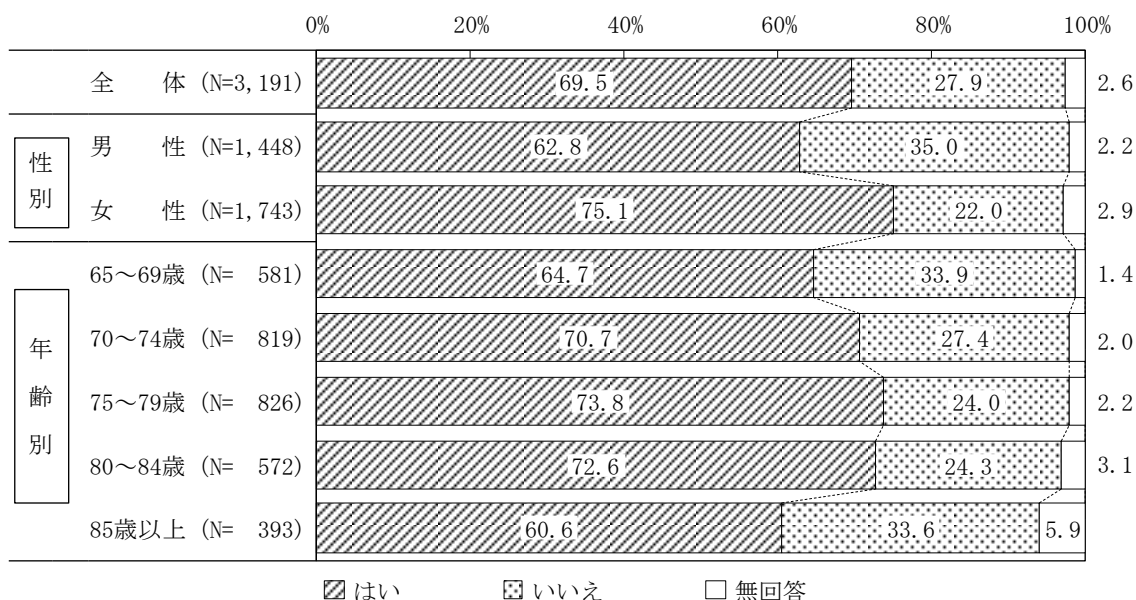
図表4-66 認知機能障害程度（CPS）の評価方法



(16) 友だちの家を訪ねることがあるか

友だちの家を訪ねていると答えたのは69.5%です。「はい」は、性別では男性より女性が12.3ポイント高くなっています。年齢別にみると、75～79歳までは高くなる傾向にありますが、85歳以上は低下しています。

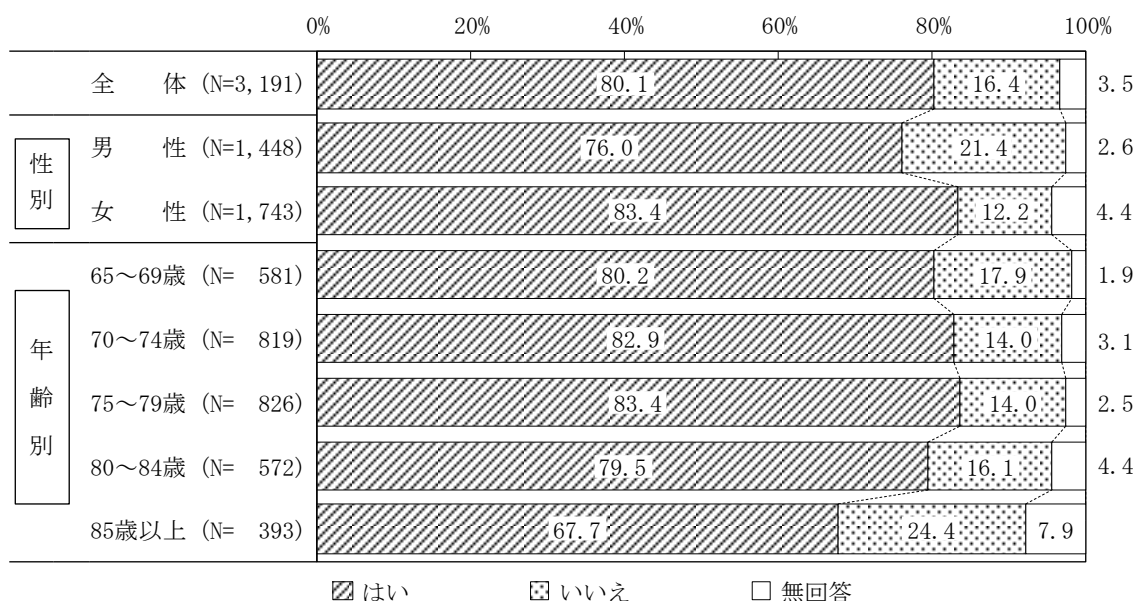
図表4-67 友だちの家を訪ねることがあるか



(17) 家族や友だちの相談にのることがあるか

家族や友だちの相談にのっている人は80.1%です。「はい」は、性別では男性より女性が高く、年齢別にみると、80～84歳までは大きな変化はなく、85歳以上で低下しています。

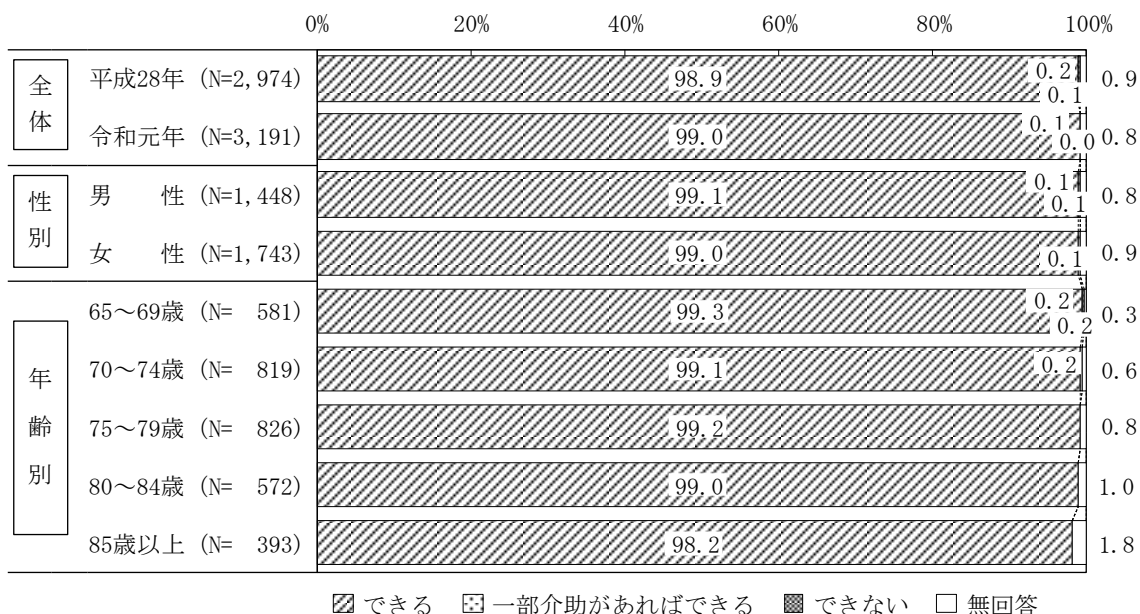
図表4-68 家族や友だちの相談にのることがあるか



(18) 食事を自分で食べられるか

食事を自分で食べることが「できる」のは99.0%です。性、年齢による開きは見られません。

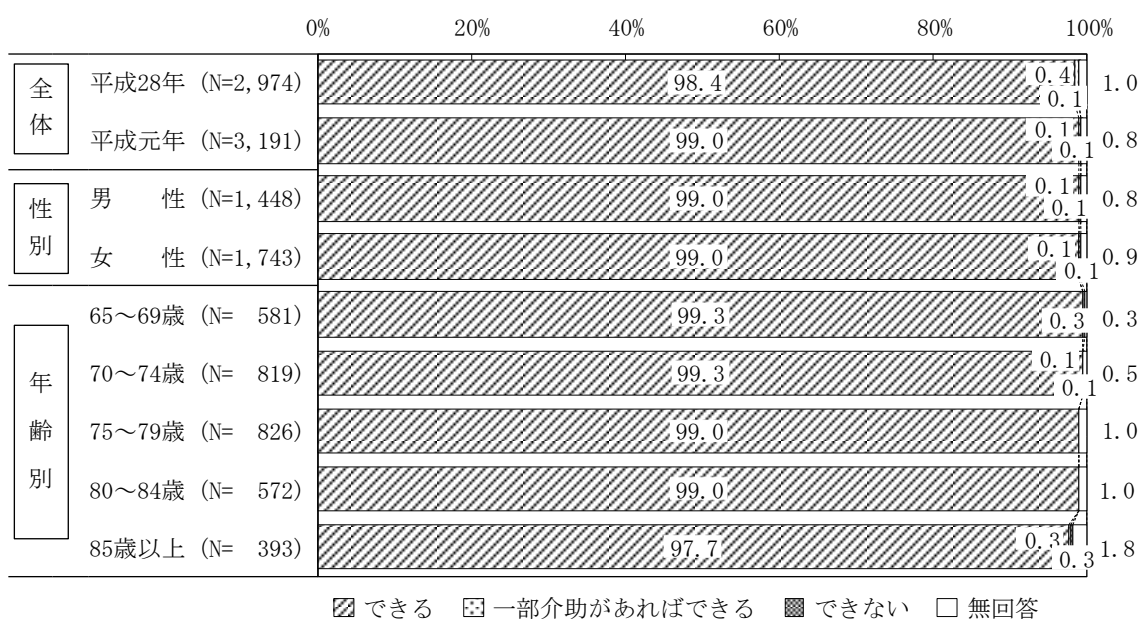
図表4-69 食事を自分で食べられるか（平成28年調査と比較）



(19) 自分で洗面や歯磨きができるか

自分で洗面や歯磨きが「できる」のは99.0%です。性、年齢による開きは見られません。

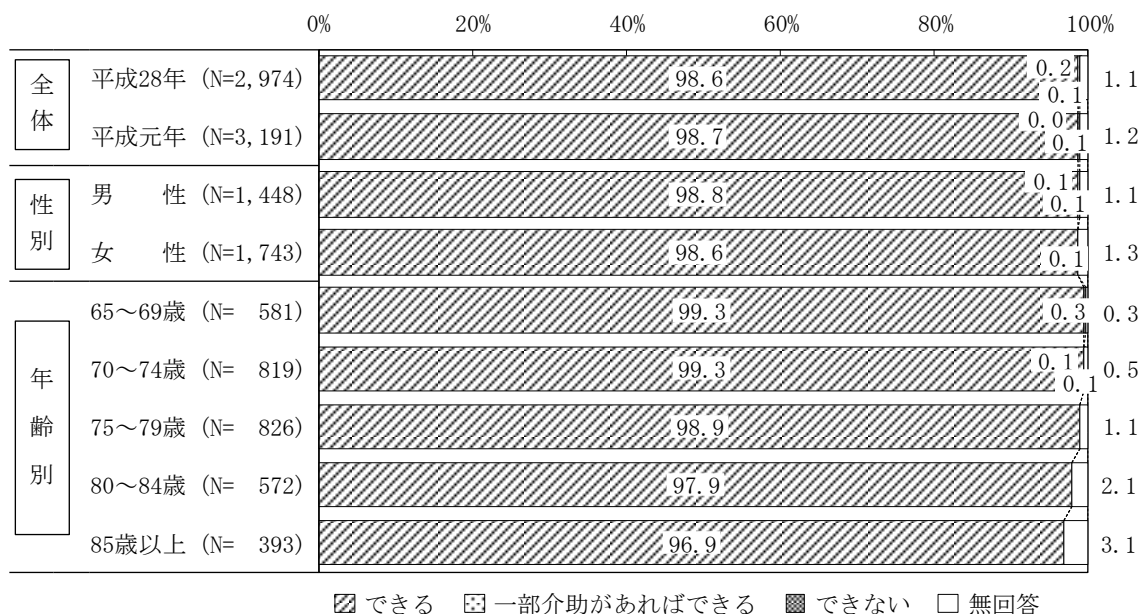
図表4-70 自分で洗面や歯磨きができるか（平成28年調査と比較）



(20) 自分で排泄ができるか

自分で排泄が「できる」のは98.7%です。洗面や歯磨きと同様に、性、年齢による開きは見られません。

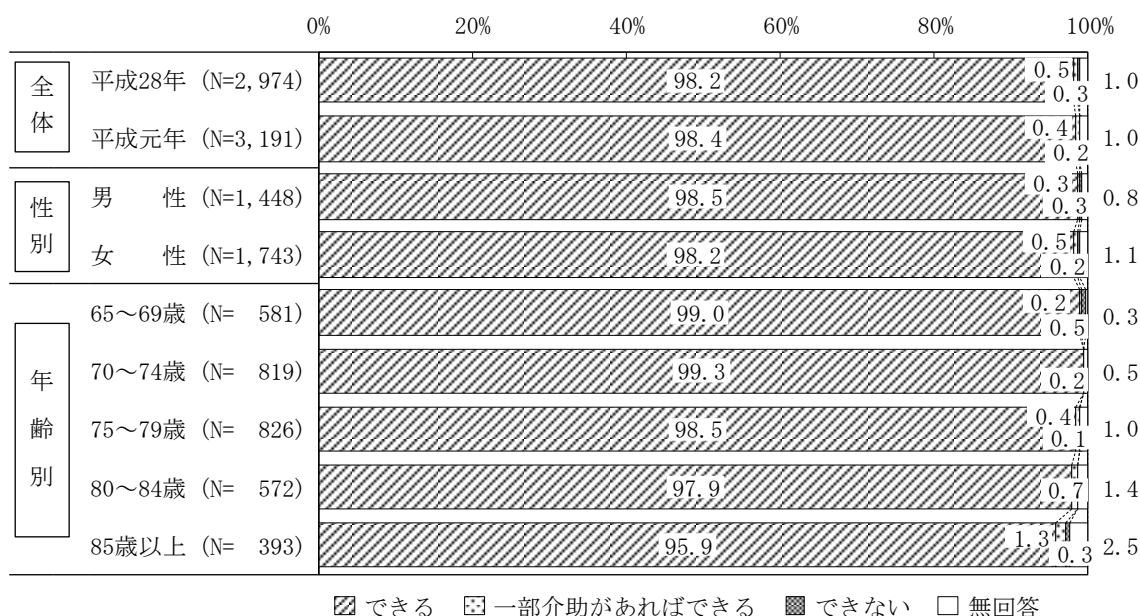
図表4-71 自分で排泄ができるか（平成28年調査と比較）



(21) 自分で入浴ができるか

自分で入浴が「できる」のは98.4%です。性、年齢による開きはほとんど見られませんが、85歳以上でわずかに低下しています。

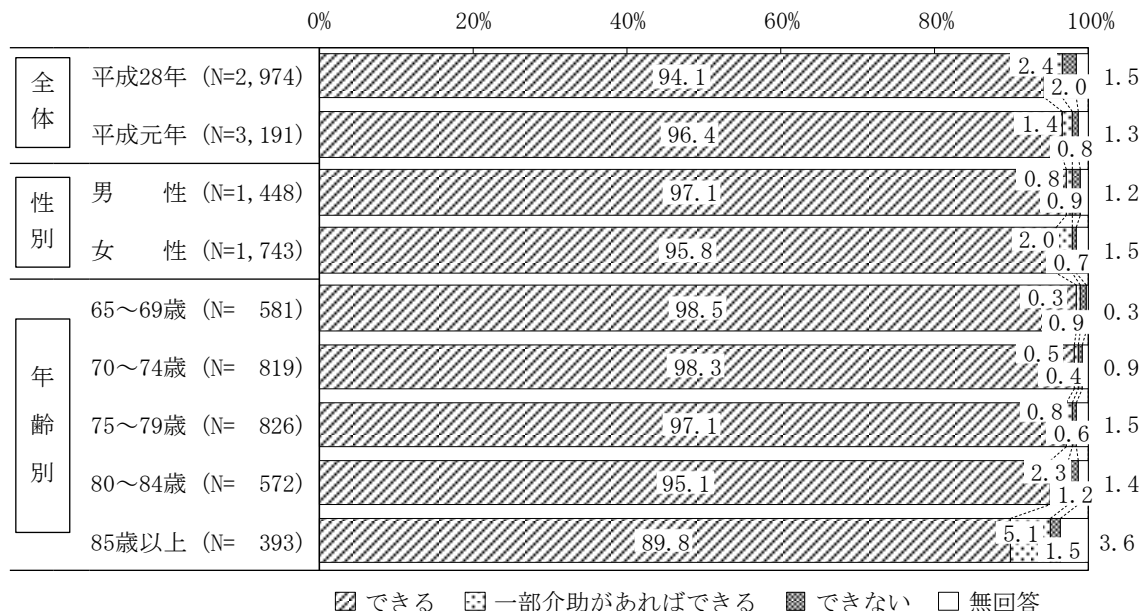
図表4-72 自分で入浴ができるか（平成28年調査と比較）



(22) 50メートル以上歩けるか

50メートル以上歩くことが「できる」のは96.4%です。「できる」は、性別では女性より男性がわずかに高く、年齢別では75～79歳からに緩やかに低下し、「一部介助があればできる」が高くなっています。

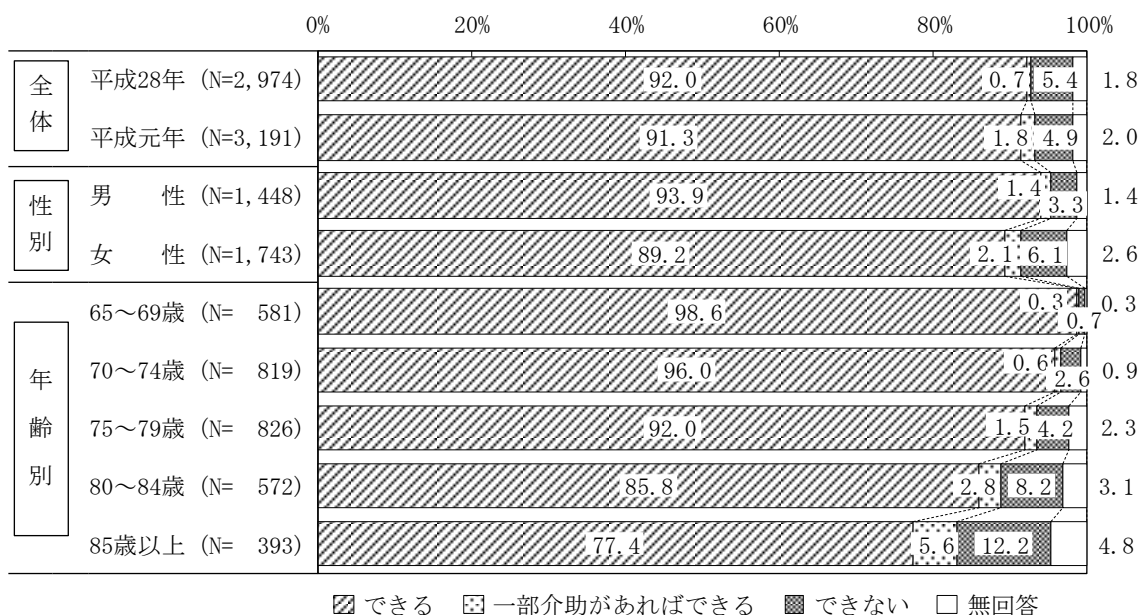
図表4-73 50メートル以上歩けるか（平成28年調査と比較）



(23) 座っていることができるか

座っていることが「できる」のは91.3%です。「できる」は、性別では男性が高く、年齢別では、年齢が上がるにつれて緩やかに「できる」が低下し、「一部介助があればできる」「できない」が高くなっています。

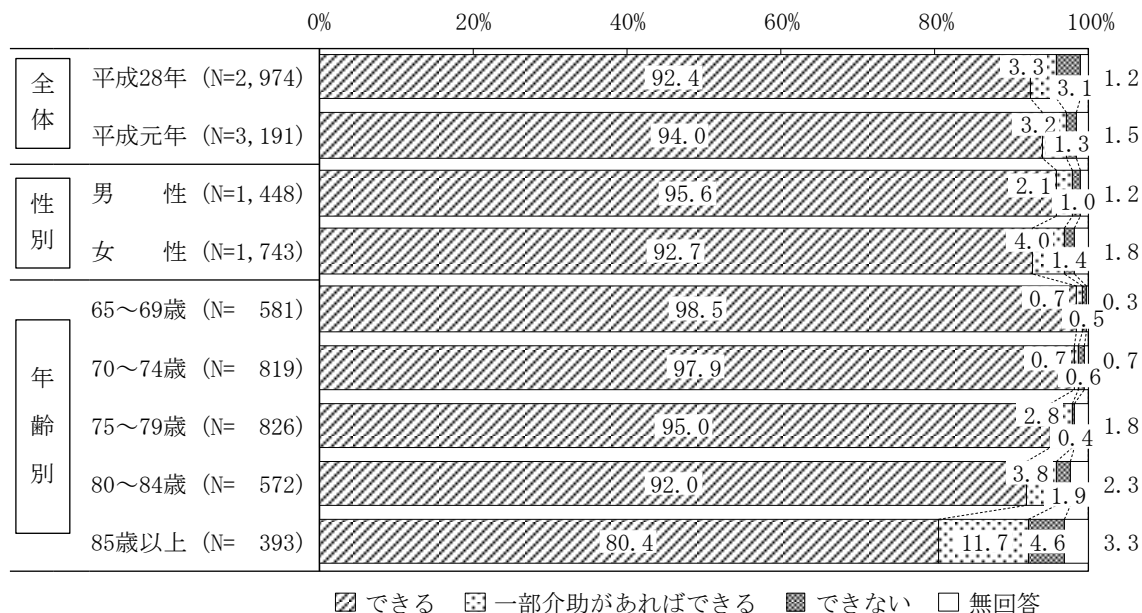
図表4-74 座っていることができるか（平成28年調査と比較）



## (24) 階段の昇り降りができるか

階段の昇り降りが「できる」のは94.0%です。「できる」は、性別では男性が高く、年齢別では年齢とともに緩やかに低下し、「一部介助があればできる」「できない」が高くなっています。

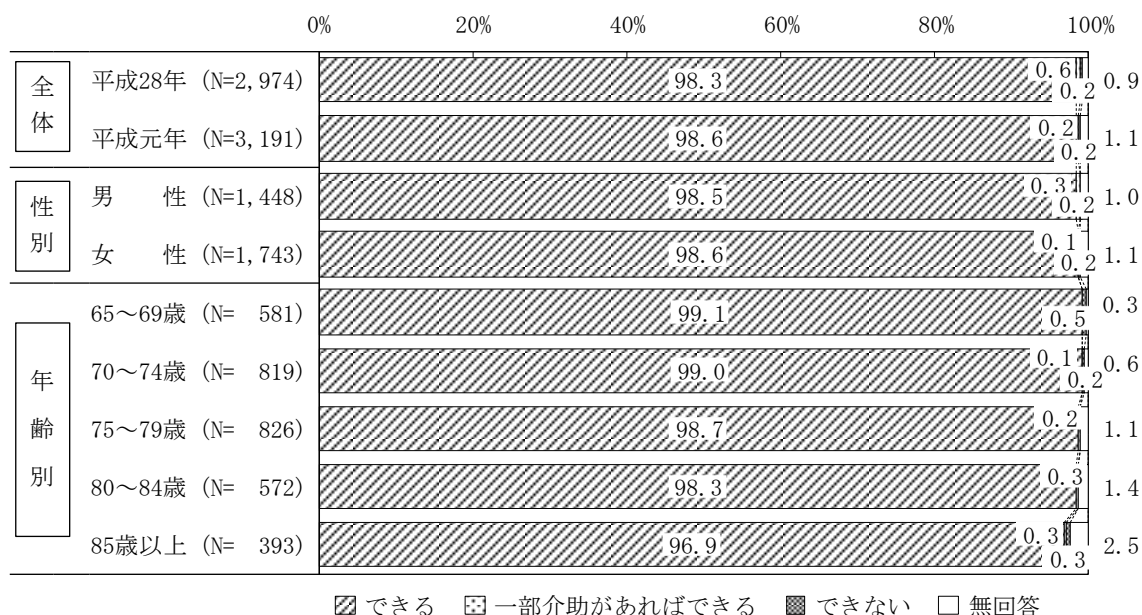
図表4-75 階段の昇り降りができるか（平成28年調査と比較）



## (25) 自分で着替えができるか

自分で着替えが「できる」のは98.6%です。「できる」は、性別、年齢別による開きは見られません。

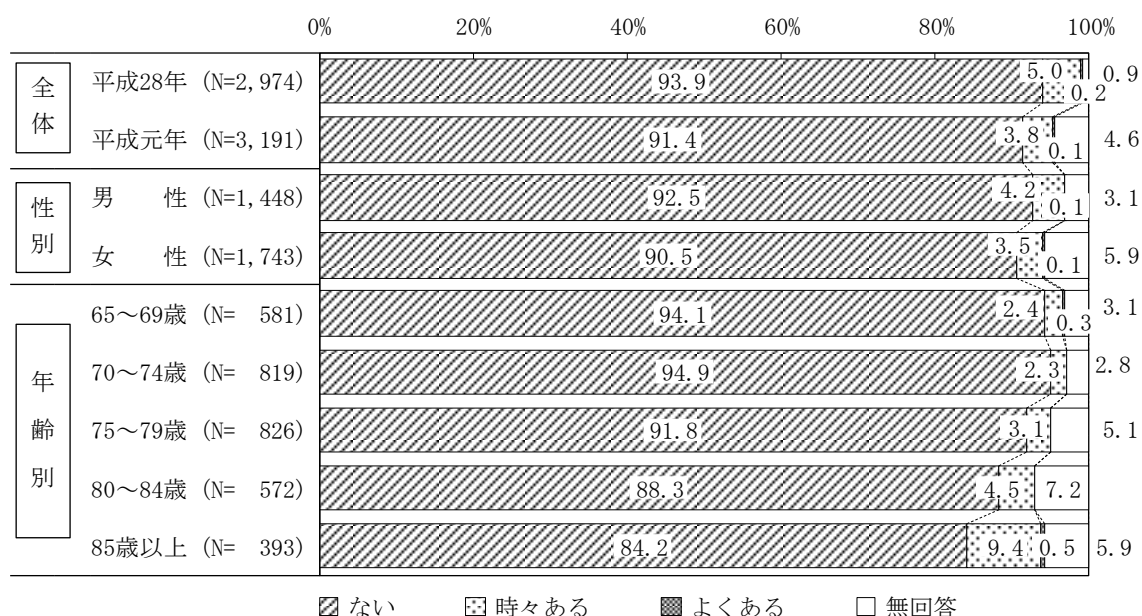
図表4-76 自分で着替えができるか（平成28年調査と比較）



(26) 大便の失敗があるか

大便の失敗については、「ない」が91.4%を占めています。「ない」は、性別では男性が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて緩やかに低下し、「時々ある」が高くなっています。

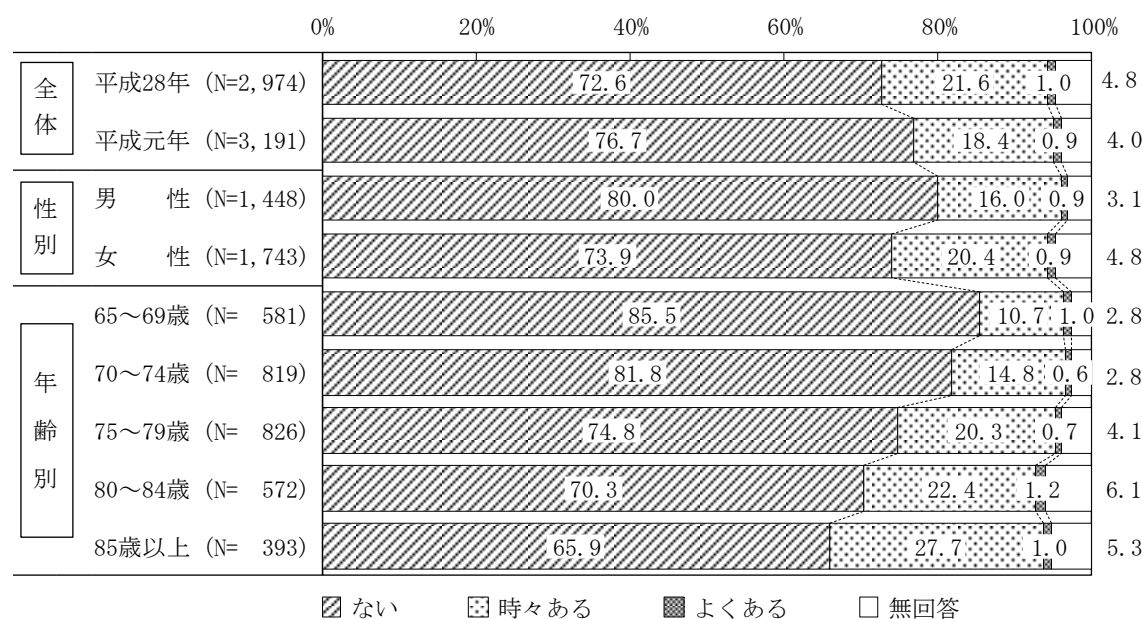
図表4-77 大便の失敗があるか（平成28年調査と比較）



(27) 尿もれや尿の失敗があるか

尿もれや尿の失敗については、「ない」が76.7%を占めています。「時々ある」は18.4%、「よくある」は0.9%です。「ない」は性別では男性が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低下し、「時々ある」が高くなっています。

図表4-78 尿もれや尿の失敗があるか（平成28年調査と比較）



## 6 地域での活動

### (1) 会・グループ等の参加状況

会・グループ等の地域活動の状況をみると、＜参加している＞は「町内会・自治会」が56.2%と最も高く、次いで「老人クラブ」(44.2%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(36.3%)、「ボランティアのグループ」(34.0%)、「趣味関係のグループ」(32.6%)の順となっています。

その頻度についてみると、「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」を合計した＜月1回以上＞は、「スポーツ関係のグループやクラブ」が29.0%と最も高く、「趣味関係のグループ」も20%以上です。

図表4-79 会・グループ等の参加状況

単位：%

| 区 分                | 参加している |       |       |     |       |      |           | 参加していない | 無回答  |
|--------------------|--------|-------|-------|-----|-------|------|-----------|---------|------|
|                    | 計      | 週4回以上 | 週2～3回 | 週1回 | 月1～3回 | 年に数回 | 【再掲】月1回以上 |         |      |
| ①ボランティアのグループ       | 34.0   | 1.1   | 2.4   | 3.6 | 12.1  | 14.8 | 19.2      | 49.8    | 16.2 |
| ②スポーツ関係のグループやクラブ   | 36.3   | 2.2   | 9.6   | 9.8 | 7.4   | 7.3  | 29.0      | 50.2    | 13.5 |
| ③趣味関係のグループ         | 32.6   | 1.4   | 3.9   | 5.5 | 12.9  | 8.9  | 23.7      | 52.2    | 15.2 |
| ④学習・教養サークル         | 13.7   | 0.3   | 0.7   | 1.9 | 4.8   | 6.0  | 7.7       | 67.3    | 19.0 |
| ⑤お茶の間や歩楽（ほた）るん教室など | 16.2   | 0.6   | 2.0   | 3.9 | 5.1   | 4.6  | 11.6      | 66.8    | 17.1 |
| ⑥老人クラブ             | 44.2   | 0.8   | 1.0   | 1.8 | 10.2  | 30.4 | 13.8      | 42.9    | 12.9 |
| ⑦町内会・自治会           | 56.2   | 0.8   | 1.2   | 1.7 | 8.6   | 43.9 | 12.3      | 28.5    | 15.3 |
| ⑧収入のある仕事           | 24.1   | 7.7   | 6.9   | 1.7 | 3.4   | 4.4  | 19.7      | 59.2    | 16.7 |



①ボランティアのグループ

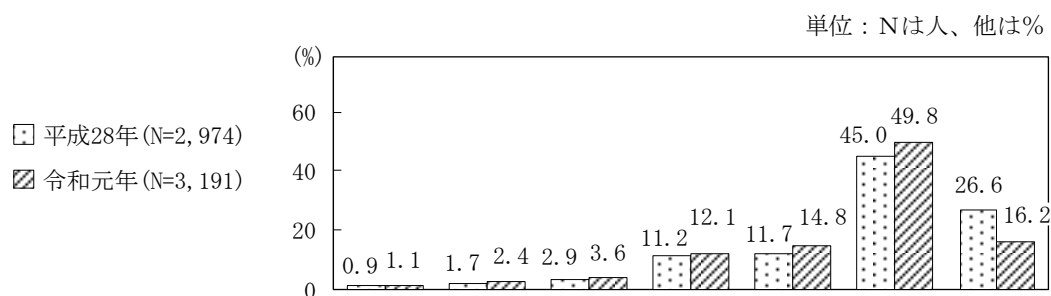
ボランティアのグループの参加状況を見ると、＜参加している＞は34.0%となっており、平成28年の調査と比べると、5.6ポイント高くなっています。

参加頻度は「年に数回」「月1～3回」が高くなっています。

＜参加している＞は、性別では男性が高く、年齢別では75歳未満で40%を上回っています。

圏域別では、近江が高く、伊吹が低くなっています。

図表4-80 ボランティアのグループ（平成28年調査と比較）



| 区分   |           | N     | (参加している) | 週4回以上 | 週2～3回 | 週1回 | 月1～3回 | 年に数回 | 参加していない | 無回答  |
|------|-----------|-------|----------|-------|-------|-----|-------|------|---------|------|
| 全体   | 平成28年     | 2,974 | 28.4     | 0.9   | 1.7   | 2.9 | 11.2  | 11.7 | 45.0    | 26.6 |
|      | 令和元年      | 3,191 | 34.0     | 1.1   | 2.4   | 3.6 | 12.1  | 14.8 | 49.8    | 16.2 |
| 性別   | 男性        | 1,448 | 37.2     | 1.5   | 2.3   | 3.3 | 11.8  | 18.3 | 51.7    | 11.0 |
|      | 女性        | 1,743 | 31.2     | 0.7   | 2.4   | 3.9 | 12.4  | 11.8 | 48.2    | 20.5 |
| 年齢別  | 65～69歳    | 581   | 40.4     | 0.9   | 1.7   | 3.1 | 15.1  | 19.6 | 54.7    | 4.8  |
|      | 70～74歳    | 819   | 45.6     | 1.3   | 3.3   | 5.1 | 16.6  | 19.3 | 47.1    | 7.2  |
|      | 75～79歳    | 826   | 35.3     | 1.3   | 2.9   | 3.6 | 13.2  | 14.3 | 47.6    | 17.1 |
|      | 80～84歳    | 572   | 22.7     | 1.2   | 1.6   | 2.6 | 7.3   | 10.0 | 48.8    | 28.5 |
|      | 85歳以上     | 393   | 13.8     | 0.3   | 1.5   | 2.8 | 3.1   | 6.1  | 54.2    | 32.1 |
| 世帯類型 | 一人暮らし     | 390   | 22.1     | 0.3   | 2.6   | 2.8 | 9.5   | 6.9  | 55.4    | 22.6 |
|      | 夫婦のみ      | 1,287 | 38.2     | 1.2   | 2.3   | 4.0 | 14.1  | 16.6 | 49.2    | 12.5 |
|      | 息子・娘との2世代 | 965   | 34.0     | 1.5   | 2.5   | 3.6 | 11.3  | 15.1 | 48.7    | 17.3 |
|      | その他       | 489   | 35.1     | 0.8   | 2.5   | 3.7 | 11.7  | 16.4 | 51.3    | 13.7 |
| 圏域別  | 山東圏域      | 1,157 | 33.2     | 1.0   | 2.9   | 4.8 | 12.1  | 12.4 | 49.7    | 17.1 |
|      | 伊吹圏域      | 473   | 28.3     | 1.1   | 1.5   | 2.5 | 8.2   | 15.0 | 53.9    | 17.8 |
|      | 米原圏域      | 862   | 35.6     | 1.4   | 3.0   | 3.5 | 13.3  | 14.4 | 48.0    | 16.4 |
|      | 近江圏域      | 699   | 37.2     | 0.9   | 1.4   | 2.7 | 13.3  | 18.9 | 49.4    | 13.4 |

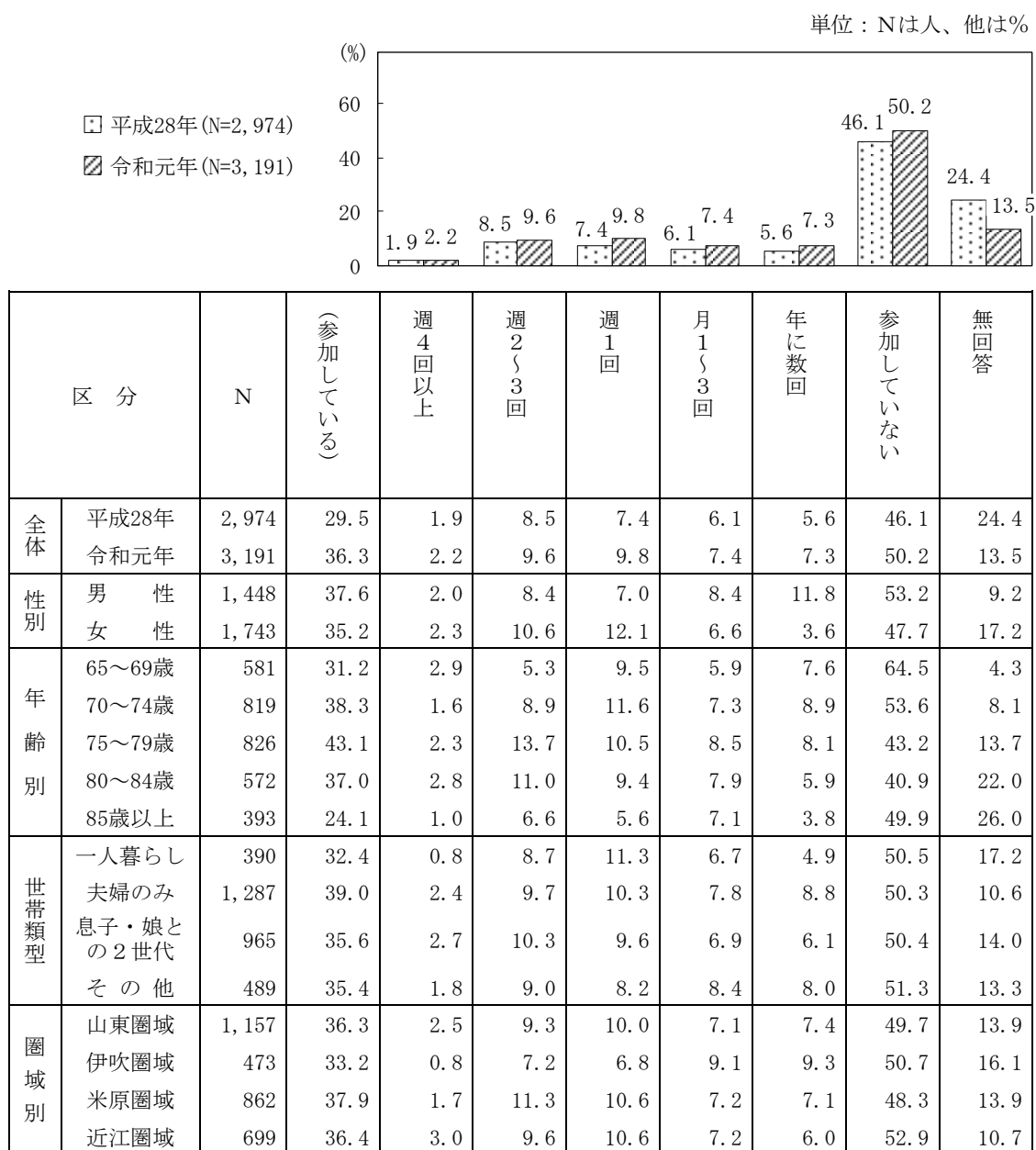
②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブの参加状況を見ると、＜参加している＞は36.3%となっており、平成28年の調査と比べると6.8ポイント高くなっています。

参加頻度は「週2～3回」「週1回」が比較的高くなっています。

＜参加している＞は、性別では女性より男性が高くなっていますが、男性は「年に数回」が高く、参加頻度は女性の方が高いと言えます。年齢別では75～79歳が高く、85歳以上で低下します。世帯類型別では夫婦のみの世帯が高くなっています。

図表4-81 スポーツ関係のグループやクラブ（平成28年調査と比較）



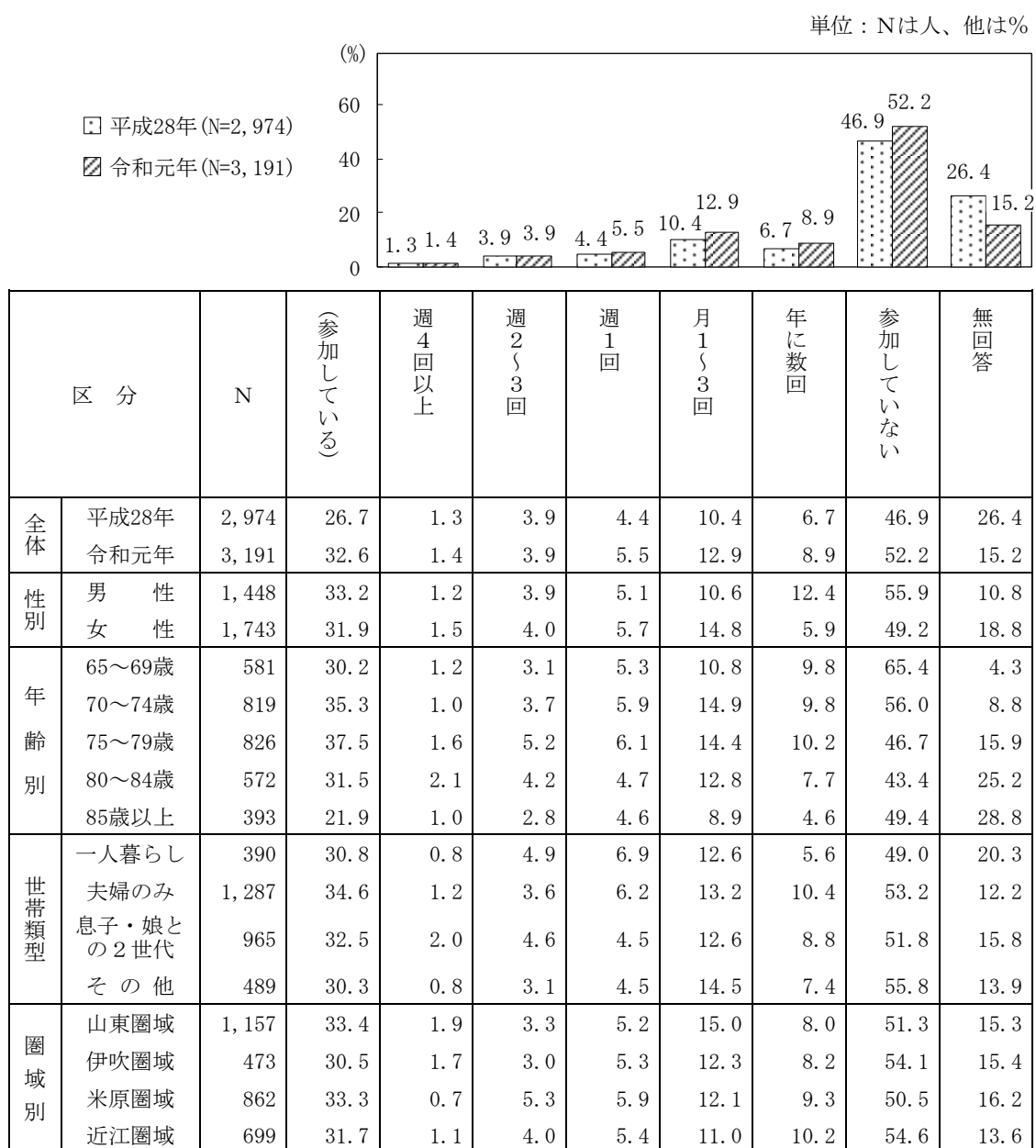
### ③趣味関係のグループ

趣味関係のグループの参加状況を見ると、＜参加している＞は32.6%となっており、平成28年の調査と比べると5.9ポイント高くなっています。

参加頻度は「月1～3回」が高くなっています。

＜参加している＞は、性別による開きはなく、年齢別では75～79歳が最も高く、85歳以上で低下しています。世帯類型別では夫婦のみの世帯が比較的高くなっています。

図表4-82 趣味関係のグループ（平成28年調査と比較）



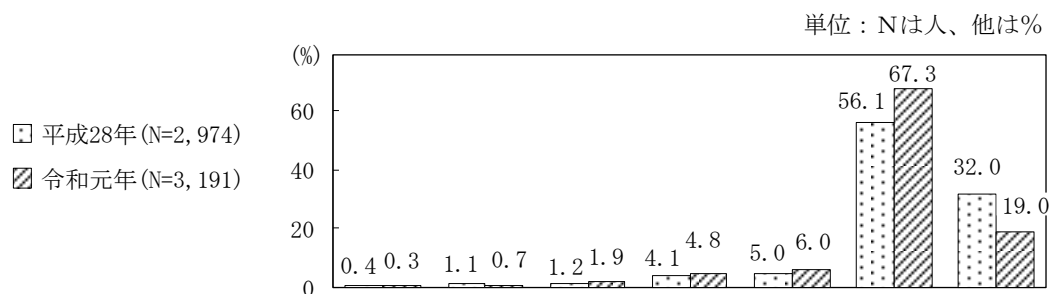
④学習・教養サークル

学習・教養サークルの参加状況をみると、＜参加している＞は13.7%です。

参加頻度は「年に数回」「月1～3回」がやや高くなっています。

＜参加している＞は、年齢別の70歳代が高くなっています。

図表4-83 学習・教養サークル（平成28年調査と比較）



| 区分   |           | N     | (参加している) | 週4回以上 | 週2～3回 | 週1回 | 月1～3回 | 年に数回 | 参加していない | 無回答  |
|------|-----------|-------|----------|-------|-------|-----|-------|------|---------|------|
| 全体   | 平成28年     | 2,974 | 11.8     | 0.4   | 1.1   | 1.2 | 4.1   | 5.0  | 56.1    | 32.0 |
|      | 令和元年      | 3,191 | 13.7     | 0.3   | 0.7   | 1.9 | 4.8   | 6.0  | 67.3    | 19.0 |
| 性別   | 男性        | 1,448 | 13.6     | 0.3   | 0.4   | 1.8 | 4.1   | 7.0  | 72.8    | 13.6 |
|      | 女性        | 1,743 | 13.8     | 0.3   | 1.0   | 2.0 | 5.3   | 5.2  | 62.7    | 23.5 |
| 年齢別  | 65～69歳    | 581   | 13.8     | 0.3   | 0.9   | 2.2 | 4.5   | 5.9  | 80.7    | 5.5  |
|      | 70～74歳    | 819   | 16.6     | 0.4   | 1.0   | 1.6 | 5.7   | 7.9  | 72.2    | 11.2 |
|      | 75～79歳    | 826   | 15.2     | 0.2   | 1.0   | 1.9 | 5.6   | 6.5  | 64.2    | 20.6 |
|      | 80～84歳    | 572   | 11.7     | 0.2   | 0.2   | 1.7 | 4.9   | 4.7  | 57.9    | 30.4 |
|      | 85歳以上     | 393   | 7.2      | 0.5   | 0.3   | 2.0 | 1.3   | 3.1  | 57.5    | 35.4 |
| 世帯類型 | 一人暮らし     | 390   | 13.1     | 0.3   | 1.5   | 2.3 | 4.6   | 4.4  | 62.3    | 24.6 |
|      | 夫婦のみ      | 1,287 | 14.9     | 0.2   | 0.8   | 1.9 | 5.5   | 6.5  | 69.8    | 15.3 |
|      | 息子・娘との2世代 | 965   | 12.7     | 0.3   | 0.7   | 1.9 | 4.2   | 5.6  | 66.6    | 20.6 |
|      | その他       | 489   | 14.3     | 0.6   | -     | 1.8 | 4.5   | 7.4  | 69.3    | 16.4 |
| 圏域別  | 山東圏域      | 1,157 | 13.9     | 0.3   | 0.6   | 1.8 | 5.9   | 5.3  | 66.9    | 19.3 |
|      | 伊吹圏域      | 473   | 14.0     | 0.4   | 0.2   | 1.3 | 5.1   | 7.0  | 66.4    | 19.7 |
|      | 米原圏域      | 862   | 14.7     | 0.5   | 0.9   | 2.4 | 4.1   | 6.8  | 65.2    | 20.1 |
|      | 近江圏域      | 699   | 12.0     | 0.1   | 1.0   | 1.7 | 3.6   | 5.6  | 71.1    | 16.9 |

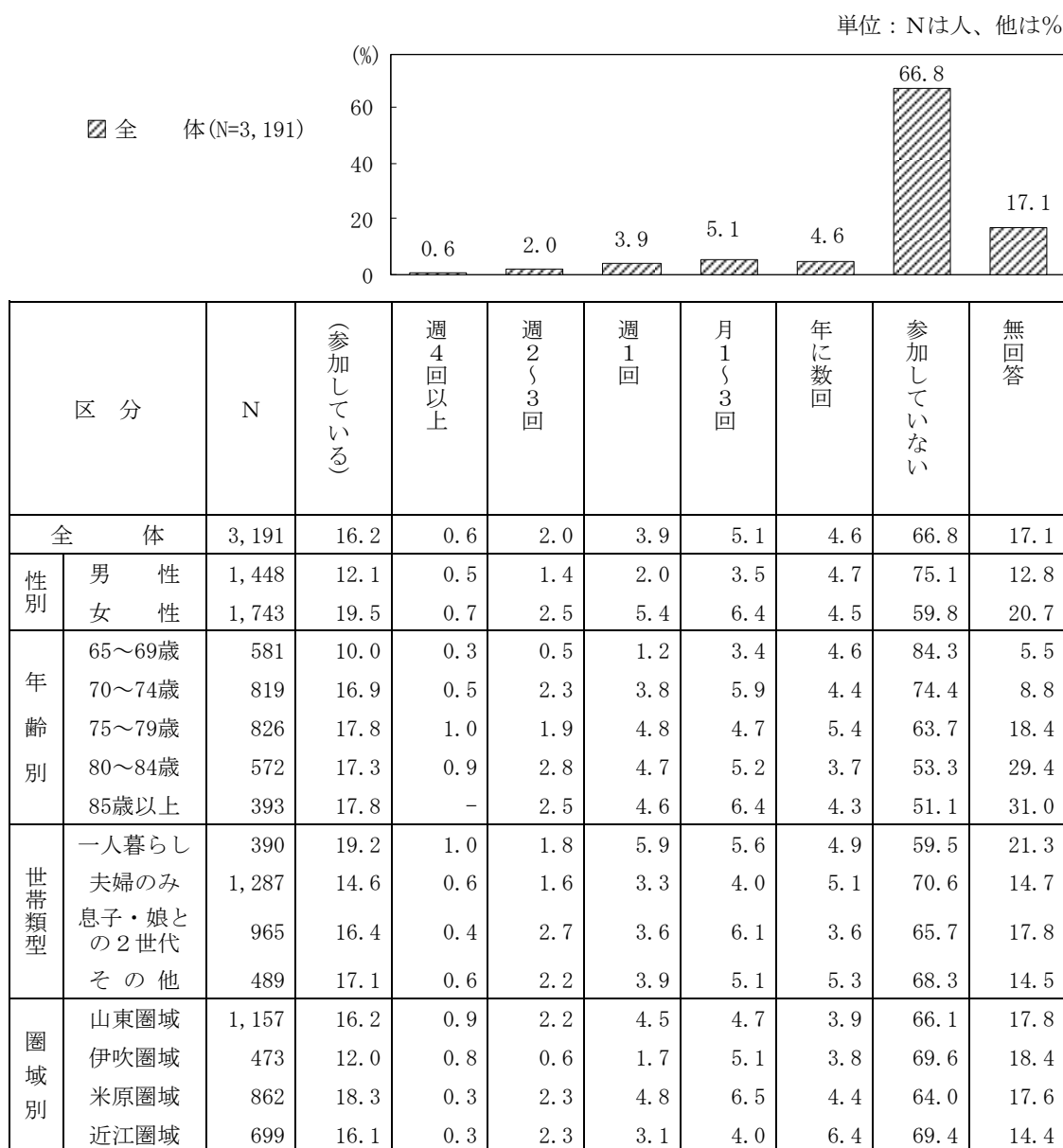
⑤お茶の間や歩楽（ほた）るん教室など

地域お茶の間創造事業のお茶の間や歩楽(ほた)るん教室など介護予防のための通いの場の参加状況をみると、＜参加している＞は19.5%となっています。

参加頻度は「月1～3回」が比較的高くなっています。

＜参加している＞は、性別では男性より女性が7.4ポイント高くなっています。世帯類型別では一人暮らしが高く、圏域別では米原が比較的高くなっています。

図表4-84 お茶の間や歩楽（ほた）るん教室など



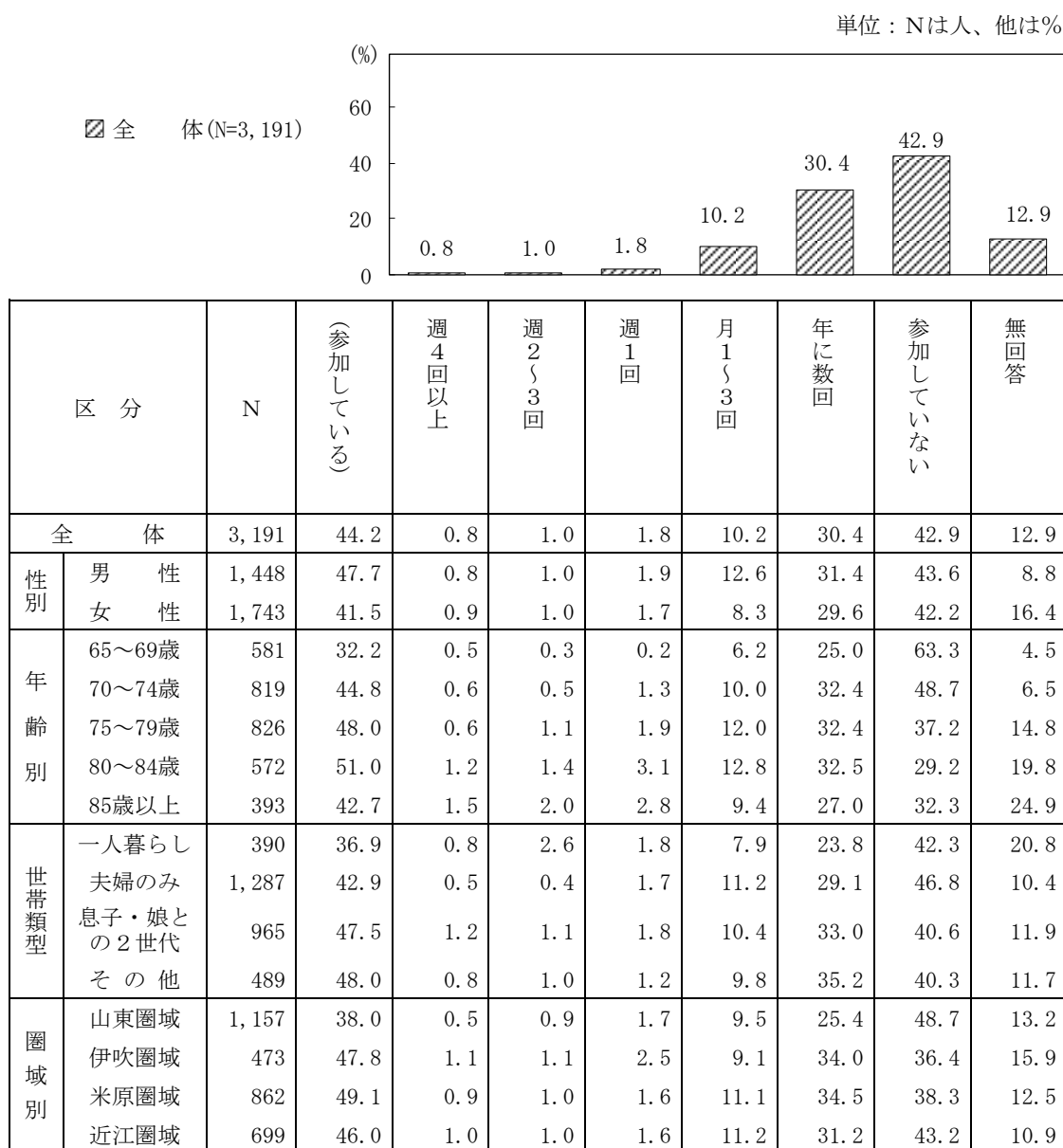
⑥老人クラブ

老人クラブの参加状況をみると、＜参加している＞は44.2%となっており、「町内会・自治会」に次いで高くなっています。

参加頻度は「年に数回」が高くなっています。

＜参加している＞は、性別では女性より男性が6.2ポイント高くなっています。年齢別では80～84歳が最も高く、圏域別では米原が比較的高く、山東が低くなっています。

図表4-85 老人クラブ



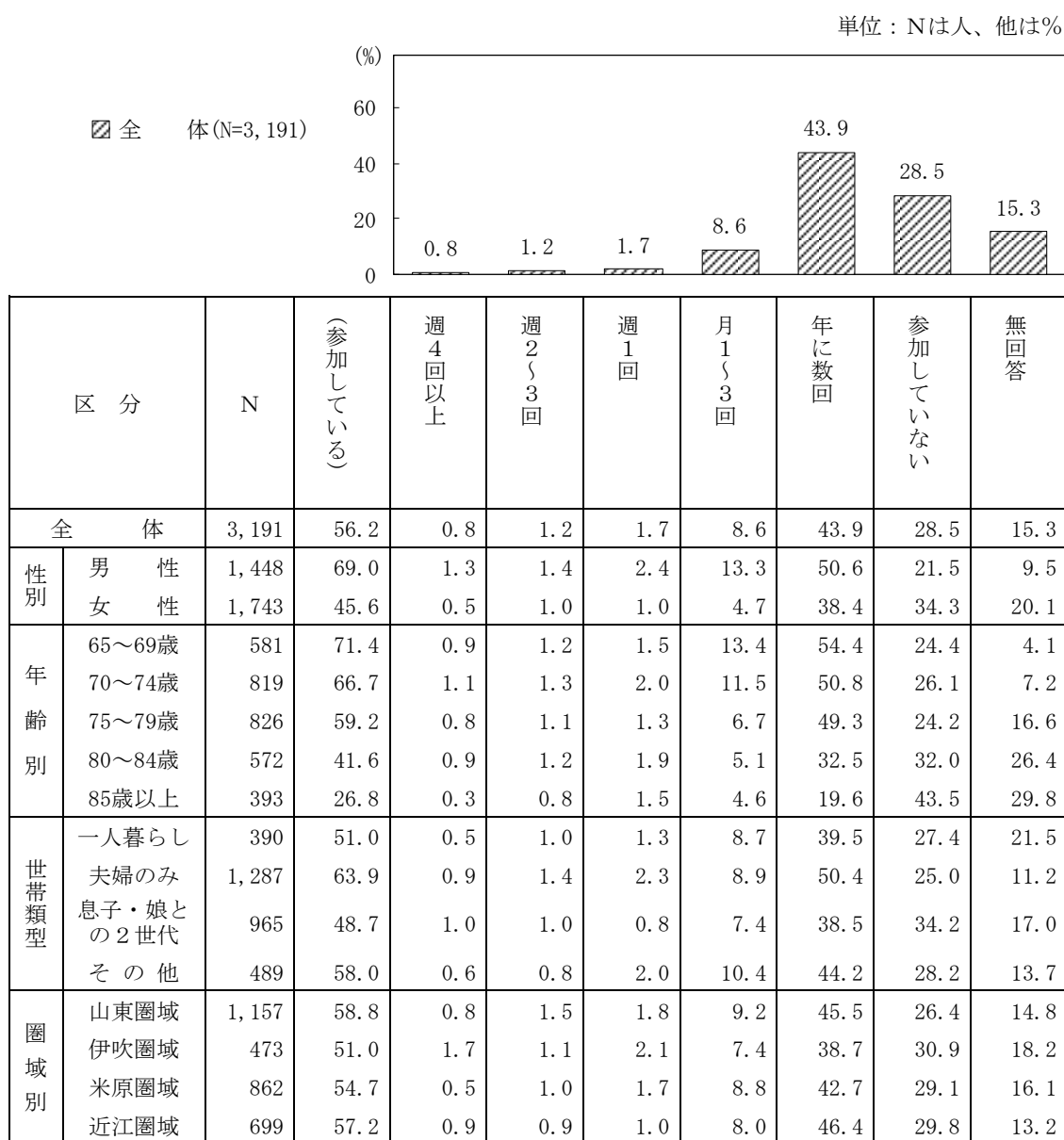
⑦町内会・自治会

町内会・自治会の参加状況を見ると、＜参加している＞は56.2%となっており、例示した8つの活動の中では最も高くなっています。

参加頻度は「年に数回」が高くなっています。

＜参加している＞は、性別では女性より男性が23.4ポイント高くなっています。年齢別では65～69歳が最も高く、年齢とともに低下していきます。世帯類型別では夫婦のみの世帯が高くなっています。

図表4-86 町内会・自治会



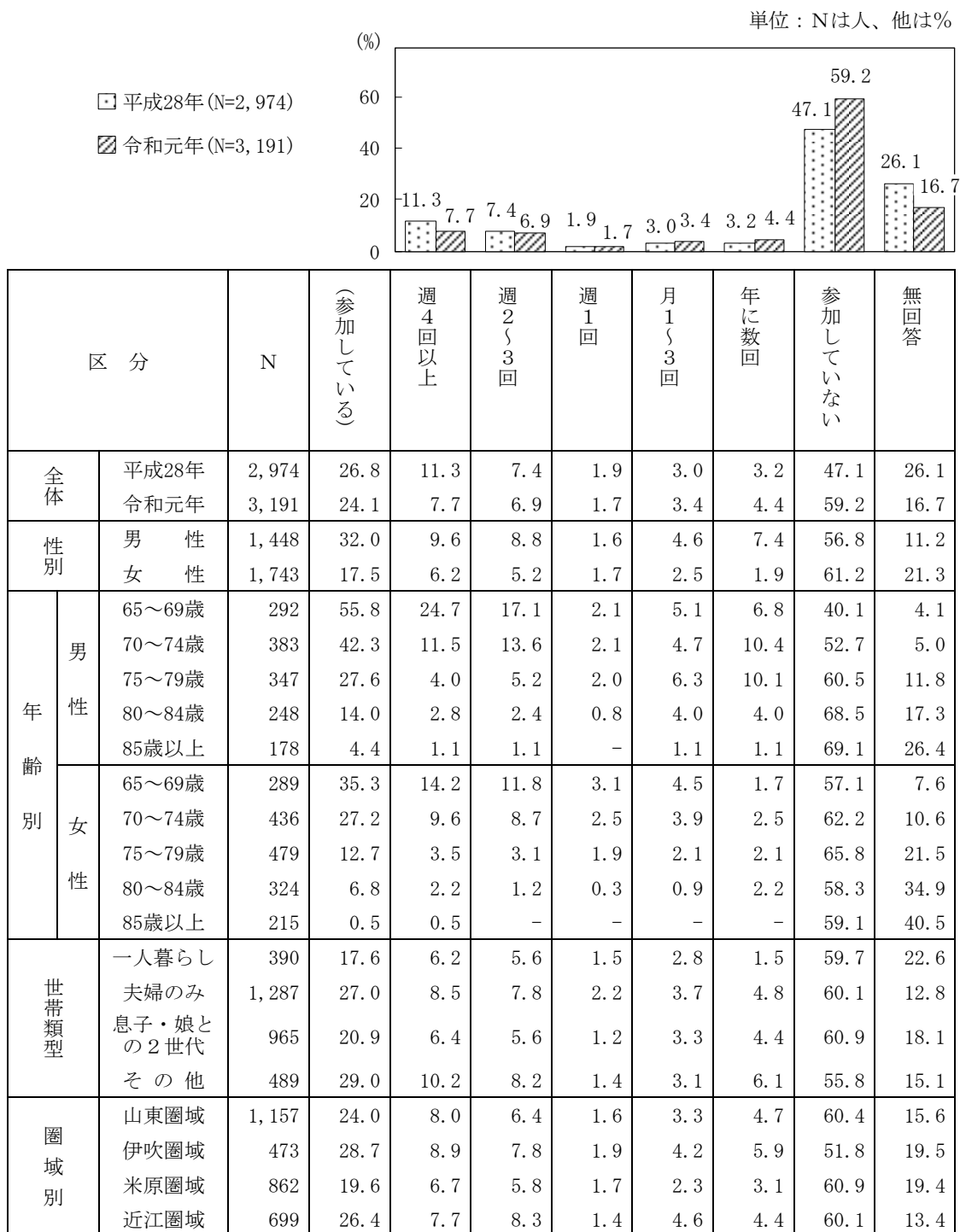
⑤収入のある仕事

収入のある仕事をしているのは、男性は32.0%、女性は17.5%となっています。

参加頻度は、男女ともに「週4回以上」「週2～3回」が高くなっています。

性年齢別にみると、男性は65～69歳の55.8%が、女性は65～69歳の35.3%が最も高く、年齢が上がるにつれて低下していきます。

図表4-87 収入のある仕事（平成28年調査と比較）





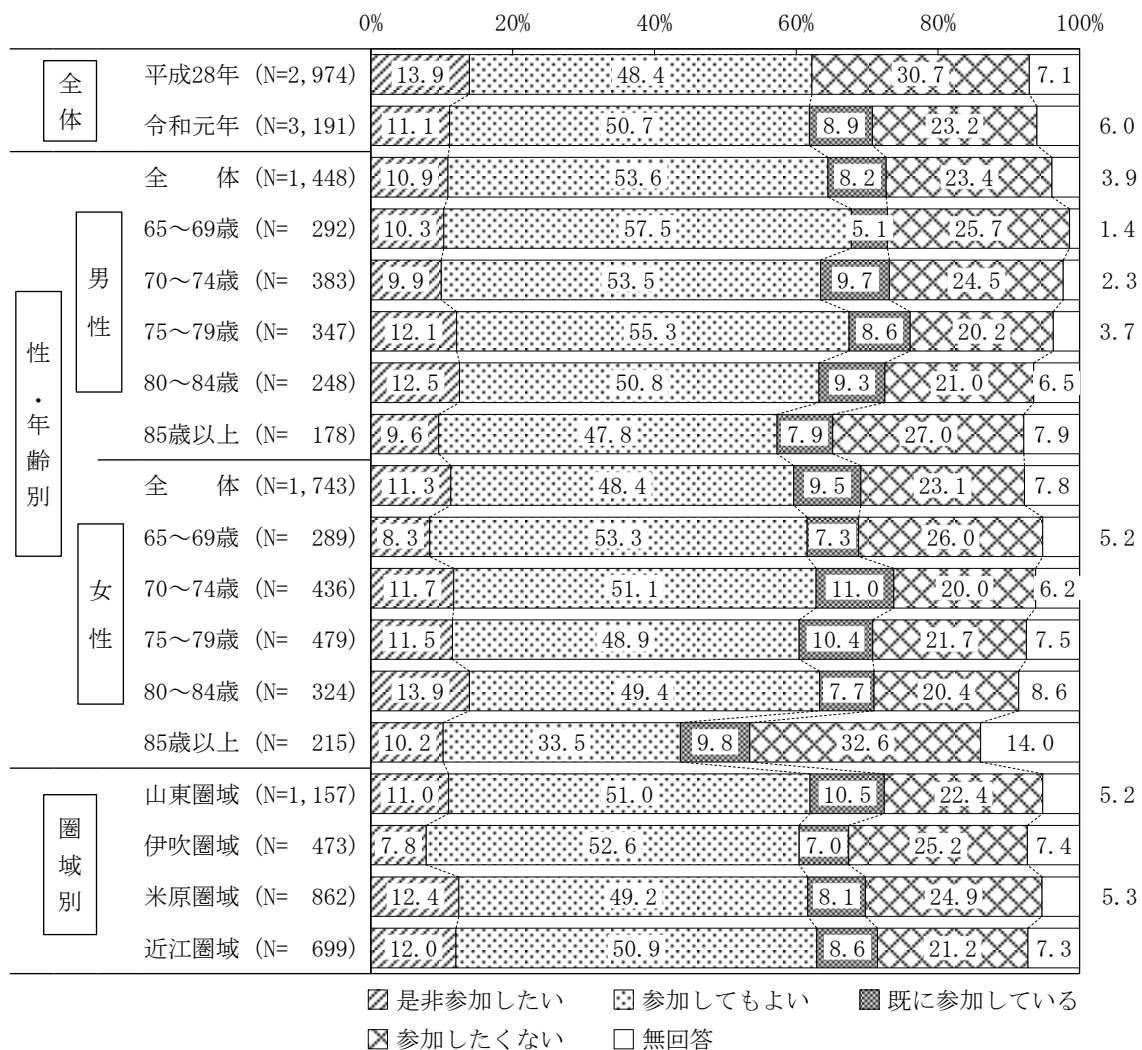
## (2) 地域づくりの推進に参加してみたいか

### ①地域づくりの推進に参加者として参加してみたいか

「地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか」という設問に対しては、「参加してもよい」が50.7%を占め、「是非参加したい」「既に参加している」を加えた＜参加意向＞は70.7%となります。

＜参加意向＞が高いのは、男性の75～79歳で76.0%となっています。

図表4-88 地域づくりへの参加意向（参加者として、平成28年調査と比較）



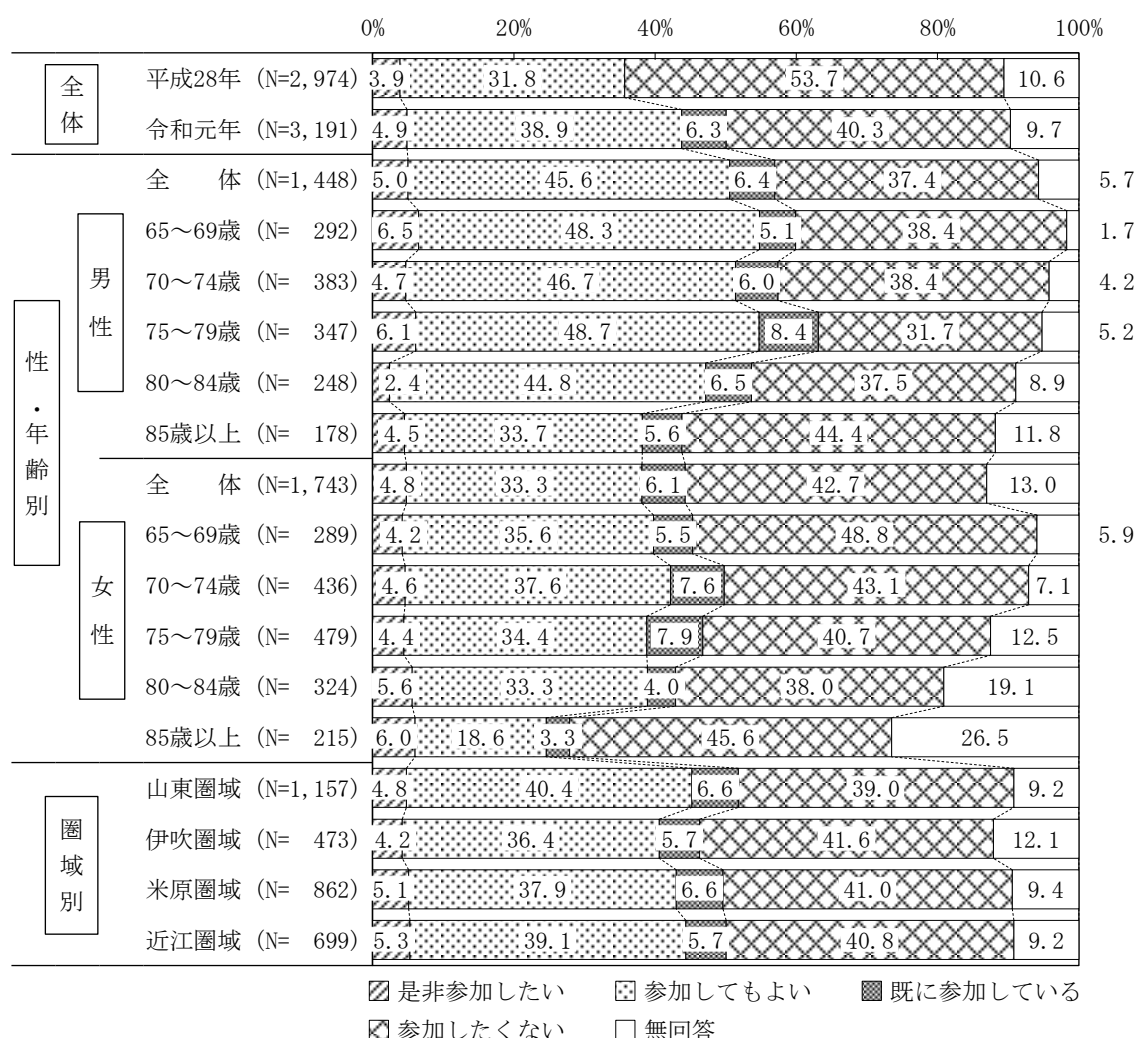
(注) 平成28年には「既に参加している」という選択肢はなかった。

②地域づくりの推進に企画・運営（お世話役）として参加してみたいか

「地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか」という設問に対しては、「是非参加したい」は4.9%、「参加してもよい」は38.9%、これに「既に参加している」を加えた＜参加意向＞は50.1%となります。

＜参加意向＞は、性別では男性（57.0%）が女性（44.2%）を12.8ポイント上回っています。性・年齢別にみると、男性は75～79歳が63.2%と最も高く、女性は最も高い70～74歳が49.8%です。圏域別では、大きな開きはありませんが、山東がやや高く、伊吹がやや低くなっています。

図表4-89 地域づくりへの参加意向（お世話役として、平成28年調査と比較）



(注) 平成28年には「既に参加している」という選択肢はなかった。

## 7 たすけあい

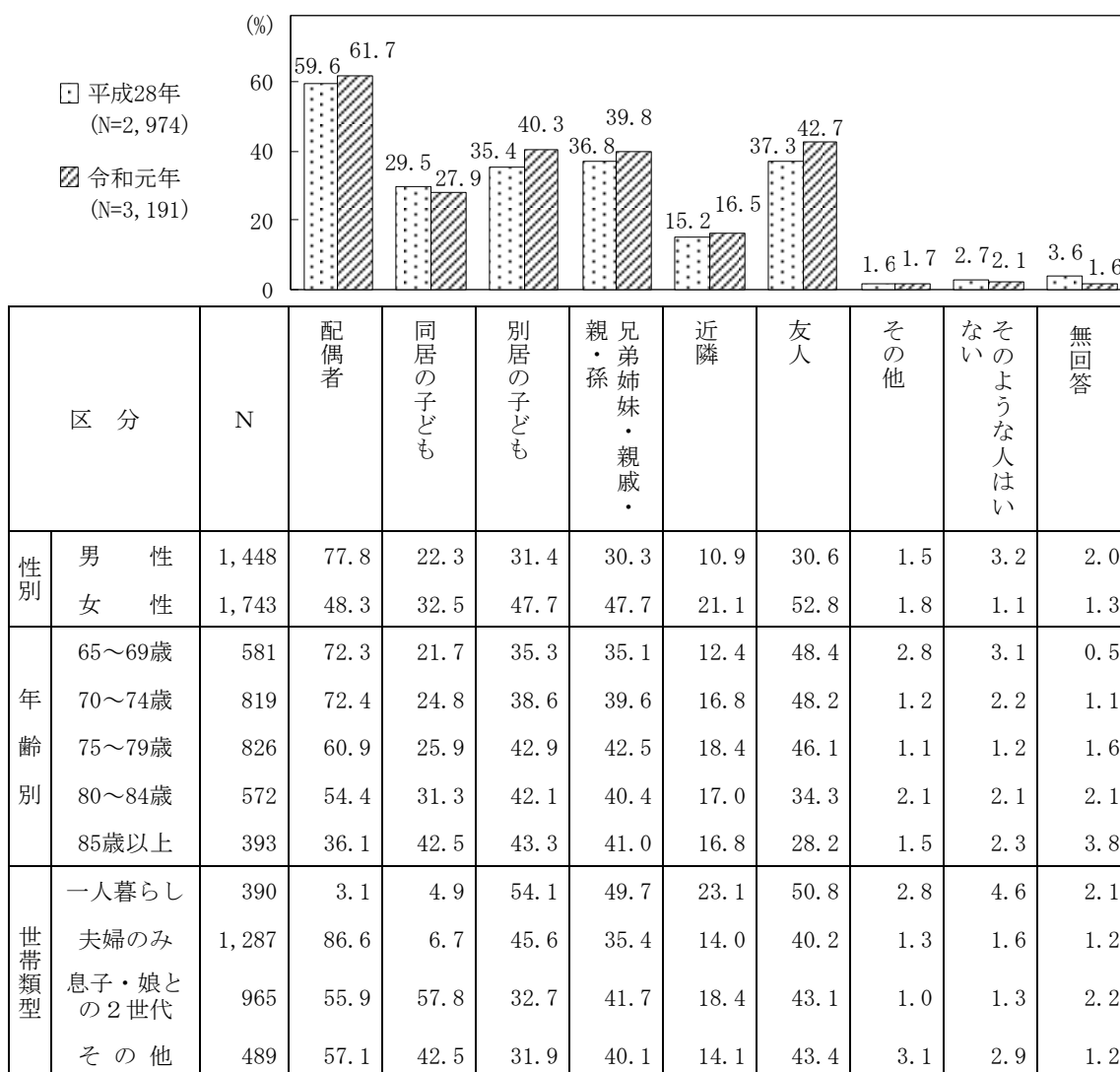
### (1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人としては、「配偶者」が61.7%と最も高く、次いで「友人」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の順となっています。

性別にみると、男性は「配偶者」が77.8%と突出しているのに対し、女性は「友人」が52.8%と最も高く、さらに「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「別居の子ども」も40%台となっています。年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「配偶者」「友人」が低下し、<子ども>が高くなる傾向にあります。世帯類型別にみると、夫婦のみの世帯、その他の世帯は「配偶者」が最も高く、息子・娘との2世代は「配偶者」「同居の子ども」が高く、一人暮らしは「別居の子ども」「友人」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が高くなっています（図表4-90）。

図表4-90 心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数回答、平成28年調査と比較）

単位：Nは人、他は%



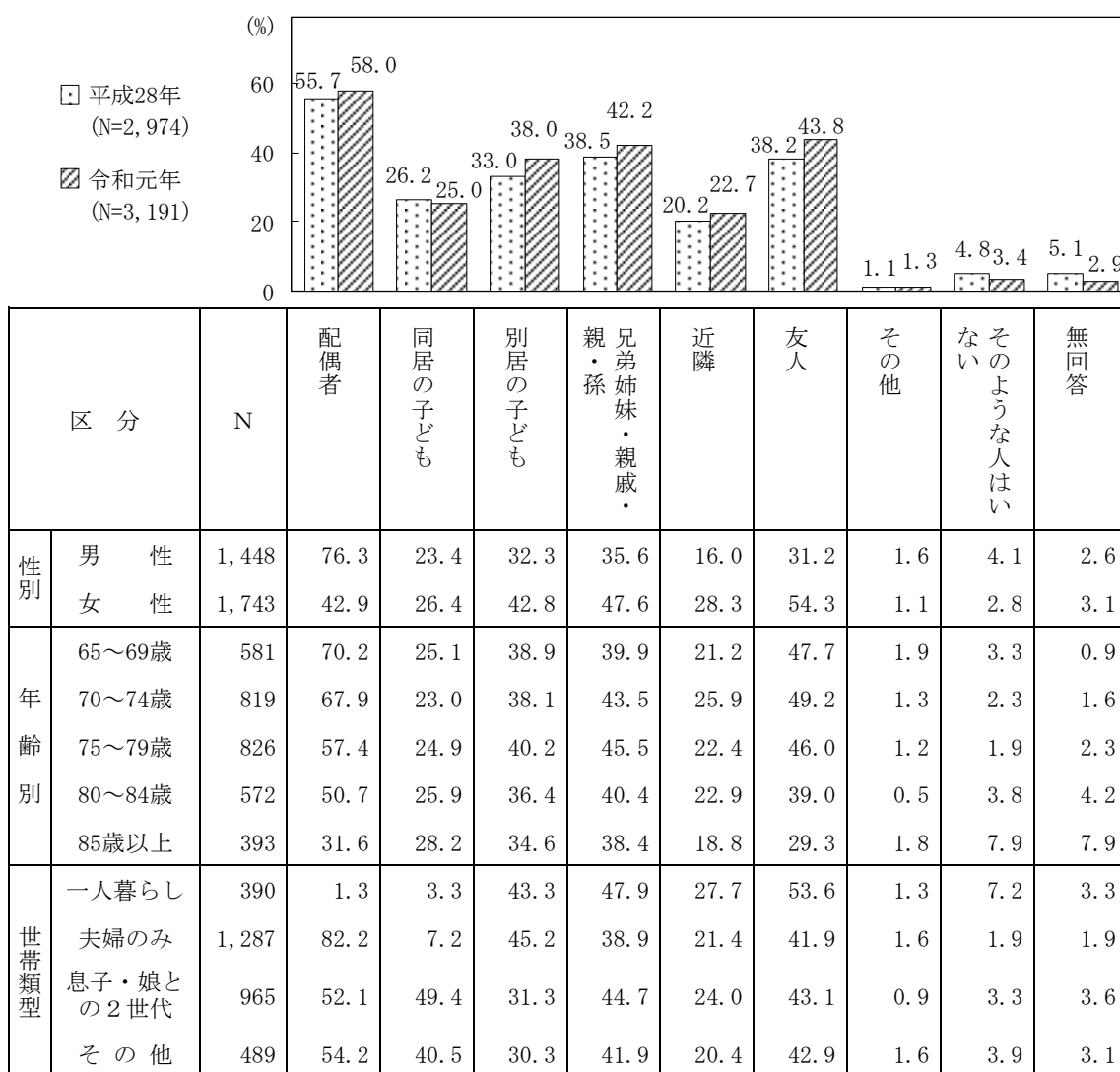
## (2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、前問と概ね同様の傾向になっています。全体では「配偶者」が58.0%と最も高く、「友人」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」も40%以上です。

性別にみると、男性は「配偶者」が76.3%と最も高く、女性は「友人」が最も高くなっています。年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「配偶者」「友人」が低下しています。世帯類型別にみると、一人暮らしは「友人」が最も高く、そのほかは「配偶者」が最も高くなっています。息子・娘との2世代は「同居の子ども」も高くなっています（図表4-91）。

図表4-91 心配事や愚痴を聞いてあげる人（複数回答、平成28年調査と比較）

単位：Nは人、他は%



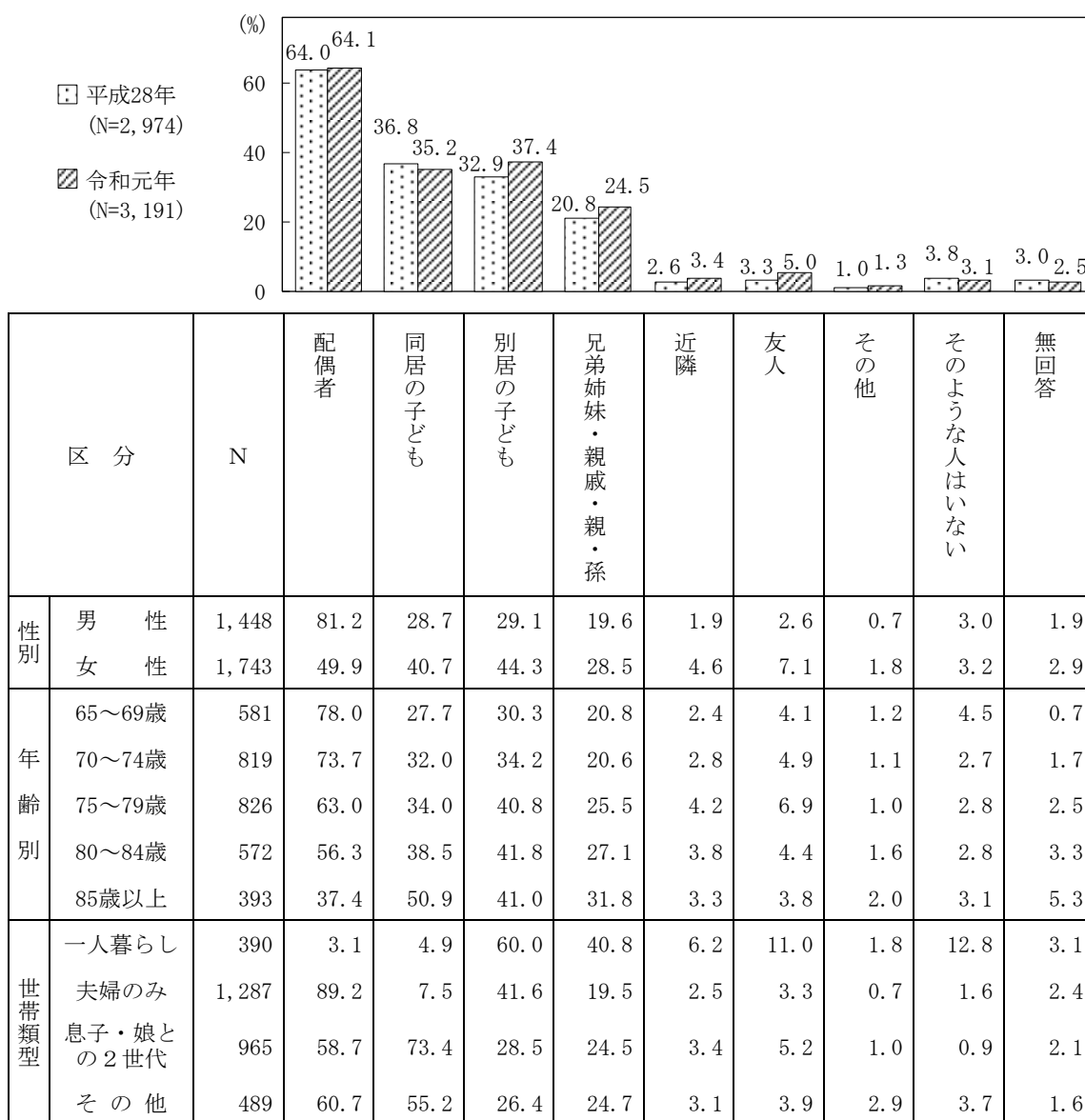
### (3) 看病や世話をしてくれる人

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人についてたずねたところ、「配偶者」が64.1%と最も高く、「別居の子ども」「同居の子ども」も30%以上です。

性別にみると、男性は「配偶者」が81.2%と突出しています。女性も「配偶者」が49.9%と最も高いものの、「別居の子ども」「同居の子ども」も40%を上回っています。年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「配偶者」が低下し、「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が高くなる傾向にあります。世帯類型別にみると、一人暮らしは「別居の子ども」が最も高く、夫婦のみの世帯、その他の世帯は「配偶者」が最も高く、息子・娘との2世代は「同居の子ども」が最も高くなっています。

図表4-92 看病や世話をしてくれる人（複数回答、平成28年調査と比較）

単位：Nは人、他は%



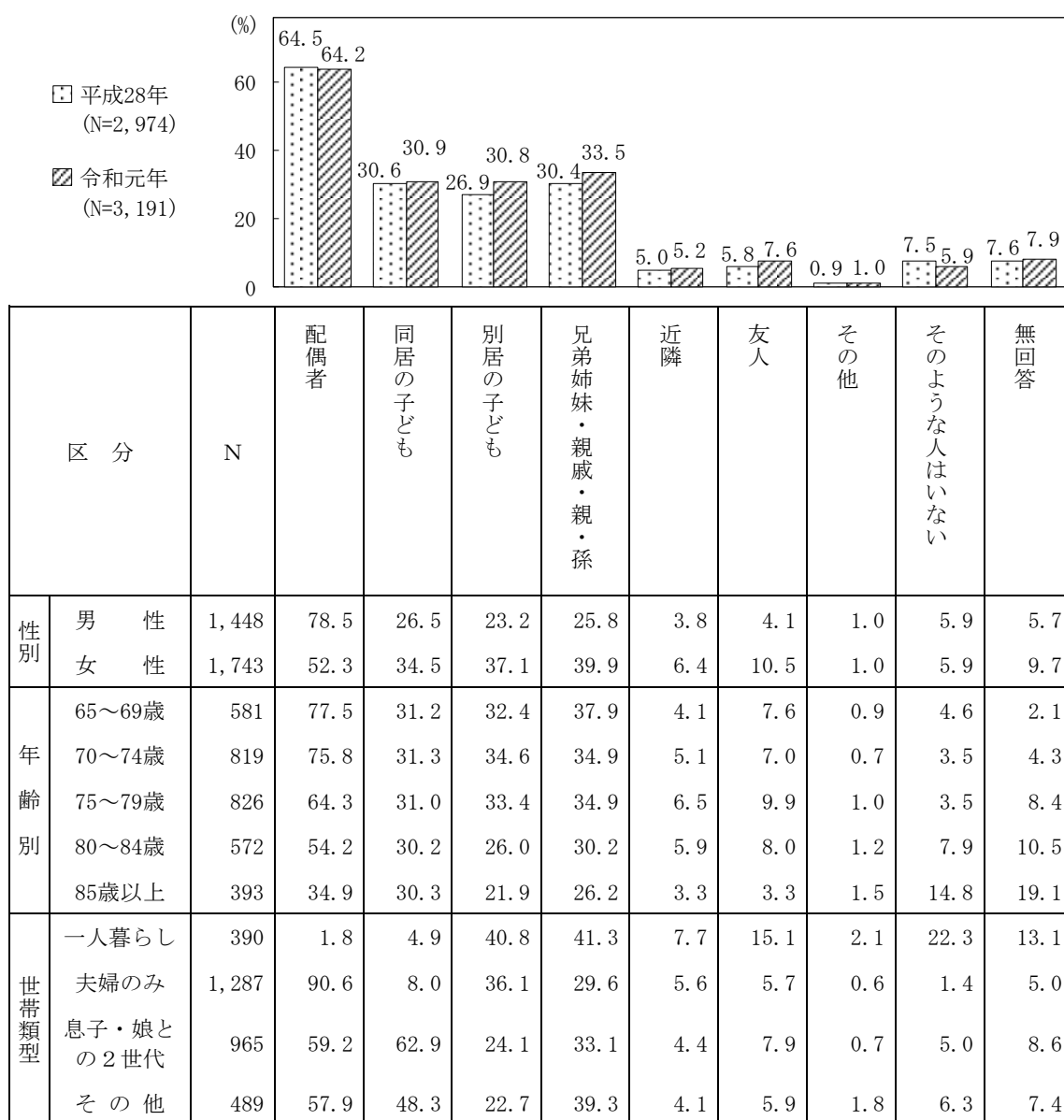
#### (4) 看病や世話をしている人

看病や世話をしている人については、「配偶者」が64.2%と最も高く、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「同居の子ども」「別居の子ども」も30%以上です。

性別にみると、男女ともに「配偶者」が最も高くなっています。年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が低下する傾向にあります。世帯類型別にみると、一人暮らしは「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「別居の子ども」が高く、夫婦のみの世帯、その他の世帯は「配偶者」が最も高く、息子・娘との2世代は「同居の子ども」「配偶者」が高くなっています。

図表4-93 看病や世話をしている人（複数回答、平成28年調査と比較）

単位：Nは人、他は%



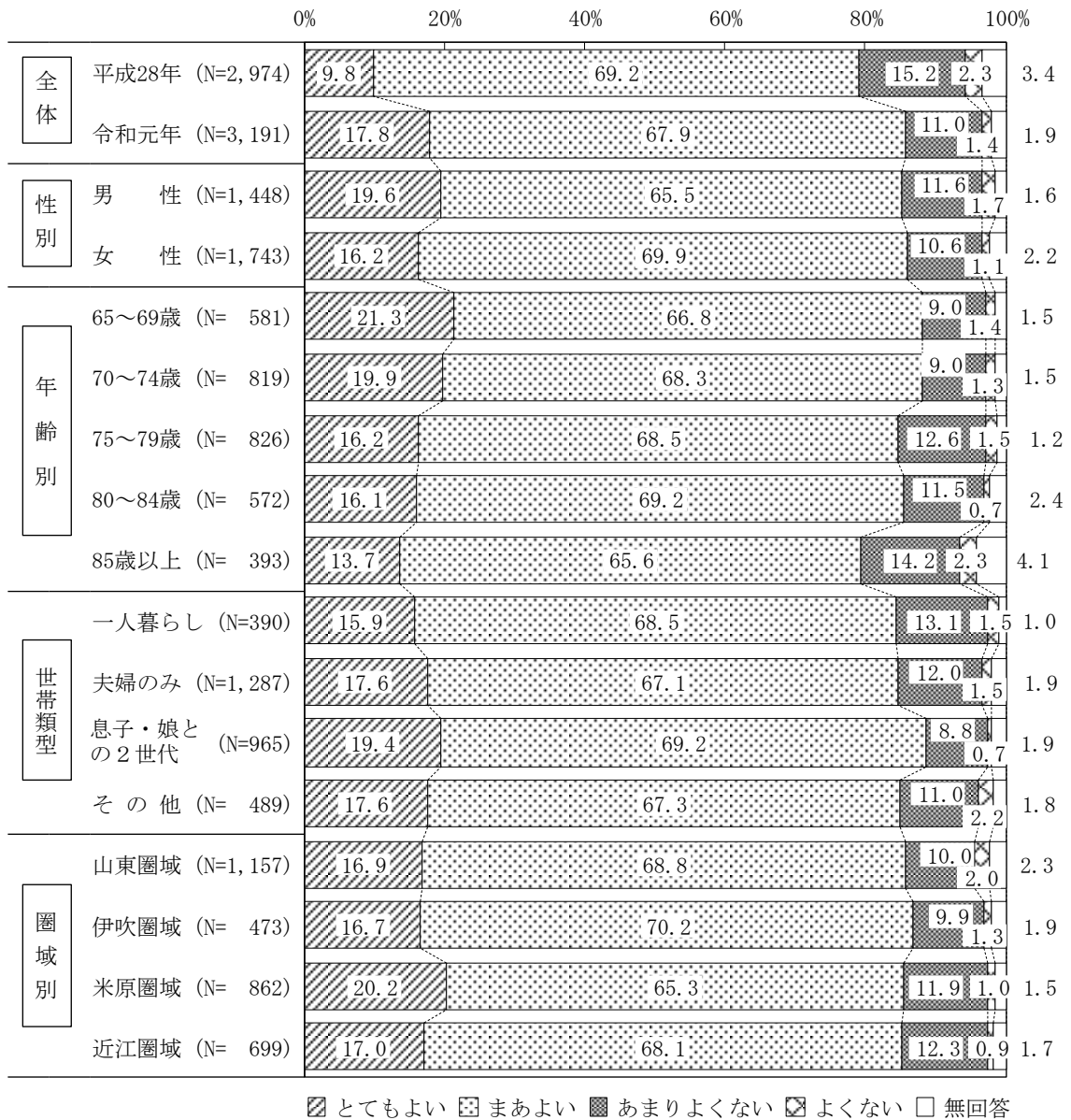
## 8 健康

### (1) 健康状態

健康状態は「まあよい」と感じている人が67.9%を占めています。これに「とてもよい」を加えた<よい>は85.7%となります。平成28年の調査に比べると、6.7ポイント高くなっています。「あまりよくない」と「よくない」を合計した<よくない>は12.4%です。

<よくない>は、性別では大きな開きはなく、年齢別では85歳以上でやや高くなっています。

図表4-94 健康状態（平成28年調査と比較）

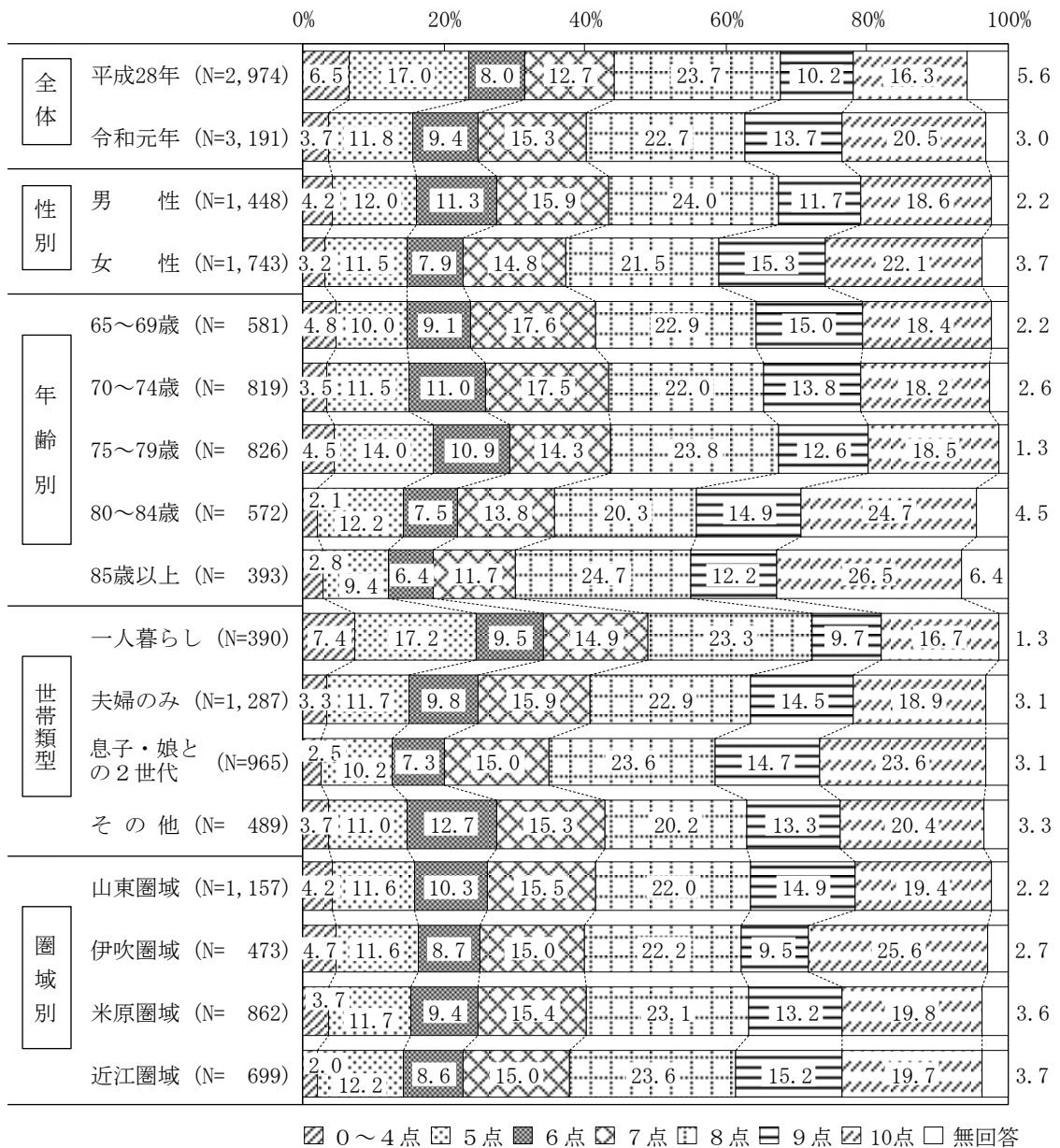


## (2) 幸福感

図表4-95は、「あなたは現在どの程度幸せですか（「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として該当する数値に○をつけてください）」という主観的な幸福感を問う設問に対する回答です。「8点」が22.7%と最も高くなっています。仮に6点以上を<幸せ>とすれば、<幸せ>は81.6%となります。平成28年の調査（70.9%）に比べると、10.7ポイント高くなっています。

性別にみると、男性は8点以下が女性より高く、女性は「9点」「10点（とても幸せ）」が男性より高くなっており、<幸せ>は女性が男性より高くなっています。

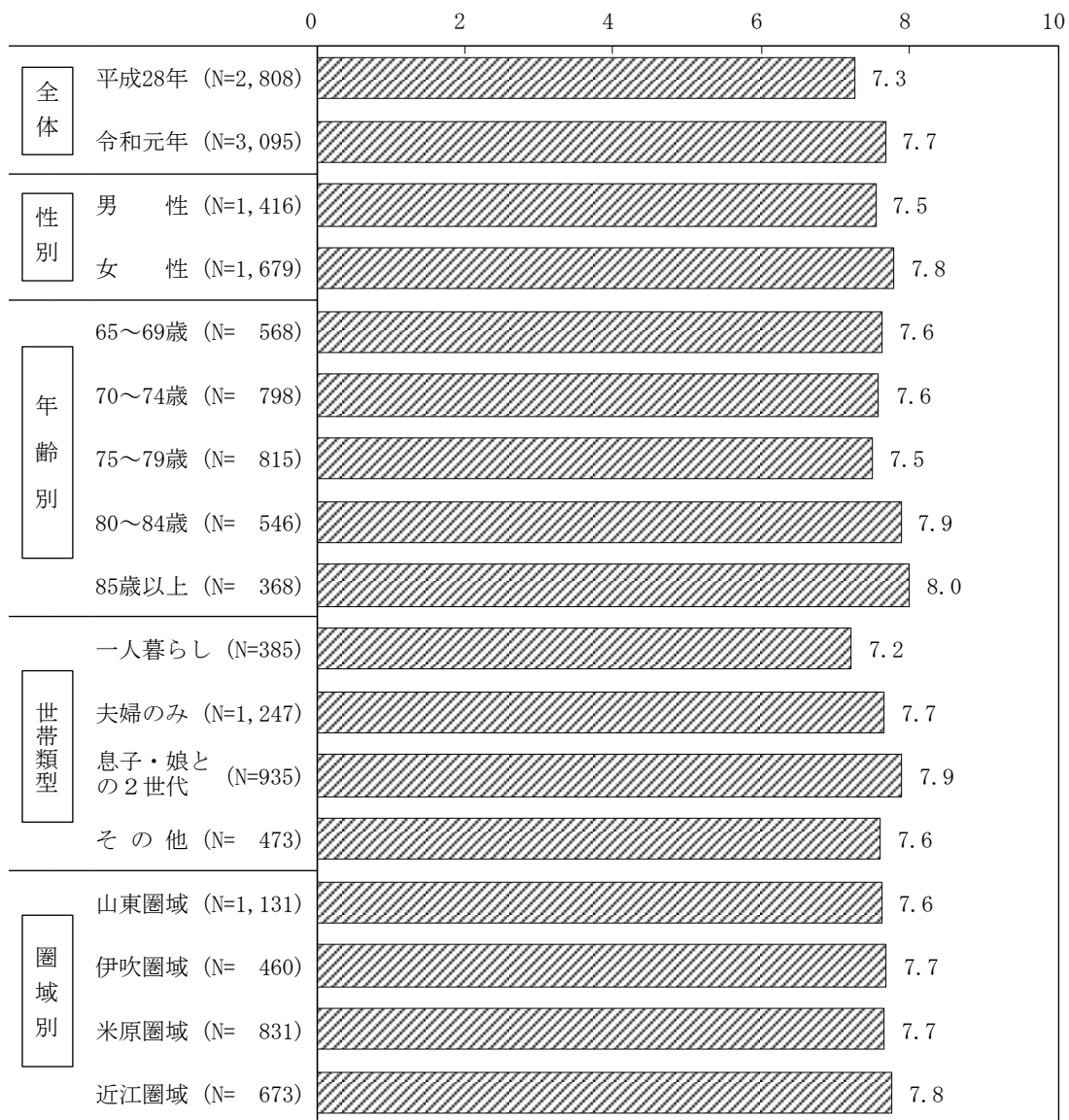
図表4-95 幸福感（平成28年調査と比較）





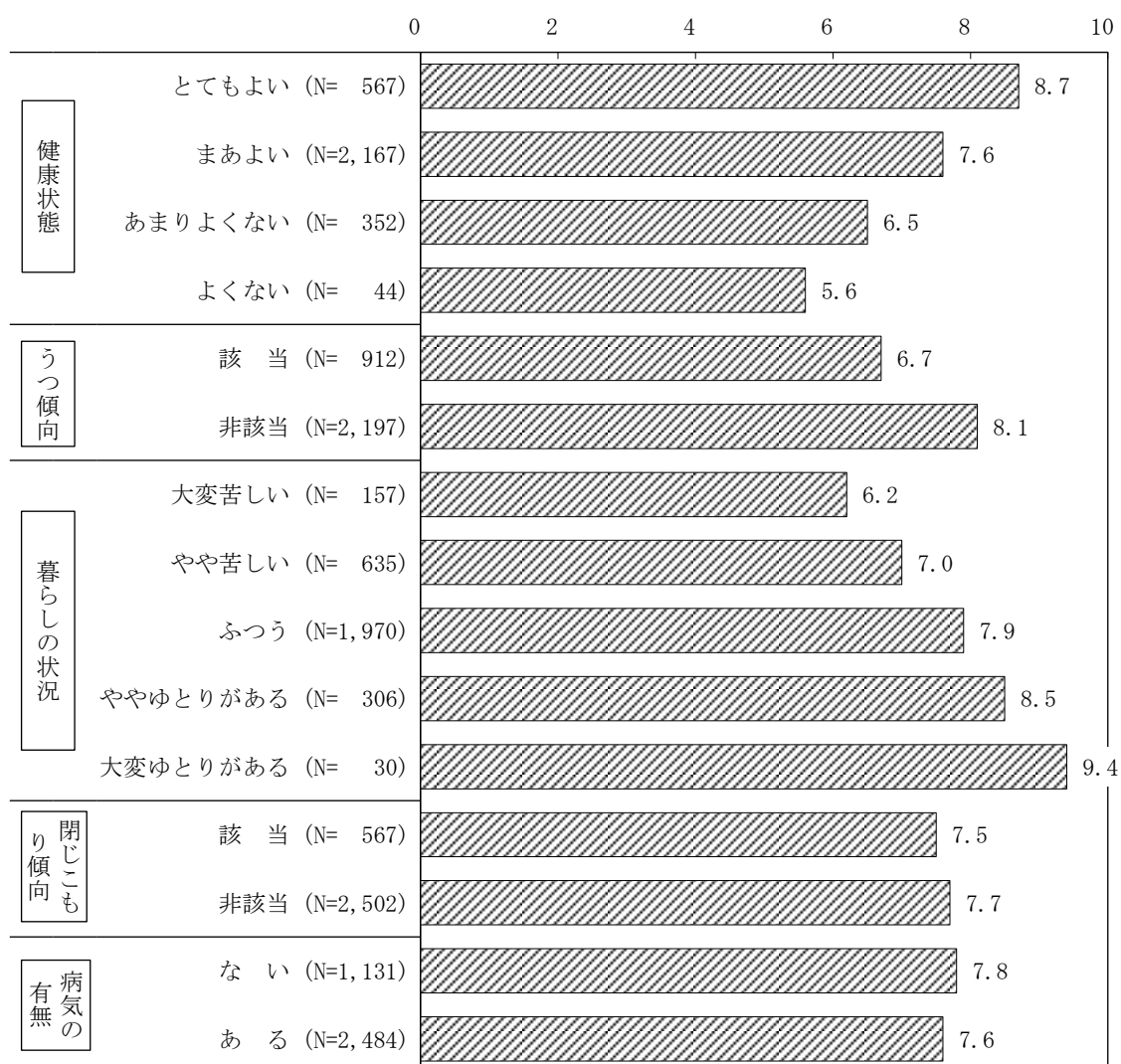
幸福感を平均点で見ると、全体では7.7点となっており、平成28年の調査に比べると、0.4点高くなっています。性別では男性より女性が0.3点高く、年齢別では85歳以上が8.0点と最も高くなっています。世帯類型別では息子・娘との2世代が7.9点と最も高く、一人暮らしが7.2点と最も低くなっています。

図表4-96 幸福感の平均点（平成28年調査と比較）



幸福感の平均点を健康状態別等に見ると、病気の有無や閉じこもり傾向による開きは少なく、健康状態や暮らしの状況によって大きな開きが出ています。

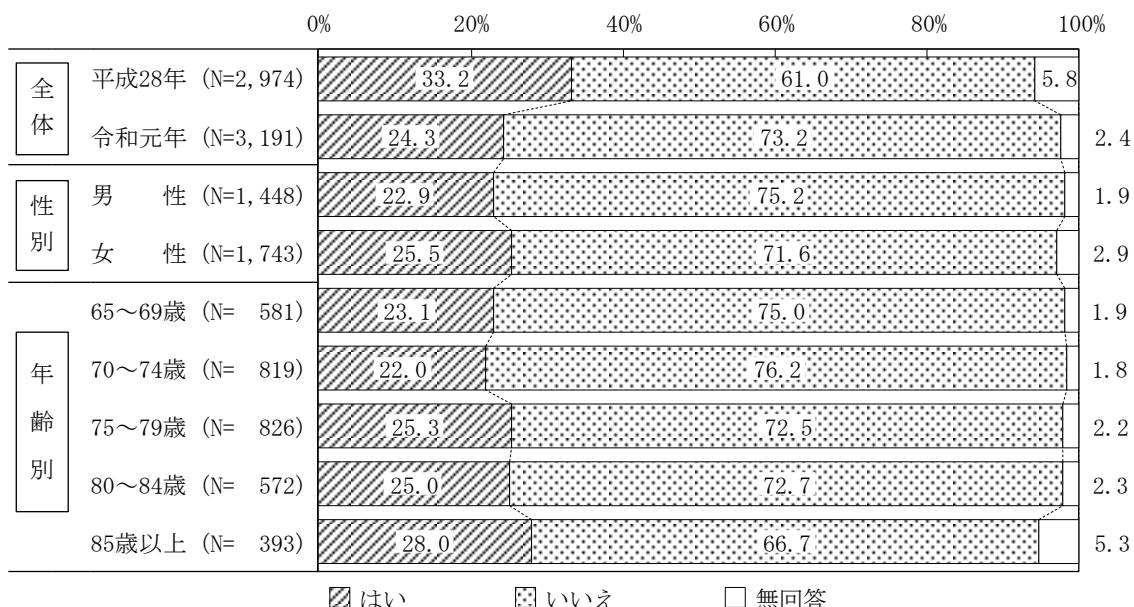
図表4-97 幸福感の平均点（健康状態・うつ傾向・暮らしの状況・閉じこもり傾向・病気の有無別）



### (3) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったか

「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」という設問に対しては、「いいえ」が73.2%を占めています。「はい」は全体では24.3%、性別では女性が男性より高く、年齢別では85歳以上が28.0%とやや高くなっています。

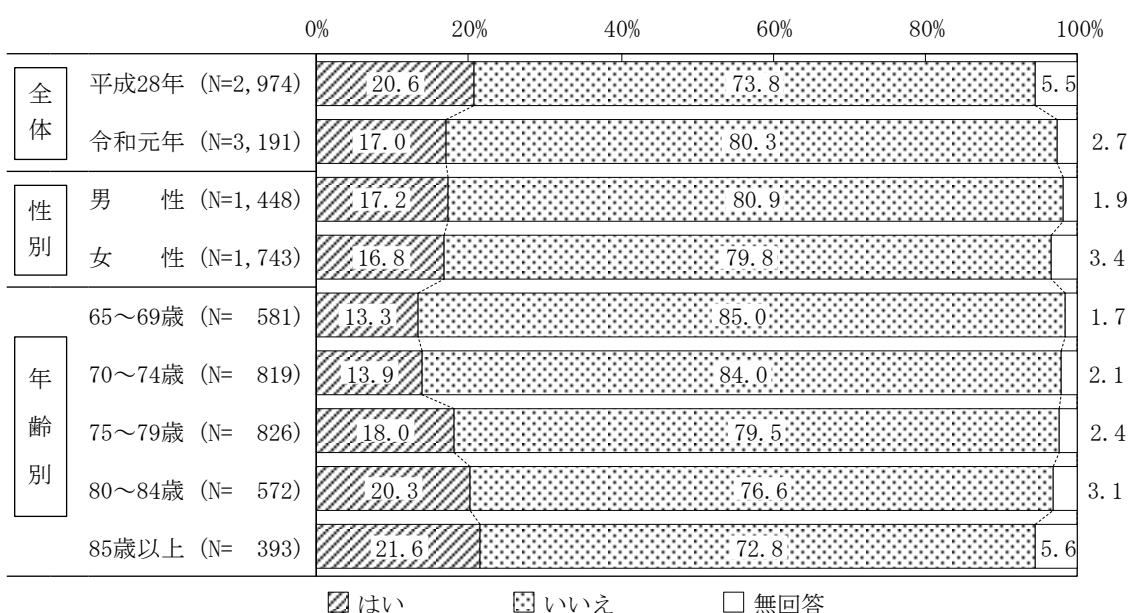
図表4-98 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったか（平成28年調査と比較）



### (4) 物事に興味がわかない、楽しめない感じがあったか

「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」という設問に対しては、「いいえ」が80.3%を占めています。「はい」は全体では17.0%となっており、年齢が上がるにつれて高くなっています。

図表4-99 物事に興味がわかない、楽しめない感じがあったか（平成28年調査と比較）



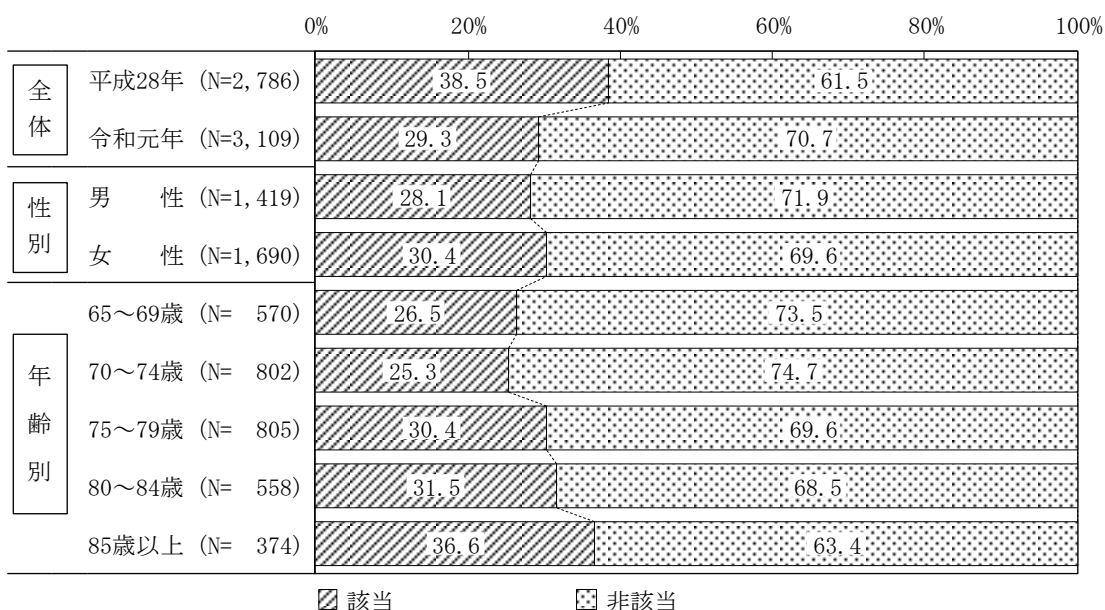
(5) うつ傾向

(3)(4)はうつ傾向を問う設問です。(3)(4)でいずれか1つでも「1. はい」と回答した場合には、うつ傾向の高齢者となります。

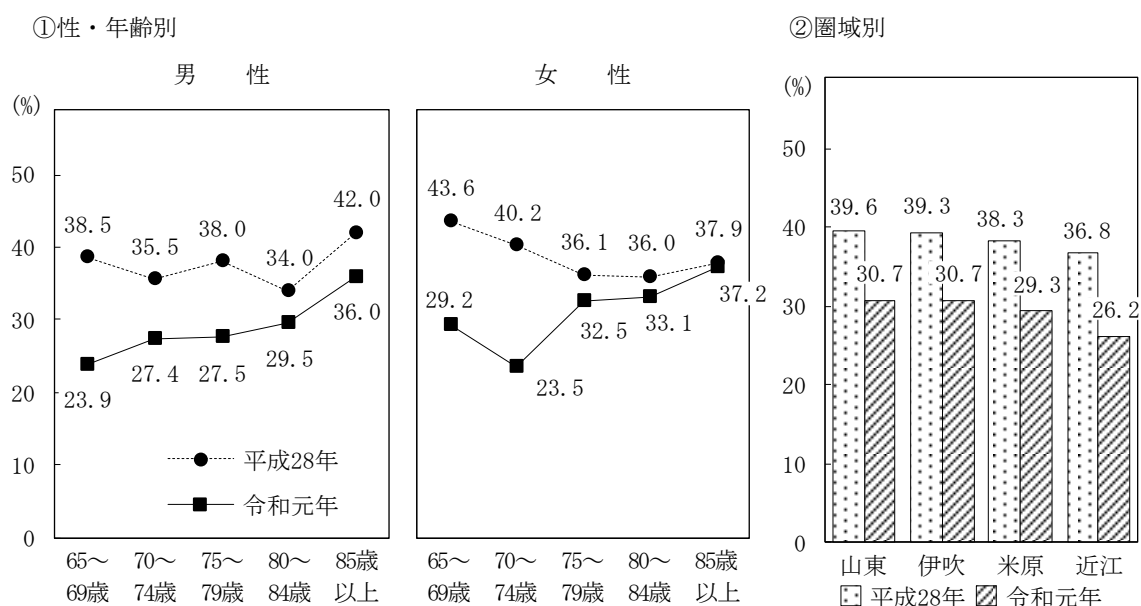
該当者は全体では29.3%となっており、年齢別では、年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあります(図表4-100)。

性・年齢別にみると、男性は年齢が上がるにつれて高くなっていますが、女性は75歳以上が30%を上回っています。圏域別にみると近江がやや低くなっています(図表4-101)。

図表4-100 うつ傾向(平成28年調査と比較)



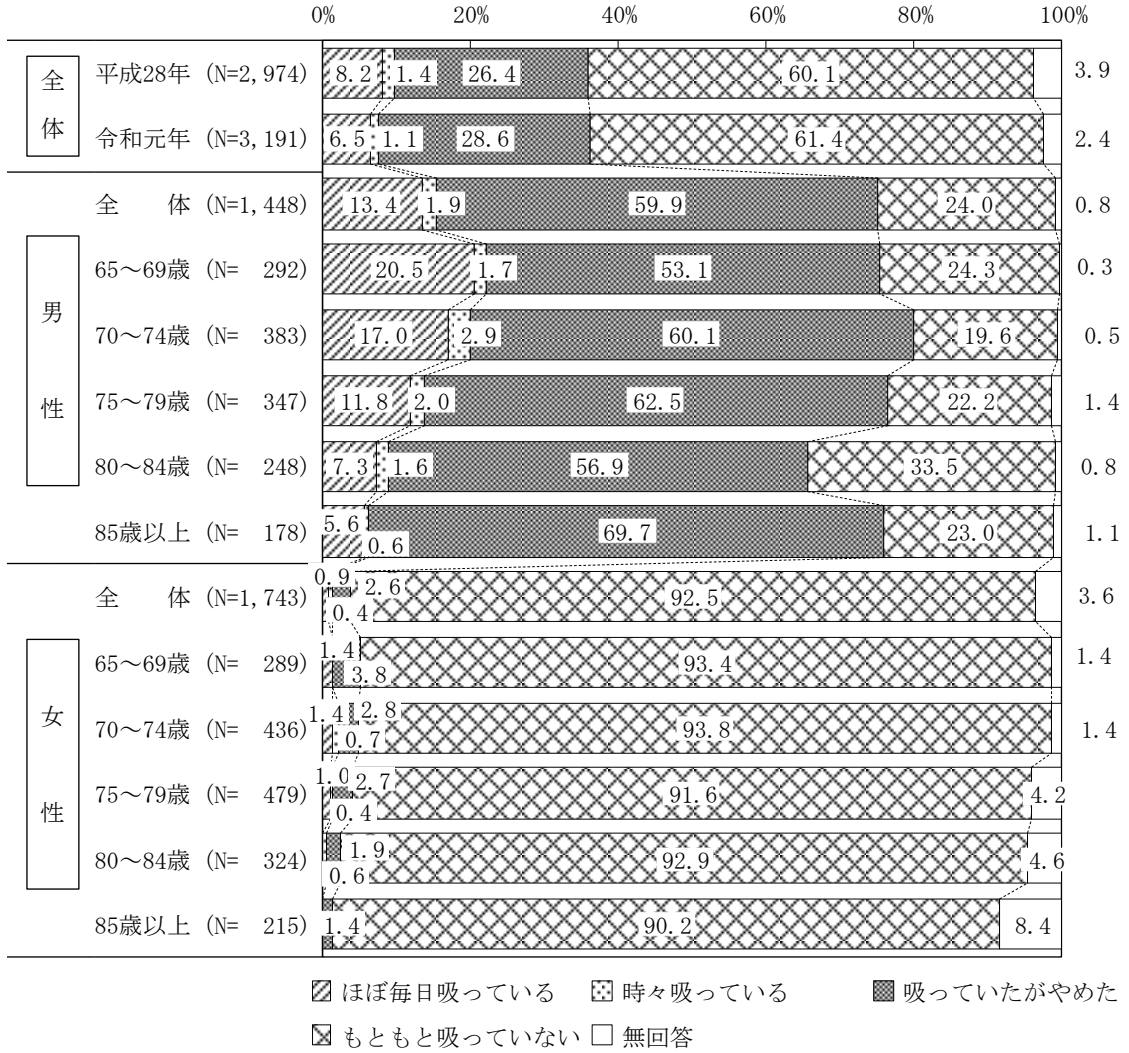
図表4-101 うつ傾向の高齢者の割合(平成28年調査と比較)



(6) 喫煙

喫煙は、男性では「吸っていたがやめた」が59.9%と高く、「ほぼ毎日吸っている」が13.4%、「時々吸っている」が1.9%です。年齢が上がるにつれて喫煙率は低下しています。女性の喫煙は「ほぼ毎日吸っている」が0.9%、「時々吸っている」が0.4%となっています。

図表4-102 喫煙（平成28年調査と比較）

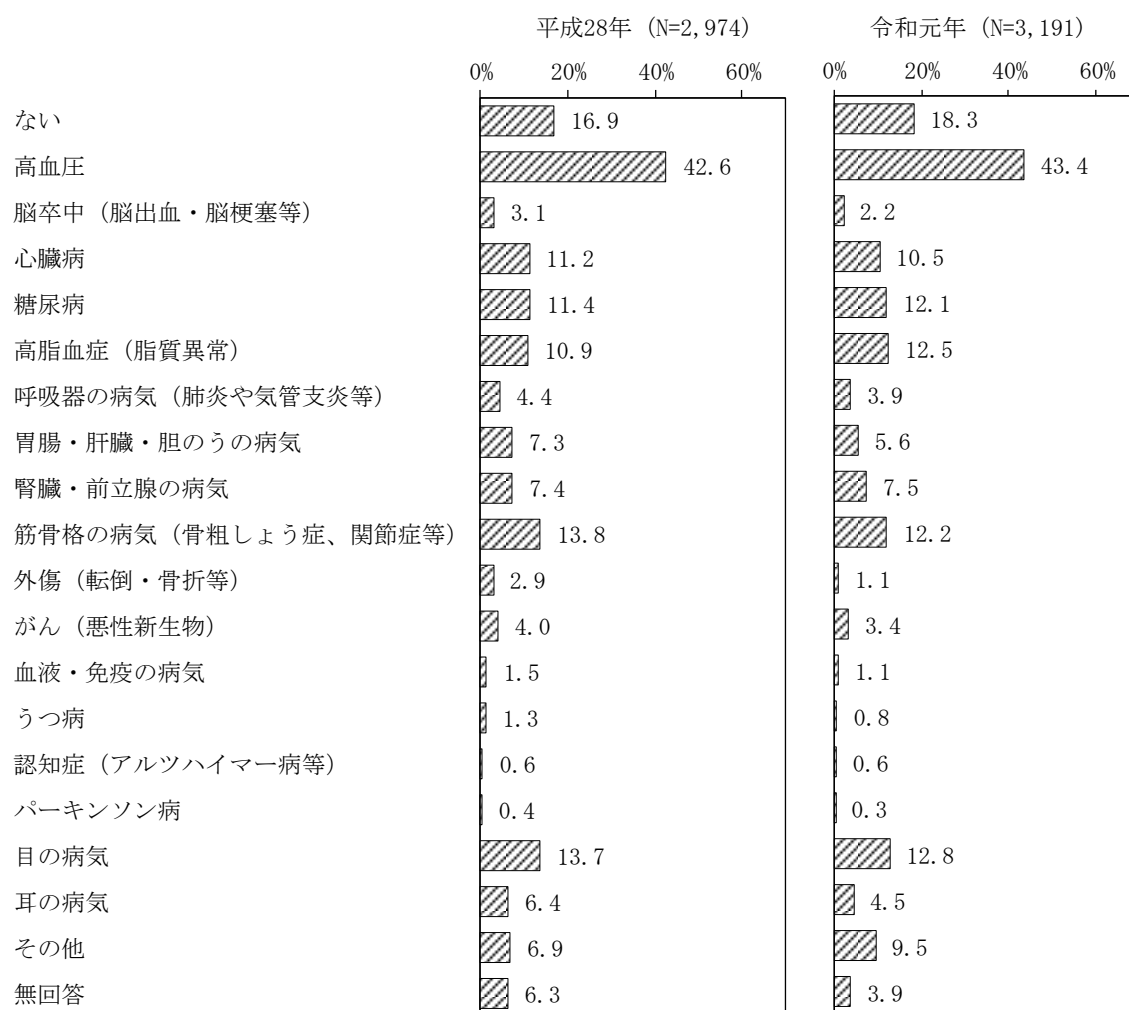


## (7) 治療中または後遺症のある病気

「現在治療中、または後遺症のある病気はありますか」という設問に対しては、「ない」「無回答」の合計は22.2%となっており、77.8%の人が何らかの病気があるということになります。

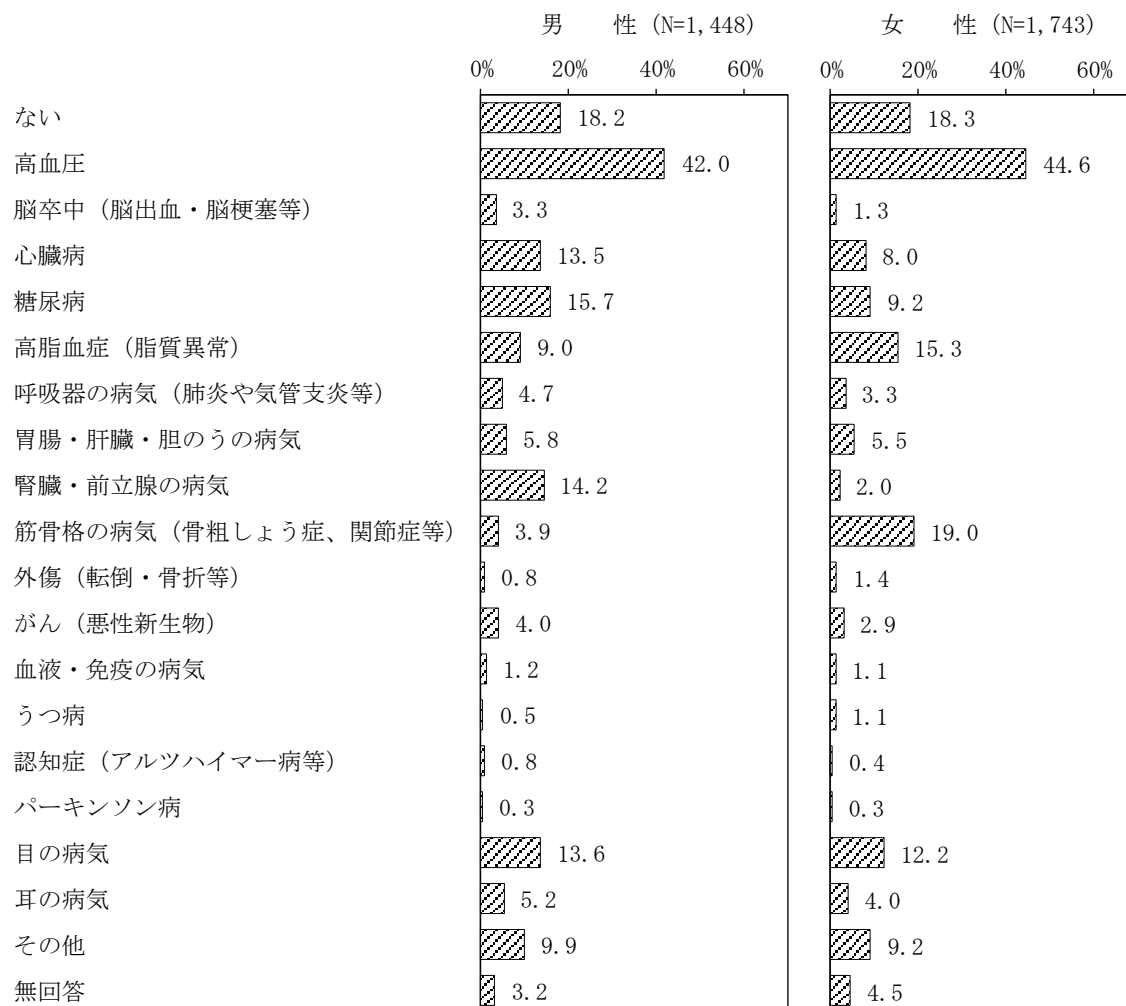
最も多い病気は「高血圧」(43.4%)、次いで「目の病気」(12.8%)、「高脂血症(脂質異常)」(12.5%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(12.2%)、「糖尿病」(12.1%)、「心臓病」(10.5%)となっています(図表4-103)。

図表4-103 治療中または後遺症のある病気(複数回答、平成28年調査と比較)



性別にみると、男女ともに「高血圧」が40%台と最も高く、そのほかは20%未満です。男性が女性より5ポイント以上高い病気は「腎臓・前立腺の病気」「糖尿病」「心臓病」で、女性が男性より5ポイント以上高いのは「筋骨格の病気」「高脂血症（脂質異常）」です（図表4-104）。

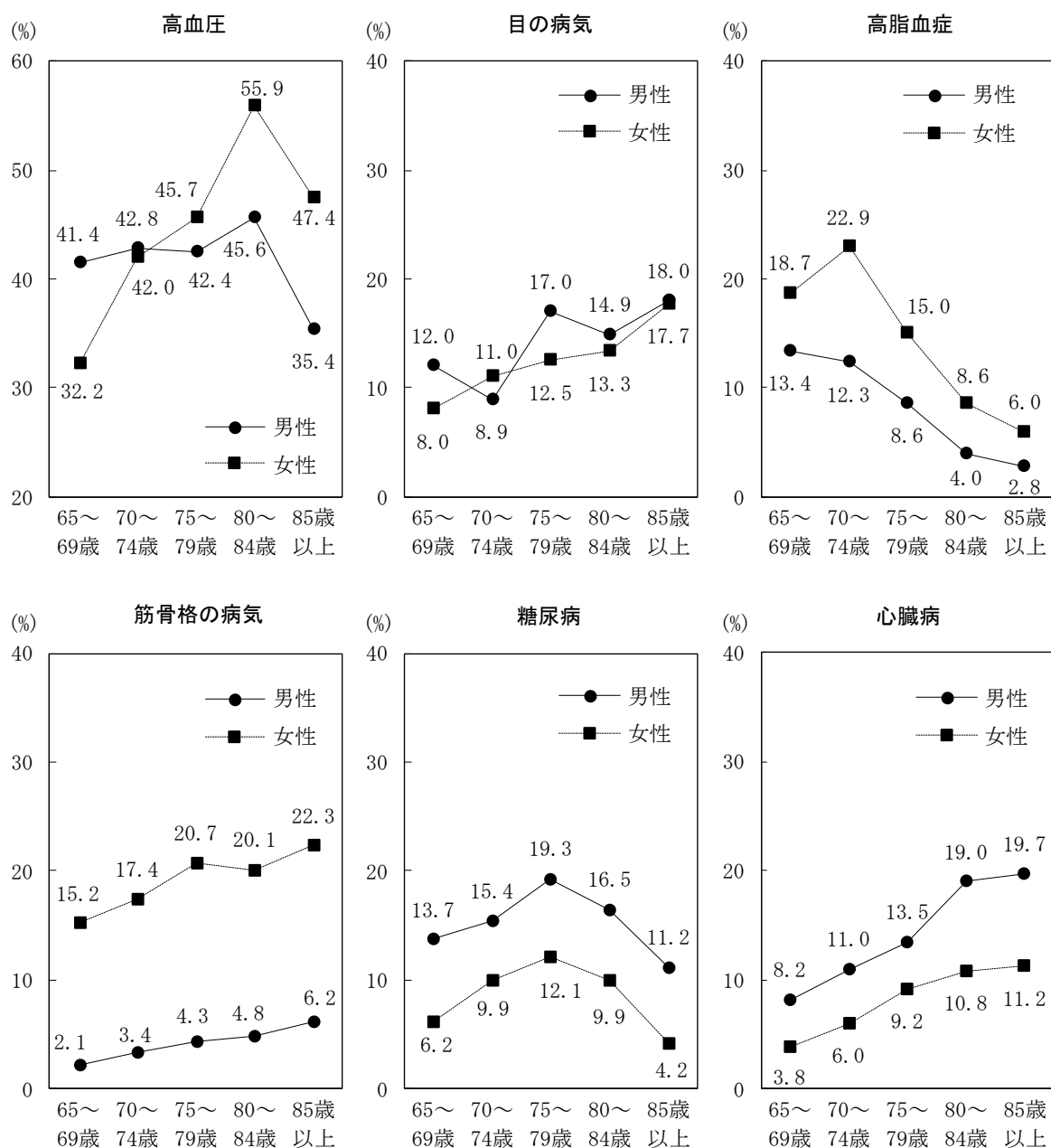
図表4-104 治療中または後遺症のある病気（複数回答、性別）



図表4-105は、割合の高い上位6つの病気について、性・年齢別にみたものです。

「高血圧」は、年齢とともに高くなる傾向にはありますが、男女ともに80～84歳が最も高く、85歳以上は低下しています。「目の病気」は、男女ともに年齢が上がるにつれて緩やかに上昇しています。「高脂血症」は、全般的に女性が高く、男女ともに年齢が上がるにつれて低下しています。「筋骨格の病気」は、全般的に女性が高く、男女ともに年齢が上がるにつれて緩やかに上昇しています。「糖尿病」は、全般的に男性が高く、男女ともに75～79歳まで上昇し、その後は低下に転じています。「心臓病」は、全般的に男性が高く、年齢が上がるにつれて緩やかに上昇しています。

図表4-105 治療中または後遺症のある病気（上位6疾患、性別・年齢別、複数回答）





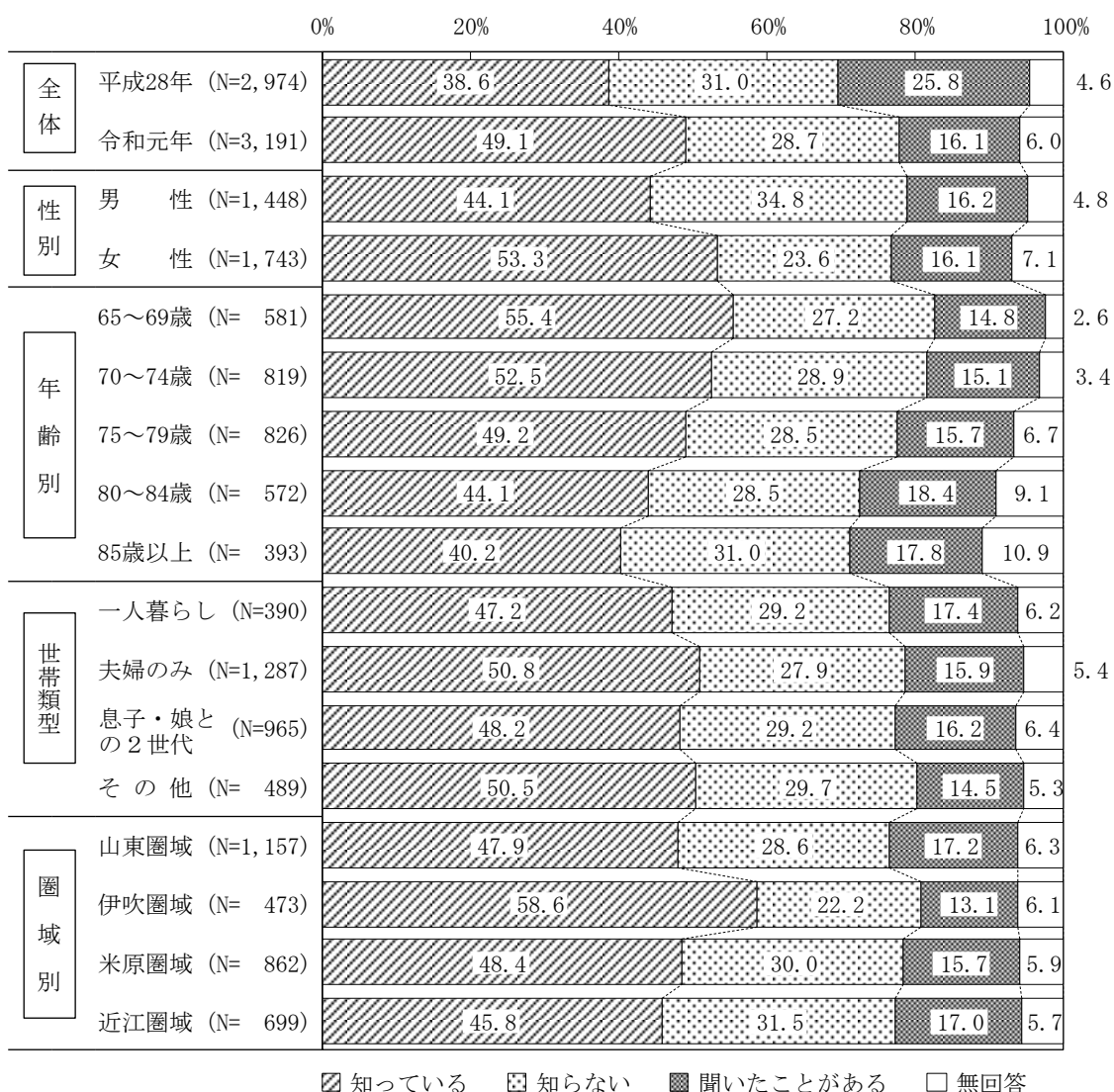
## 9 相談窓口

### (1) 地域包括支援センター

「地域包括支援センター」（高齢者の相談窓口）については、「知っている」が49.1%となっており、平成28年の調査後と比べると、10.5ポイント高くなっています。

「知っている」は、性別では女性が高く、男性を9.2ポイント上回っています。年齢別では65～69歳が最も高く、年齢が上がるにつれて低下しています。圏域別では伊吹が58.6%と他の圏域より10ポイント以上高くなっています。

図表4-106 地域包括支援センターの認知度（平成28年調査と比較）



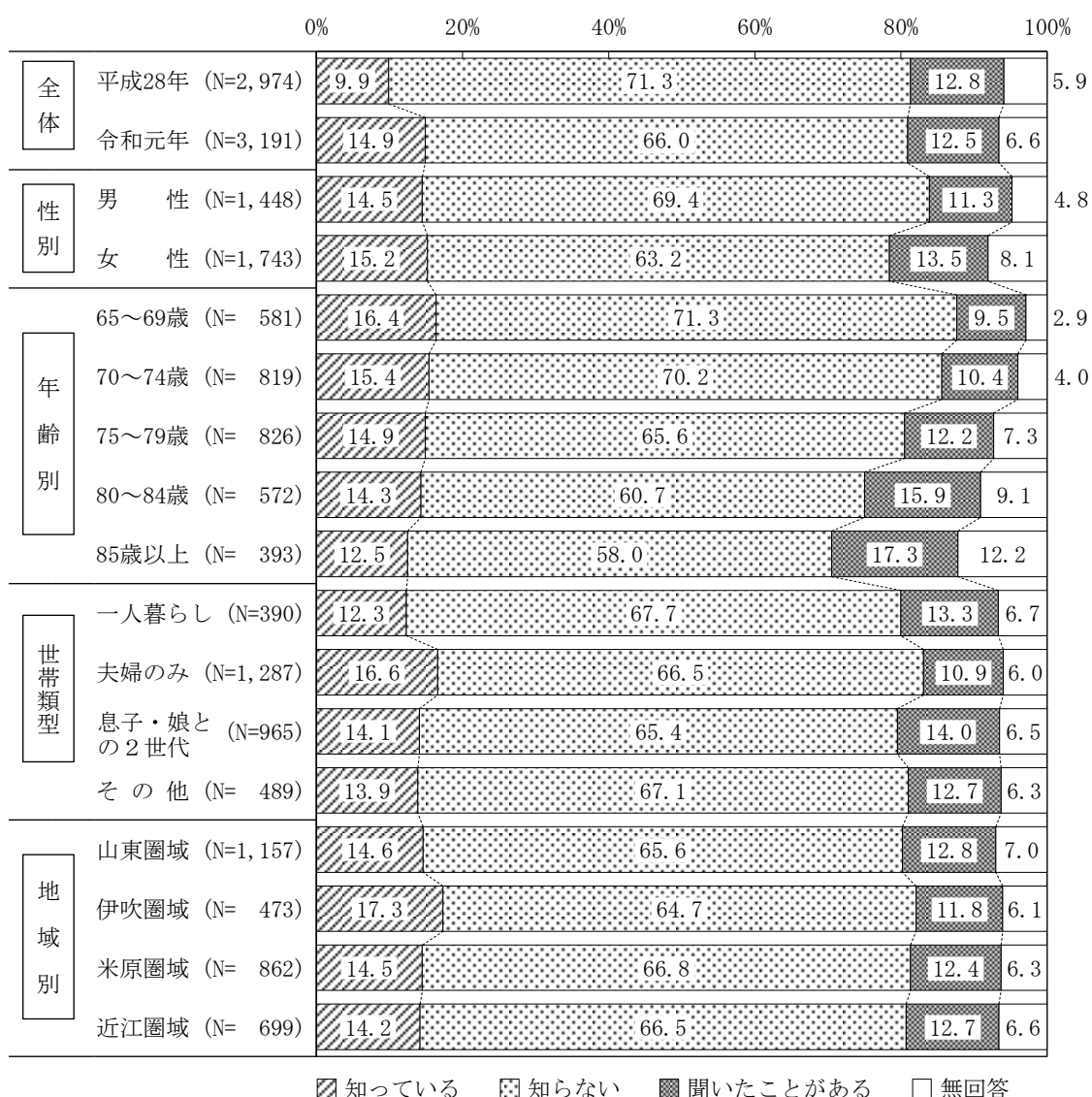
## (2) ちょっと相談所

「ちょっと相談所」を知っているかをたずねたところ、「知っている」は14.9%、「知らない」は66.0%となっています。平成28年の調査後比べると、「知っている」は5.0ポイント高くなっています。

属性別に見て「知っている」が最も高いのは、圏域別の伊吹の17.3%です。

「知らない」が最も高いのは、年齢別の65～69歳で71.3%となっています。

図表4-107 ちょっと相談所の認知度（平成28年調査と比較）



「ちょっと相談所」は、市内のデイサービス事業所等において開設しています。普段の介護のことや、この頃物忘れが気になりだしたなど、ご本人やそのご家族が、介護の専門家に気軽に相談できる所です。市役所が閉まっている土曜日にも開設していますので、平日にお時間のとりにくい人もご利用していただけます。また、定期的な相談所の開催の他、認知症の人やご家族と専門職との交流の場として、認知症カフェも不定期に開催しています。

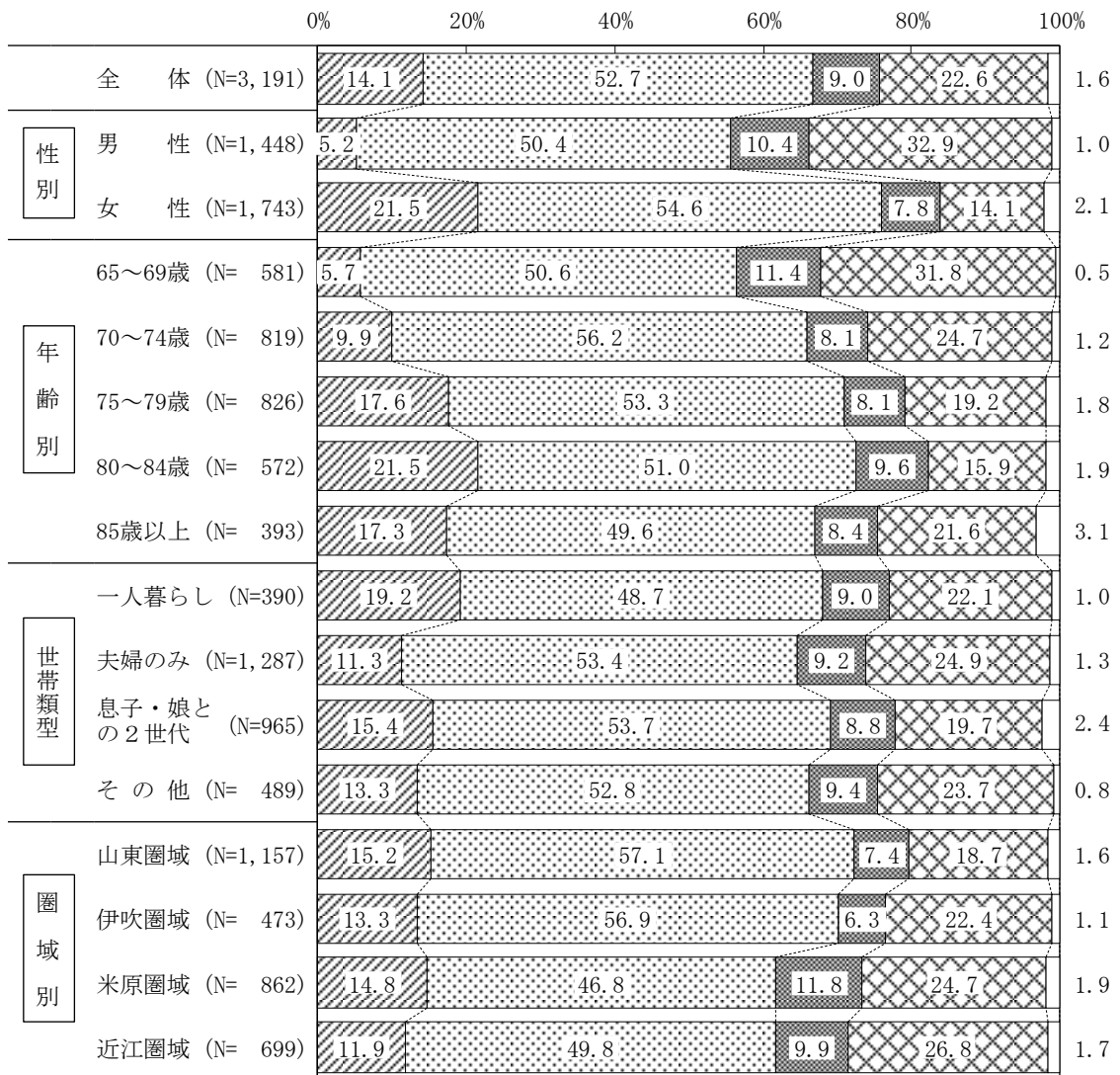
## 10 介護予防と運動

### (1) まいばら体操

「市では、伊吹山テレビやDVD配布にて介護予防体操「まいばら体操」の啓発を実施していますが、「まいばら体操」をご存知ですか。または、体操をしたことはありますか？」という設問に対しては、「知っているが、実施していない」が52.7%を占めています。これに「定期的実施している」を加えた認知度は66.8%です。「定期的実施している」と「知らないが、実施してみたい」を合計した＜実施意向＞は23.1%となっています。

＜実施意向＞が高いのは、性別では女性、年齢別では80～84歳、世帯類型別では一人暮らし、圏域別では米原です。

図表4-108 まいばら体操



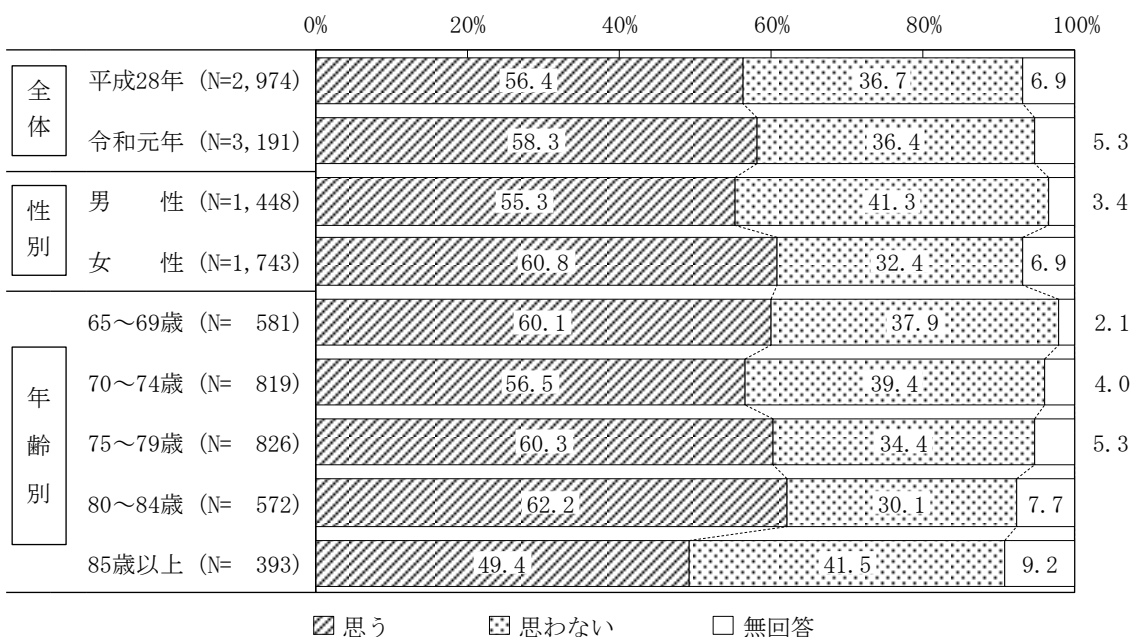
- 定期的実施している
- 知っているが、実施していない
- 知らないが、実施してみたい
- 知らないし、実施してみたいとは思わない
- 無回答

(2) 運動ができる場があれば運動しようと思うか

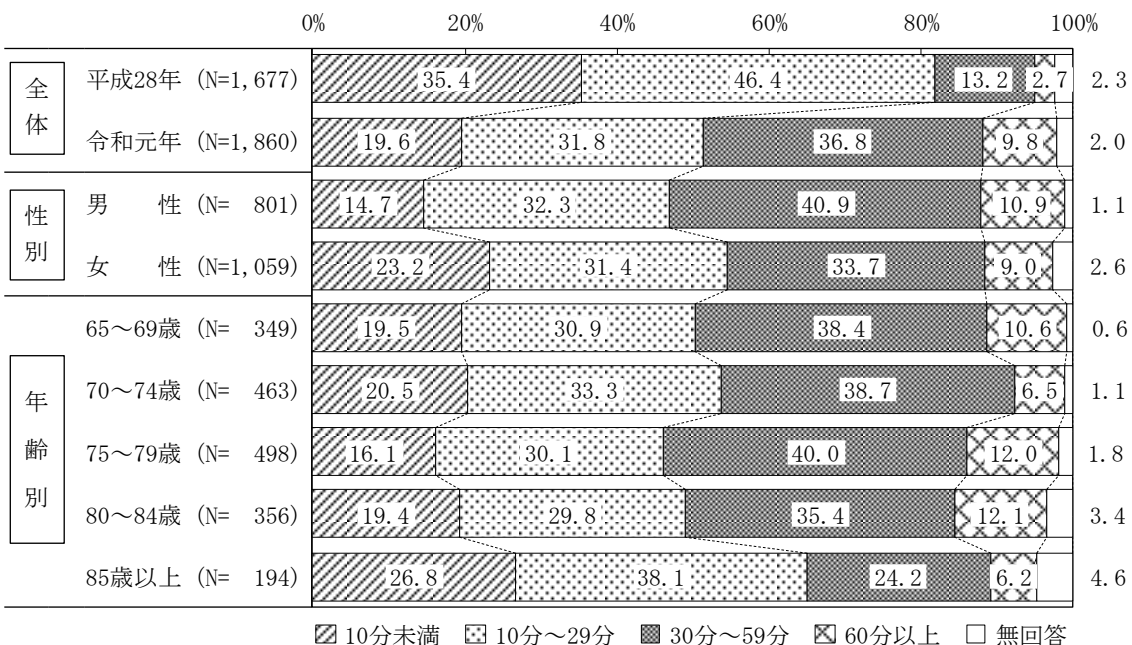
「気軽に行ける範囲に運動ができる場があれば運動しようと思いますか」という設問に対しては、「思う」が58.3%を占めています。「思う」は、性別では女性が男性より5.5ポイント高く、年齢別では85歳以上で低下しています（図表4-109）。

「思う」と回答した人に「それは何分程度の範囲」かたずねたところ、「30分～59分」が36.8%、「10～30分未満」が31.8%と高くなっています。「60分以上」と「30分～59分」を合計した<30分以上でも>は46.6%、これに「10～30分未満」を加えた<10分以上でも>は78.4%です。「10分未満」は女性、85歳以上が高くなっています（図表4-110）。

図表4-109 運動ができる場があれば運動しようと思うか（平成28年調査と比較）



図表4-110 運動に気軽に行ける範囲（平成28年調査と比較）

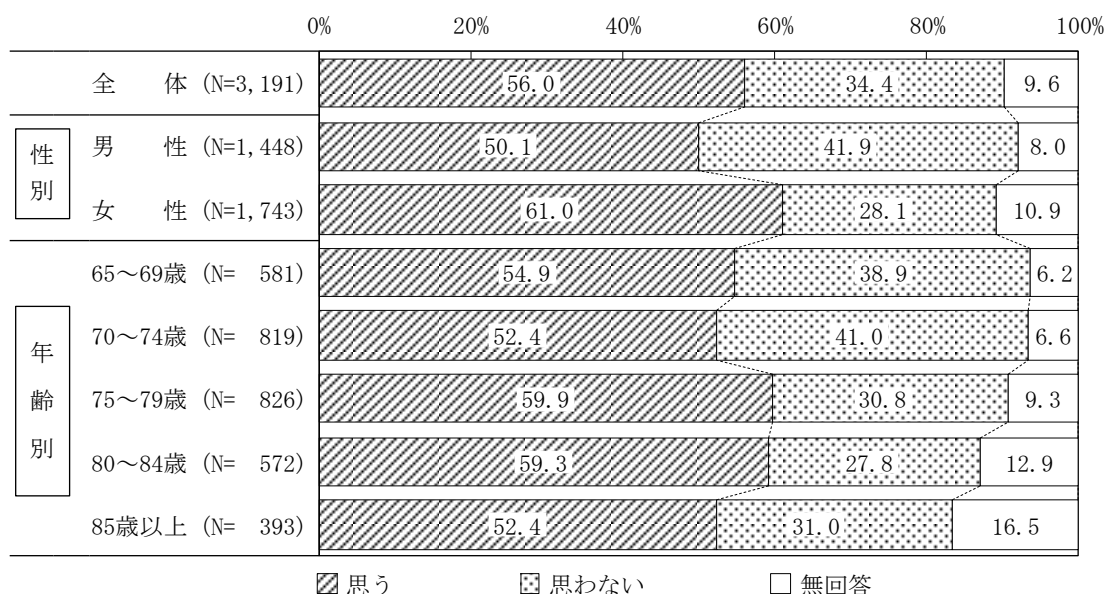


### (3) 一緒に運動する人がいる方が運動しようと思うか

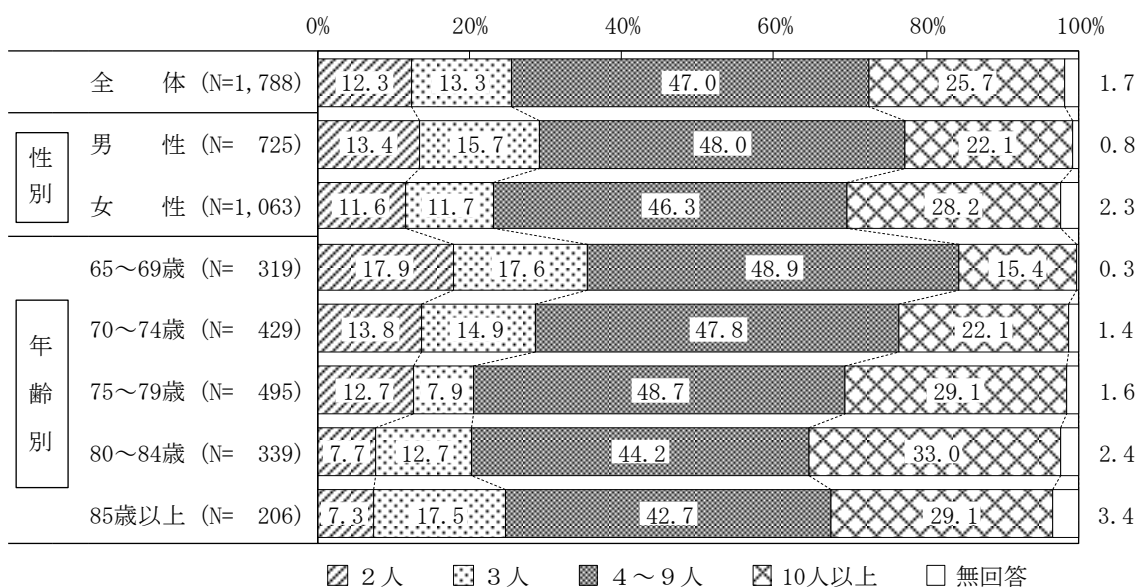
一緒に運動する人がいる方が運動しようと思うかたずねたところ、「思う」が56.0%を占めています。「思う」が高いのは、性別では女性、年齢別では75～84歳です（図表4-111）。

「思う」と回答した人にその人数をたずねたところ、「4～9人」が47.0%と最も高くなっています（図表4-112）。

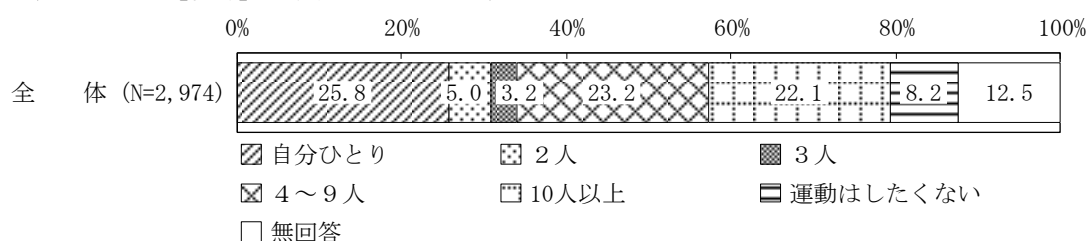
図表4-111 一緒に運動する人がいる方が運動しようと思うか



図表4-112 運動しようと思う人数



図表4-113 【参考】運動するのによい人数（平成28年）

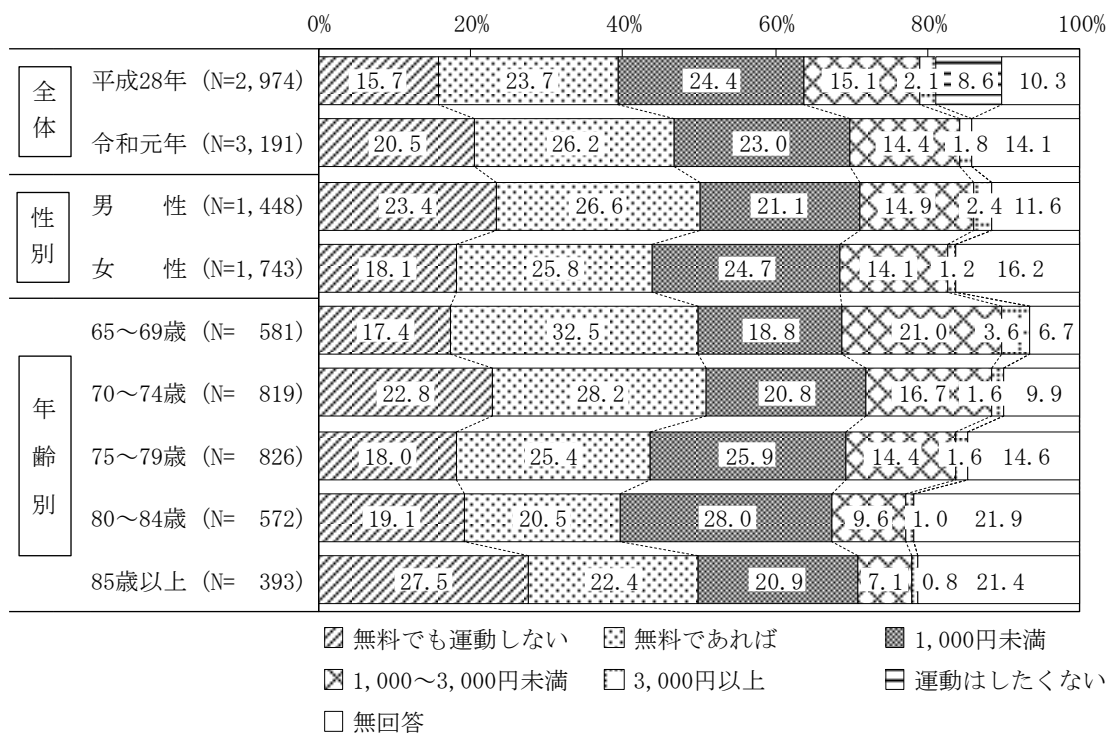


#### (4) 運動にかけられる費用

ひと月どのくらいの費用であれば運動しようと思うかたずねたところ、「無料であればする」が26.2%と最も高く、次いで「1,000円未満」(23.0%)となっています。

「無料であっても運動しようと思わない」は20.5%です。

図表4-114 1か月に運動にかけられる費用（平成28年調査と比較）



(注) 令和元年には「運動はしたくない」という選択肢はない。

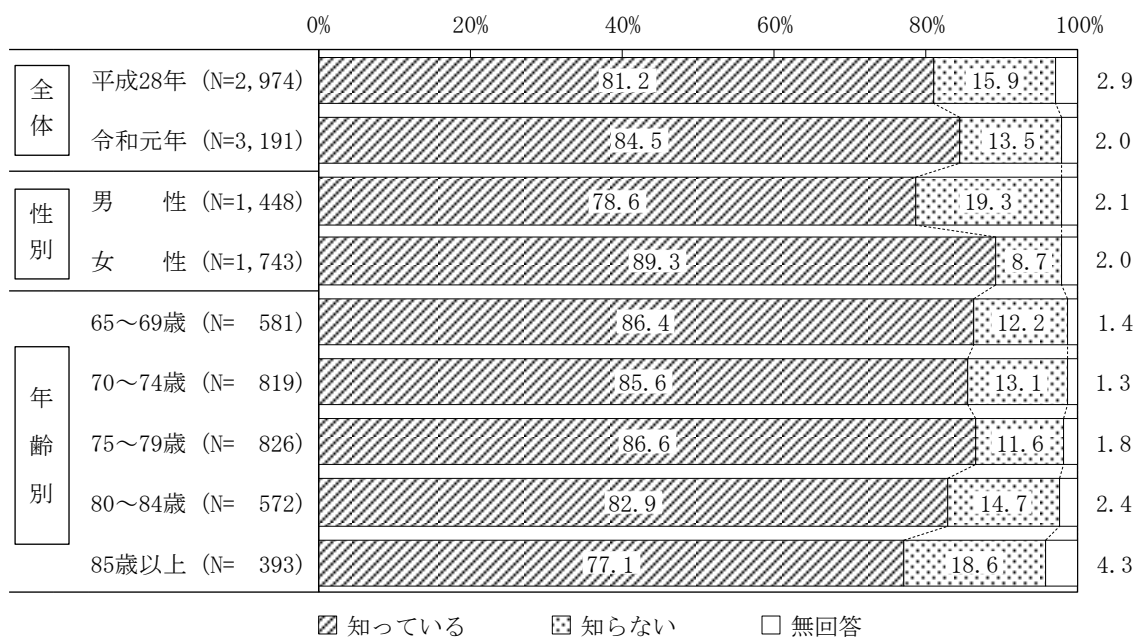
## 11 認知症

### (1) 認知症は症状を軽くしたり、進行を遅らせることができることを知っているか

「認知症は早く気づいて治療やケアすることで、その症状を軽くしたり、進行を遅らせることができる病気であることを知っていますか」という設問に対しては、84.5%が「知っている」と答えています。

「知っている」は、性別では男性より女性が10.7ポイント高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低くなっています。

図表4-115 認知症は症状を軽くしたり、進行を遅らせることができることを知っているか  
(平成28年調査と比較)



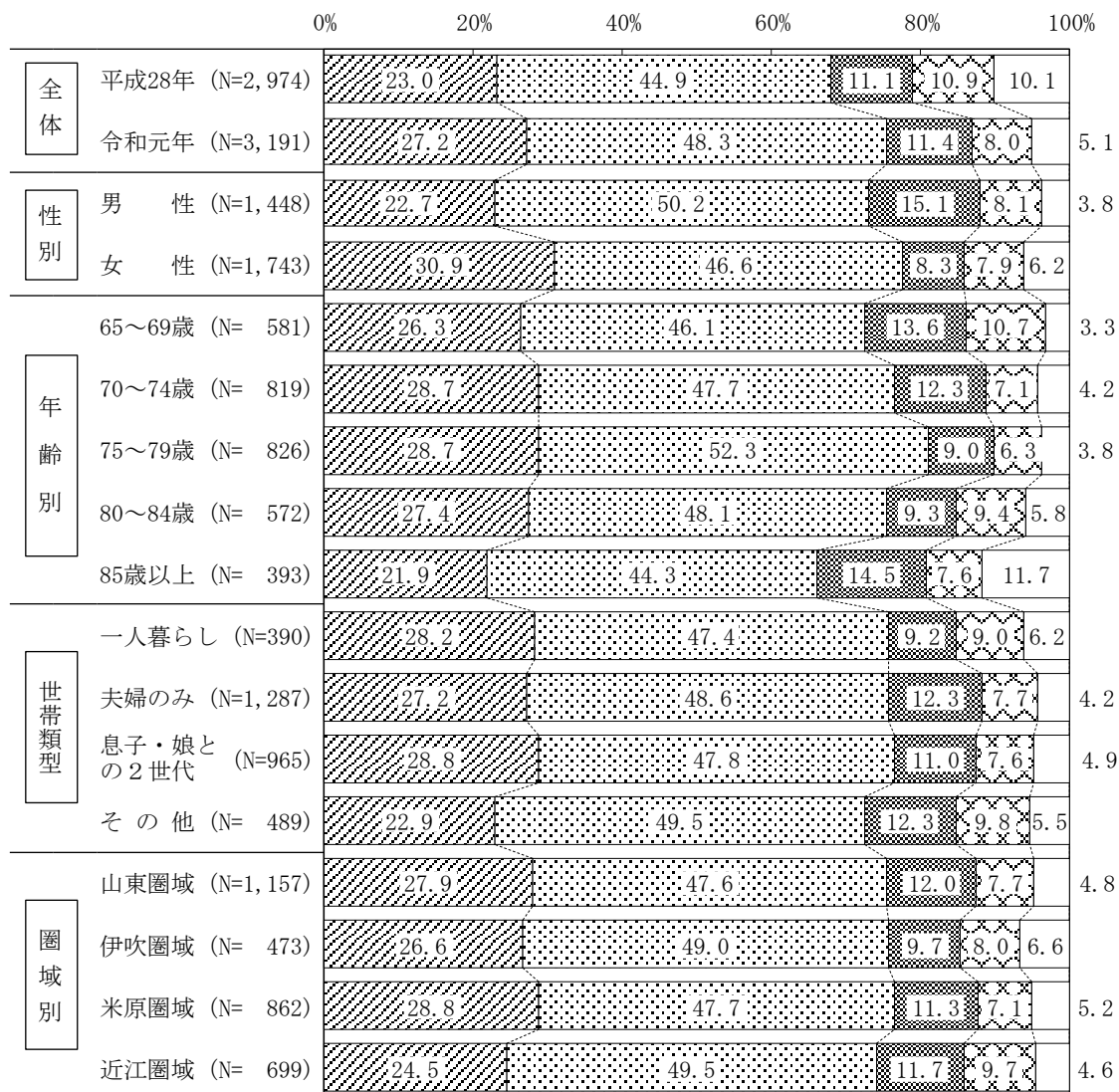
(注) 平成28年は「はい」「いいえ」の選択肢としていた。

## (2) 認知症の人との関り方

「認知症の人が近所にいた場合、あなたはどう感じ、どう行動したいですか」という設問に対しては、「今後、勉強して力になりたい」が48.3%と最も高く、次いで「何かできることがあれば積極的に関わりたい」が27.2%となっており、両者を合計した<関わりたい>は75.5%です。

<関わりたい>が高いのは、性別の女性、年齢別の75～79歳です。

図表4-116 認知症の人との関り方（平成28年調査と比較）



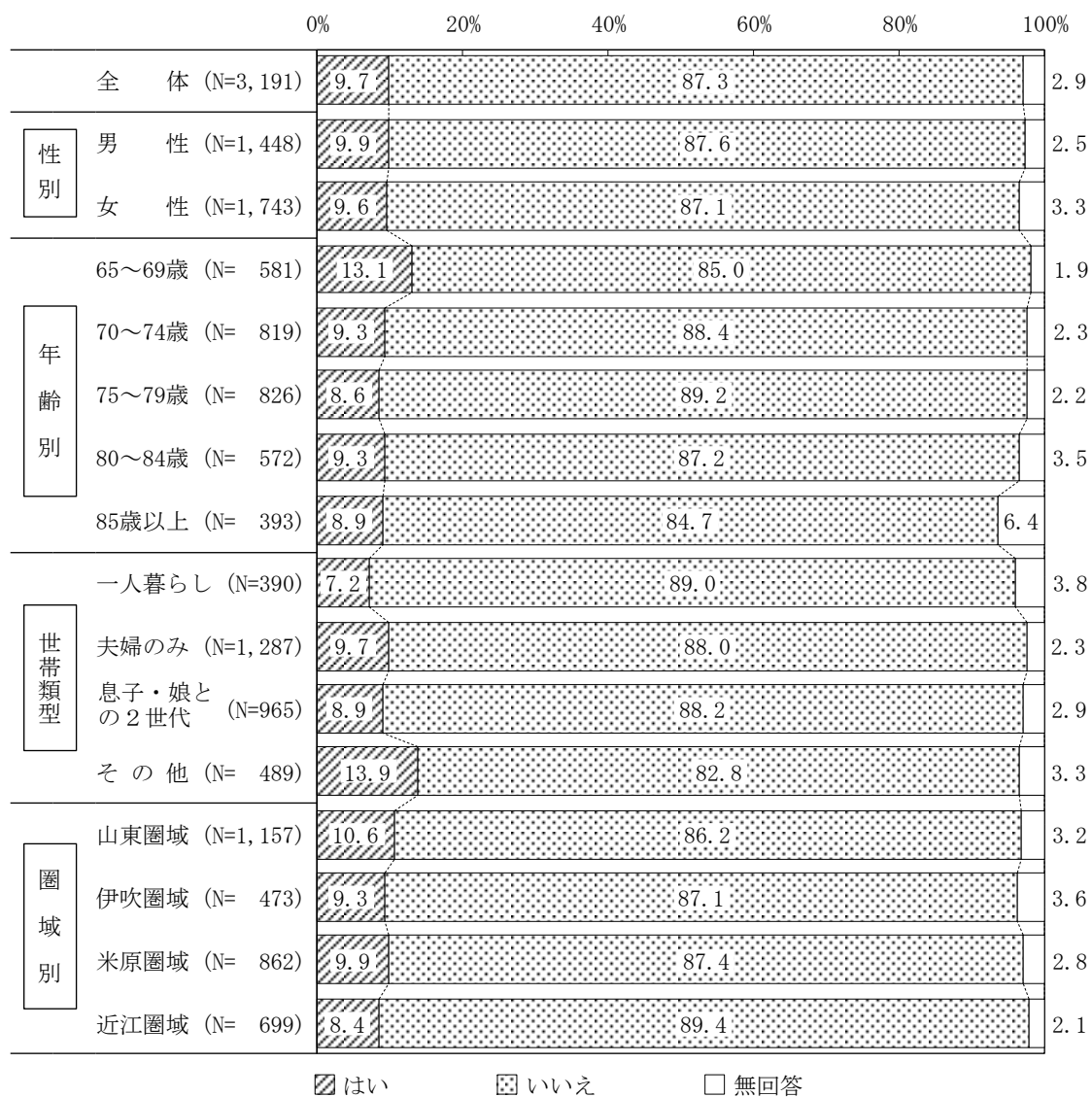
- ▨ 何かできることがあれば積極的に関わりたい
- ▩ 今後、勉強して力になりたい
- できるだけ関わらない
- ▣ その他
- 無回答



### (3) 自分や家族に認知症の症状がある人がいるか

認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかたずねたところ、「はい(いる)」は9.7%です。「はい」は、年齢別の65～69歳、世帯類型別のその他の世帯で高く、世帯類型別の一人暮らし、圏域別の近江で低くなっています。

図表4-117 自分や家族に認知症の症状がある人がいるか

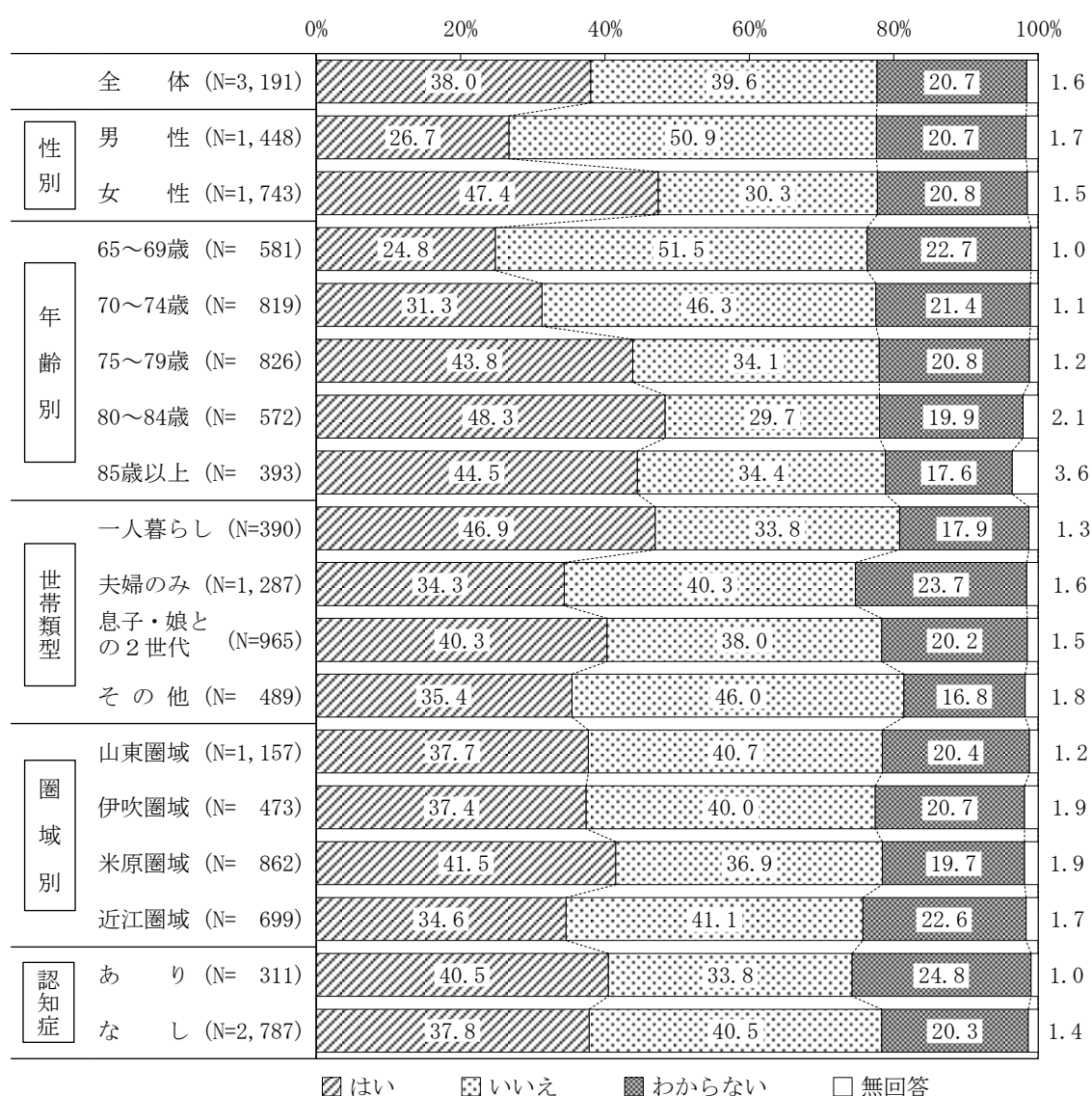


#### (4) 認知症予防講座等の参加意向

認知症予防の講座や教室があれば参加したいと思うかたずねたところ、38.0%が「はい(参加意向)」と回答しています。

性別にみると、参加意向は女性が47.4%と高く、男性を20.7ポイント上回っています。年齢別にみると、年齢が上がるにつれて参加意向は高くなる傾向にあり、特に80～84歳では48.3%となっています。世帯類型別では、一人暮らしの参加意向が56.9%と高く、圏域別では米原が他の圏域に比べてやや高くなっています。また、認知症の症状がある人の有無別では、「あり」の参加意向が高くなっています。

図表4-118 認知症予防講座等の参加意向



(5) 認知症の相談窓口を知っているか

認知症に関する相談窓口を知っているかたずねたところ、「はい」は38.3%となっています。

「はい」は、性別にみると女性が男性より10.1ポイント高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあり、85歳以上では30.3%となっています。世帯類型別の一人暮らし、圏域別の近江がやや低くなっています。

図表4-119 認知症の相談窓口を知っているか

